



Title	天鹽演習林生態調査(第三報) : 天鹽演習林林型の群落生態學的調査
Author(s)	館脇, 操; Tatewaki, Misao; 内田, 映 他
Citation	北海道帝國大學農學部 演習林研究報告, 10(1), 1-146
Issue Date	1935-10
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/20639
Type	departmental bulletin paper
File Information	10(1)_P1-146.pdf



天鹽演習林生態調査 (第三報)

天鹽演習林林型の群落生態學的調査

農學博士 館 脇 操
 内 田 映

Report on the Ecological Survey
of the Teshio Experimental Forest, Hokkaido,

III.

The Forest Associations in the
Teshio Experimental Forest

By

Misao Tatewaki and Akira Uchida

目 次

緒 論	2
第一章 植物群落生態學上より見たる天鹽演習林の林型	4
第一節 林 型	4
I ヤナギ林	4
II ヤチハンノキ林	7
III アカダモ-ヤチダモ-クヤマハンノキ林	10
IV ミヅナラ林	15
V シナノキ-オヒヨウ-イタヤ林	17
VI トドマツ-エゾマツ林	35

VII	針潤混淆林	42
VIII	シナノキ—ミヅナラ林	56
IX	ダケカンパ林	65
X	ハヒマツ林	73
第二節	林型と水素イオン濃度	75
第三節	樹齡調査	76
第四節	根系調査	78
第二章	高度に依る林相の變化	82
第一節	高度に依る林相變化の概説	82
第二節	パンケ山に於ける高度に依る林相の變化	84
第三章	方位に依る林相の變化	96
第一節	方位に依る針葉樹林と潤葉樹林の變化	96
第二節	播鉢山に於ける方位に依る林相の變化	115
参考文献		140
Résumé		143
圖 版		

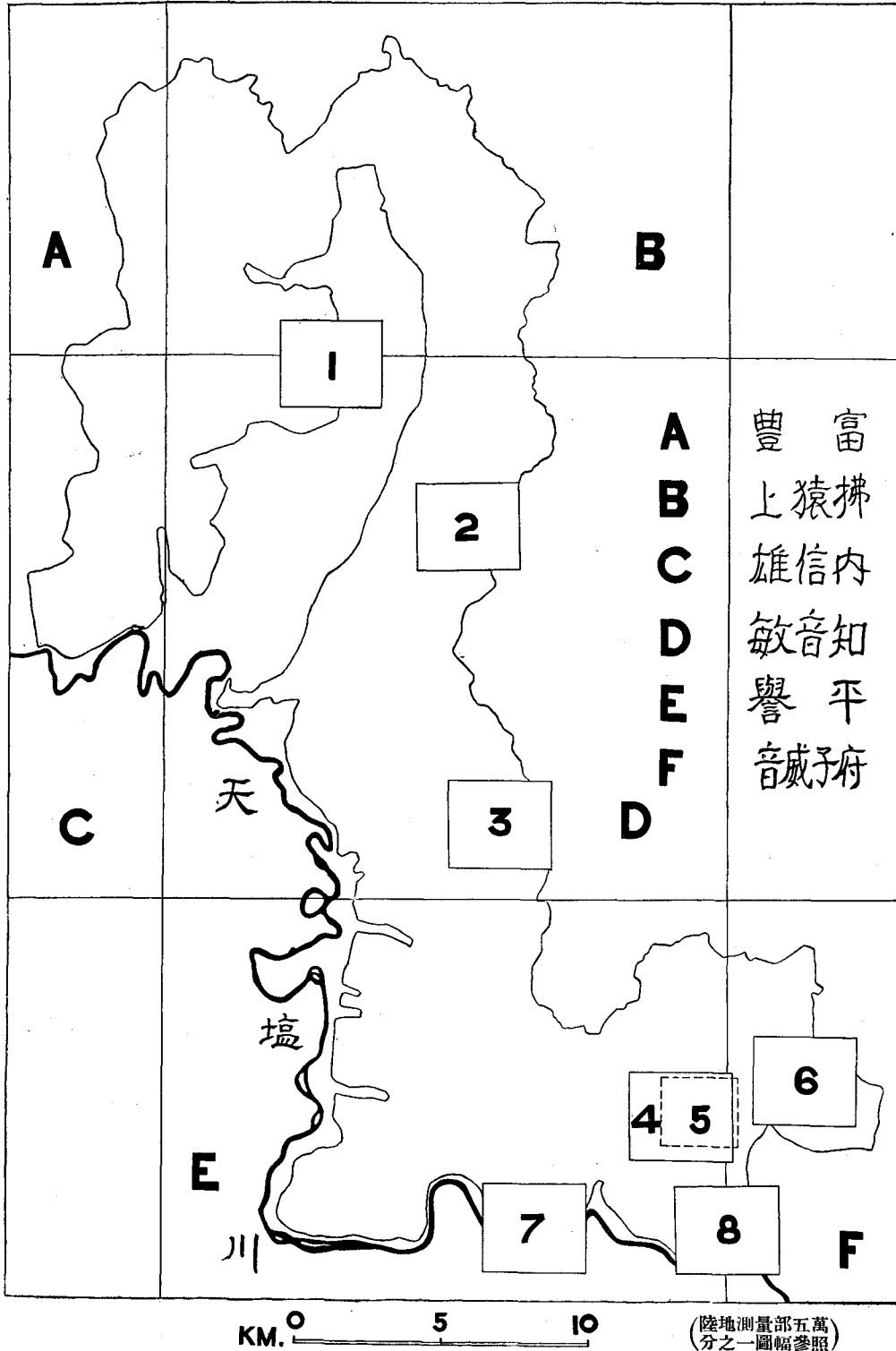
緒 論

近時森林生態學の進歩につれて、本邦北部の林地も漸く生態學的に研究を進められ、北大天鹽演習林も亦、既に之が研究に演習林研究報告生態調査第一報、(館脇操、岩間龜三郎：山火跡地の群落生態學的調査。第九卷、第一號)、第二報(館脇操、森本傳男：アカエゾマツ林の群落生態的調査。第八卷)の發表を見たり。

而して、本研究に於ては、主に Association (群叢) を基礎として、天鹽演習林の林型を群落的に分類し、而して之に相關し、水素イオン濃度、樹齡、根系等をも考慮せり。但し、アカエゾマツ林型に關しては、之が報告あれば、本研究に於ては除外せり。

本研究を草するにあたり、有益なる御指導と御助言を給はりし前北大演習林長林學博士新島善直名譽教授、及本報を公刊するに際し御教示を給はりし北大演習林長林學博士宍戸乙熊教授に深甚なる感謝の意を表すると共に、踏査に際して尠からぬ援助を與えられし天鹽演習林各位及北大理學部地質學教室園木文平氏に深謝す。

第一圖 標準地概圖



KM. 0 5 10 (陸地測量部五萬分之一圖幅參照)

第一章 植物群落生態學上より見たる 天鹽演習林の林型

第一節 林 型

I. ヤナギ林

1¹ ヤナギ林概相 (寫眞第二圖版—第五圖參照)

河畔に於ては柳屬植物優勢にして、ナガバヤナギ、エゾノキヌヤナギを其代表とし、時としてシロヤナギ、タチヤナギを混じ、其他屢々ドロノキ、ヤチダモ、ケヤマハンノキ等を混生す。下草の主なるものはキタヨシ、イハノガリヤス、殊に肥沃なる土壤にはハンゴンサウ、エゾヨモギ等生じ、其他一般にエゾノオホバセンキウ、オホブキ、エゾアブラガヤ、エゾガサスゲ等あり。而してかゝるヤナギ林は河畔に於ける土地的安定林型にして、ナガバヤナギ—エゾノキヌヤナギ群叢に依つて代表せられ、天鹽川及其支流各所に之を見ることを得べし。本林中に標準區劃地〔I. A〕；帶狀標準區劃地〔I. a〕を選び、天鹽川河畔神路附近に之を設定せり。

(第二圖參照)

1² ヤナギ林標準區劃地

〔I. A〕 ヤナギ林：神路 (15m)²

標準區劃地

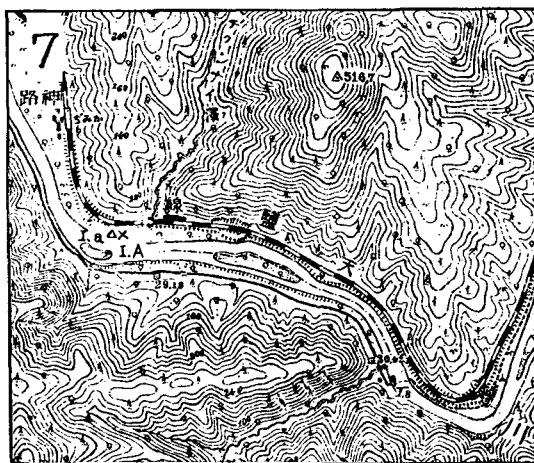
本標準區劃地は、ペチクンナイ澤西方約150米、宗谷本線鐵道線路の南側50米を

距てたる鐵道用地なれども、天鹽第一演習林とは密接なる關係ある地點なれば、こゝにヤナギ林の標準地を取れり。(第二圖參照)

本地點は、天鹽川沿岸低地の沖積土にして、早春融雪時には約2米増水し、4月初旬まで泥流に洗はるゝ事あるも、エゾノキヌヤナギ、ナガバヤナギ等多く生じ、稀にヤチダモを混す。下層はクサソテツ、オホイタドリ等優勢にして、オホバイラクサ、ミゾソバ、オホイタスデ、イスタデ、キツリフネ、エゾオホバセンキウ、ハンゴンサウ、エゾヨモギ、スゲ類等生す。

尙春季に於ける下草状態を參考の爲に述べんに、春季相は開花せるエゾリウキンクワ、エゾキンバウゲ等により代表され、又所によりミヅバセフの開花せるあり。其他、オニシモツケ、オホ

第二圖 (第三頁第一圖7)



バイラクサ, シヤク, エゾオホバセンキウ, ハヒキンボウゲ, オホブキ, ザゼンサウ, ギヤウジヤニンニク等の嫩葉あり, 又サイハンラン生ず。

此の附近兩岸は, 針濶混濶林にして, 上部にてはトマツ多く, ミヅナラ, ダケカンバ, シナノキ等混じ, 中腹以下に至れば, カツラ, エゾイタヤ, オヒヨウ等生じ, 更に下りて平地になりては, アカダモ, ケヤマハンノキ, ヤチダモ等出で, 更に川に迫りては, 遂にヤナギ林の出現となる。

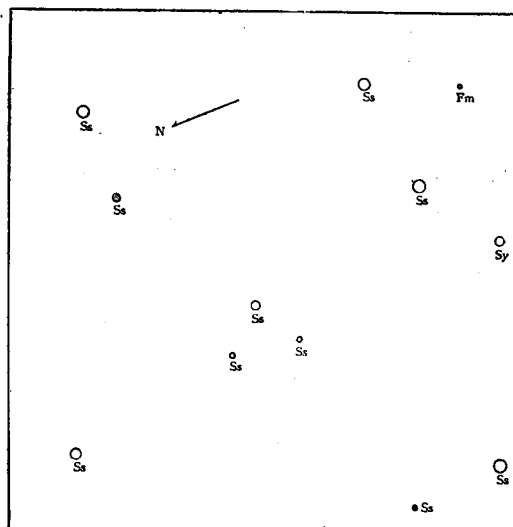
本標準區劃地附近, カツラ, アカダモ等の生育し得られんと思はれる所(現在, カツラの老大樹あり, 嘗てアカダモを主とし, ヤチダモ, ケヤマハンノキ等を交へしも, 伐採せられしと言ふ。)の下草として, 開花せるエゾエンゴサクの群落をなすは, 春季相として顯著なるものにして, 他にウラベニイチゲ, ニリンサウ, キバナノアマナ等開花し, ハナウド, エゾニウ, エゾアザミ, エゾヨモギ,

オホブキ等の嫩葉あり。またエゾニハトコ生ず。又河邊には, トクサの大群落ありて, 中にクサソテツ, オホバイラクサ, エゾリウキンクワ, ザゼンサウ, エゾヨモギ等少しく混ず。

今本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに上圖の如し。(第三圖)

更に之を數的に表示せんに第一表の如し。

第三圖



● 枯損 IV. 18, 1933. 調査

第一表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑					合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	
Salix sachalinensis Fr. Schm. (Ss)	ナガバヤナギ	1	3	1	2	3	10
Salix yezoensis Kimura (Sy)	エゾノキヌヤナギ	—	—	1	—	—	1
Fraxinus mandshurica Rupr. (Fm)	ヤチダモ	1	—	—	—	—	1
直徑級別合計		2	3	2	2	3	12

尙本標準區劃地内の下層の (2m)² 小標準區劃地を取りて, 下草を調査せしに次の如し。

(6)

植 物 名	本 数	植 物 名	本 数
ク サ ソ テ ツ	22	エゾオホバセンキリ	4
オホバイラクサ	7	ス ゲ 類	3
ミ ヅ ソ バ	4	イ ヌ タ デ	2

〔1. a.〕 ヤナギ林：神路(5×35m²)帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は (I. A.) 神路標準區劃地の西方, 50mの地点, 天鹽川流邊より, 略々南北の位置に取れり。(第二圖参照—4頁)

林地概況は (I. A.) 神路標準區劃地に同様なれども, 始端附近水中にはキタヨシ多く生じ, 始端より7m (y) まではキタヨシ, イハノガリヤス等多く下層に生じ, イヌタデ, エゾコシロネ, エゾヨモギ等混す。

今, 本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第二表)

第 二 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
エゾノキヌヤナギ	—	1.20	0.40	—	—	1.70	—	
同	—	0.80	1.20	—	—	1.80	—	
同	2.30	—	2.10	2.0	2.0	2.00	1.00	
同	0	—	2.40	—	—	0.60	—	
同	1.30	—	3.20	1.8	2.0	2.05	1.00	
同	1.70	—	3.30	2.8	2.8	1.90	0.35	
同	0.20	—	4.10	3.6	3.6	3.30	0.85	
同	2.40	—	6.30	6.2	6.0	4.50	1.30	
同	0.70	—	7.50	4.0	4.6	4.00	0.50	
同	0.40	—	8.20	2.4	2.6	2.70	—	枯 損
同	—	1.50	6.30	10.0	13.6	5.00	0.70	
同	1.45	—	8.50	2.6	3.2	2.30	1.10	
同	1.30	—	8.70	2.4	2.2	—	—	元 折
同	1.80	—	8.70	4.2	3.6	—	2.00	中 折
同	2.00	—	8.75	2.8	3.0	—	1.30	中 折
同	—	0.90	8.80	4.4	5.4	5.50	2.40	
同	—	2.40	9.30	6.0	7.0	5.00	1.50	
ヤ チ タ モ	—	1.90	9.30	3.4	4.4	2.20	0.30	
エゾノキヌヤナギ	0.80	—	9.15	10.0	9.0	5.00	0.95	
同	—	0.80	9.25	9.6	10.0	6.50	1.20	
同	—	2.00	10.65	3.0	3.6	3.50	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
エゾノキヌヤナギ	2.50	—	11.60	14.0	14.4	7.00	2.20	
同	2.50	—	11.80	17.4	16.2	9.00	1.60	
同	—	1.70	12.15	16.0	17.0	8.50	0.50	
同	—	0.85	12.90	15.0	14.4	10.00	5.30	
ナガバヤナギ	2.30	—	13.70	21.0	21.6	11.00	5.20	
同	1.90	—	17.45	28.6	26.0	10.00	2.50	
同	—	1.00	19.95	6.4	6.0	5.00	2.00	
同	—	0.60	21.05	16.0	15.0	8.00	6.00	
エゾノキヌヤナギ	0.70	—	22.60	16.6	16.1	13.50	3.40	
ナガバヤナギ	—	0.45	23.45	10.5	9.8	8.00	2.00	
同	1.15	—	24.00	0.4	0.4	—	—	枯損
同	0.75	—	25.20	10.0	9.0	—	—	枯損
エゾノキヌヤナギ	—	1.56	25.30	21.0	21.2	11.00	2.70	
同	1.15	—	26.45	4.2	4.2	—	—	枯損
同	—	0.82	27.10	14.4	14.0	9.00	2.00	
ナガバヤナギ	—	0.96	28.80	12.0	12.6	9.00	2.80	
同	0.87	—	29.00	10.0	9.4	—	—	枯損
エゾノキヌヤナギ	1.90	—	30.15	17.0	17.6	14.00	8.00	
ナガバヤナギ	—	0.35	31.90	19.0	19.0	13.00	1.60	
同	2.30	—	33.20	11.5	12.4	11.00	5.00	
同	—	0.45	33.50	10.0	19.6	11.00	1.50	

V. 18, 1933. 調査

II. ヤチハンノキ林

2¹ ヤチハンノキ林概相 (寫真第二圖版—第六圖參照)

ヤチハンノキ林は蘆沼野(キタヨシ群叢)に關係あるものにして、所謂下位泥炭の最後の樹林として考察すべきものなり。間寒別川に於てはアカエゾマツ林よりも一層流畔に沿ふて生ずるを常とす。下層の主なるものはキタヨシ又はイハノガリヤス、時に是等下生要素はオニシモツケ、ハンゴンサウ等により置換せらる。

本林は天鹽川河畔及間寒別川河畔に見る事を得べし。本林中に標準區劃地〔II. A; II. B.〕を選び間寒別川沿に之を設定せり。(第四圖參照)

2² ヤチハンノキ林標準區劃地

(8)

〔II. A.〕 ヤチハンノ林：問寒別川(15m)
標準區劃地

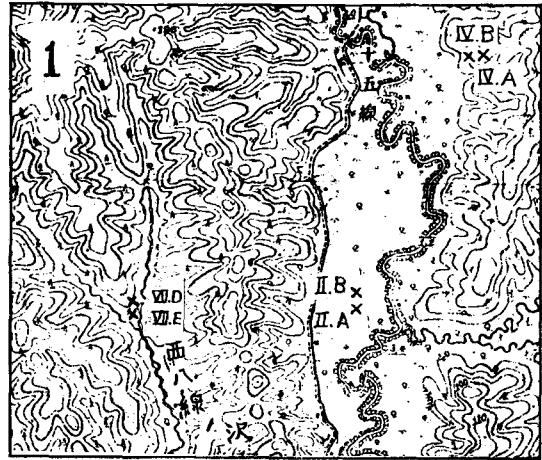
本標準區劃地は問寒別驛遞所(陸地測量部地圖五萬分ノ一、敏音知參照)の驛の字の北方1500米の地點、トイカンベツ川の西岸流域沖積土上に取れり。(第四圖參照)

此の附近は濕潤なる平坦地にして、ヤチハンノキ(胸高直徑5—18cm; 樹高5—8.5m)多く生じ、少しくヤチダモ(胸高直徑5.4—21cm; 樹高5.5—7.5m)を混す。下層は主として、キタヨシ、イハノガリヤスによりて占めらるゝも、オニシモツケ、ゴマナ、ハンゴンサウ、ミ、カウモリ、エゾオホバセンキウ等の大型草本をよく伴ひ、木本には、エゾニハトコ、ノリノキ、ヒロハツリバナ、エゾイボタ等あり。最下層には、ハヒイヌツゲ、ヲシダ、ホソキノデ、イヌガンソク、クサソテツ、ミゾソバ、キツリフネ、オホタチツボスミレ、エゾコシロネ、エゾアザミ、ミヅバセヲ、タチギバウシユ、オホマヒヅルサウ、オホアマドコロ、ギヤウジヤニシク等、又蔓莖類としてツルアデサキ生す。

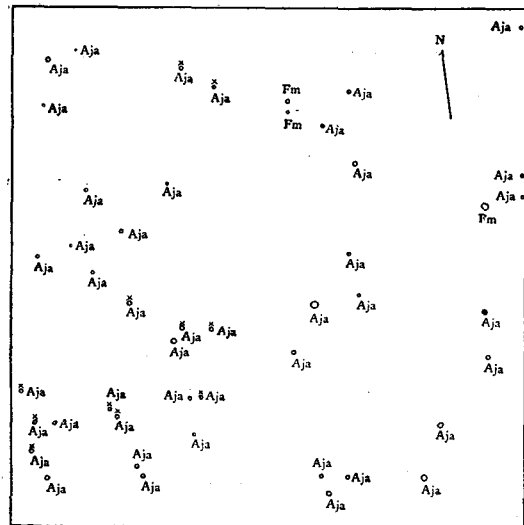
今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに次の如し。(第五圖)

更に之を數的に表示せんに第三表の如し。

第四圖 (第三頁第一圖1)



第五圖



● 枯損 ○ 伐根 VIII. 28, 1933. 調査

第三表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑					合計
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	
<i>Alnus japonica</i> Sieb. et Zucc. var. <i>arguta</i> C. K. Schn. (Aja)	ヤチハンノキ	9	15	17	3	—	44
<i>Fraxinus mandshrica</i> Rupr. (Fm)	ヤチダモ	—	1	—	—	2	3
直徑級別合計		9	16	17	3	2	47

本標準區劃地内の下層の(2m)²小標準區劃地をとりて下草を調査せしに第四表の如し。

第 四 表

II. A 標準區劃地			II. B 標準區劃地		
植 物 名	本 數	備 考	植 物 名	本 數	備 考
キ タ ヨ シ	33	高さ2.3m	キ タ ヨ シ	58	高さ1.9m
ハ ヒ イ ヌ ツ ゲ	32		オ ホ タ ツ ツ ホ ス ミ レ	40	
オ ホ タ ツ ツ ホ ス ミ レ	24		オ ホ マ ヒ ツ ル サ ウ	23	
キ ツ リ フ ネ	17		ミ ミ カ ウ モ リ	22	高さ1.3m
オ ニ シ モ ツ ケ	16	高さ2.5m	ミ ヅ ソ バ	16	
ミ ミ カ ウ モ リ	16		エ ソ ア ザ ミ	13	
エ ソ コ シ ロ ネ	9		ゴ マ ナ	13	高さ1.6m
ミ ツ バ セ チ	8		タ チ ギ バ ウ シ ュ	12	
オ ホ ア マ ド コ ロ	7		ハ ヒ イ ヌ ツ ゲ	12	
オ ホ マ ヒ ツ ル サ ウ	3		ミ ツ バ セ チ	11	
ミ ヅ ソ バ	1		エ ソ コ シ ロ ネ	9	
エ ソ ア ザ ミ	1		オ ホ ア マ ド コ ロ	6	
イ ヌ ガ ン ソ ク	1		ギ ヤ ウ シ ヤ ニ ン ニ ク	1	
			オ ニ シ モ ツ ケ	1	高さ1.4m

〔II. B.〕 ヤチハンノキ林: 間寒別川

(15m)² 標準區劃地

本標準區劃地は〔II. A.〕標準區劃地の北方40米, トイカンベツ川西岸の沖積土上に取れり。

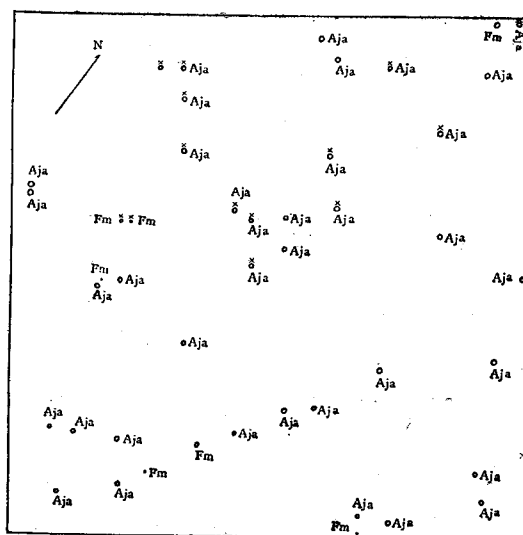
林地概況は〔II. A.〕標準區劃地に同じ。

(第四圖参照—8頁)

今, 本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに次の如し。(第六圖)

更に之を數的に表示せんに第五表の如し。尙本標準區劃地内の下層の(2m)²小標準區劃地を取りて, 下草を調査せし結果は第四表に並記せり。

第 六 圖

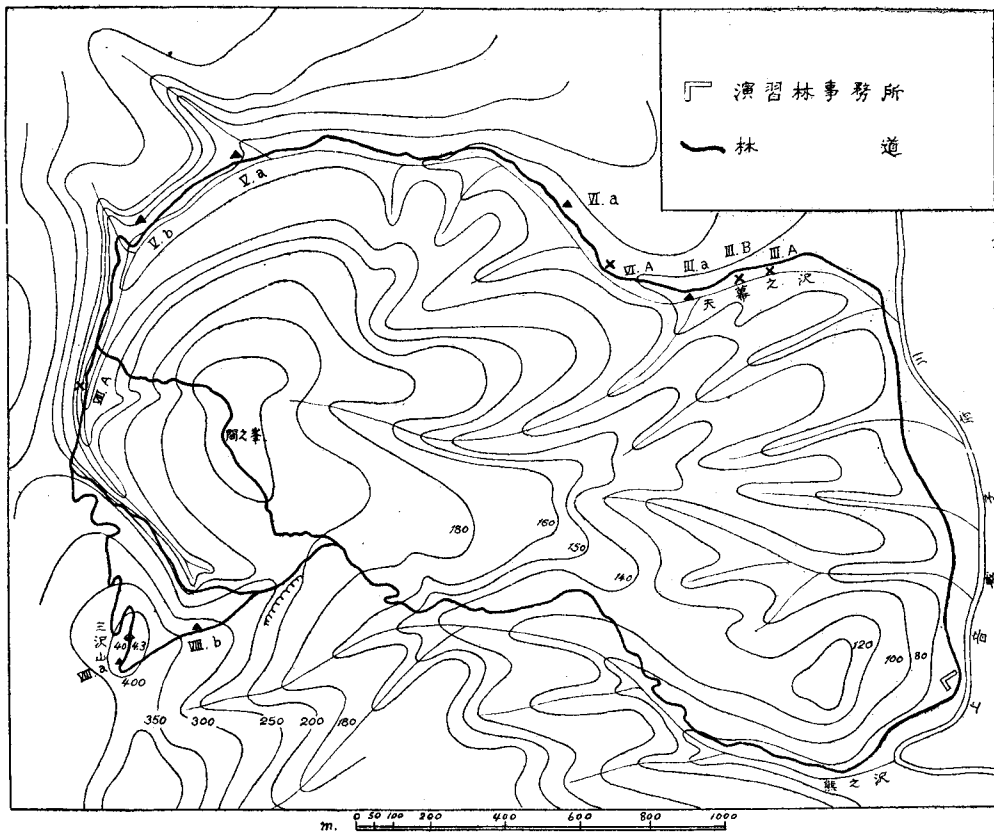


● 枯損 ✕ 伐根 VIII 23, 1933. 調査.

第五表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑					合計
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	
<i>Alnus japonica</i> Sieb. et Zucc. var. <i>arguta</i> C. K. Schn. (Aja)	ヤチハンノキ	—	7	25	5	1	38
<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. (Fm)	ヤチダモ	3	2	2	—	—	7
直徑級別合計		3	9	27	5	1	45

第七圖 (第三頁第一圖5)



III. アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林

3' アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林概相 (寫真第二圖版—第七圖参照)

アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林は低地溪畔林にして、稍々平坦なる地を選び、針闊混
 淆林内の特殊樹林型と考察すべきものなり。アカダモ、ヤチダモ、ケヤマハンノキを主木とし、是
 にエゾイタヤ、ミヅナラ、ナガバヤナギ、エゾキシヤナギ、オヒヨウ、ミヅキ等を混す。下生素

は夏季一般大型草本に特徴づけられ、笹類比較的少なきを特徴とす。本林は山地林の低部各所に見ることを得べし。本林中に標準區劃地〔III. A; III. B〕及帶狀標準區劃地〔III. a〕を天幕之澤沿ひに設定せり。(第七圖参照-10頁)

3² アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林標準地

〔III. A.〕 アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林：天幕ノ澤 (10m)² 標準區劃地

本標準區劃地は針潤混濬林中に存在する天幕之澤下流の平坦地(巾約40米)にして、上音威子府川との分岐點の西北方約400米、天幕之澤の「之」の字の北方、流邊(天幕之澤の水面は約4米)より約10米を距て、林道との間に取れり。(第七圖参照-10頁)

此の地點は、澤沿の沖積土の平坦地に發達せる潤葉樹林にして、アカダモ、ケヤマハンノキ、ヤチダモ等の老大樹(胸高直徑30—103cm; 樹高12—20m)を主とし、エゾイタヤ、ミヅナラ、ナガバヤナギ、エゾノキヌヤナギ、オヒヨウ、ミヅキ等を混ず。下層はオホイタドリ、ハナウド、オホブキ、エゾオホバセンキウ、ウラゲヨブスマサウ、マルバヒレアザミ等の大型草本優勢にして、ネマガリダケ少しく混じ、最下層にはシラネワラビ、ホソキノデ、ミヤマベニシダ、オホバイラクサ、ムカゴイラクサ、エゾシヤウマ、コンロンサウ、エゾイチゴ、キツリフネ、クサノスミレ、カサスゲ、ミミカウモリ、ザゼンサウ等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。

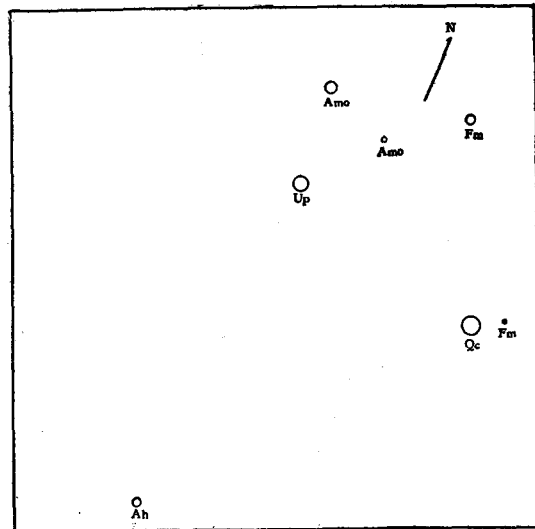
尙春季(V. 17, 1933)に於ける下草の状態を參考の爲に述べんにネマガリダケ顯著にして、その間にエゾオホバセンキウ、ウラゲヨブスマサウ、マルバヒレアザミ、ザゼンサウ等の嫩葉多く、ミヅバセラ、エゾエンゴサク、エンレイサウ等開花し、又所々に開花せるニリンサウの小群落あり。

本標準區劃地附近の兩岸は傾斜地の針潤混濬林にして、針葉樹には、トドマツ多く、エゾマツ混じ、潤葉樹としては、エゾイタヤ、ベニイタヤ、オヒヨウ、ミヅナラ、ダケカンバ、センノキ等ありて、下層は笹類の占むる所なり。

今本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん上記の如し。(第八圖)

更に之を數的に表示せん第六表の如し。

第 八 圖



VII. 20, 1933. 調査.

第 六 表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑										合 計
		10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55		
<i>Ulmus propinqua</i> Koidz. (Up)	アカダモ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. (Fm)	ヤチダモ	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
<i>Alnus hirsuta</i> Turcz. (Ah)	ケヤマハンノキ	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミツナラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2
直 徑 級 別 合 計		1	2	—	1	1	—	—	—	1	1	7

尙本標準區劃地内の下層の (2m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 数	備 考	植 物 名	本 数	備 考
ムカゴイラクサ	50		ミミカウモリ	4	
カサスゲ	43		オホブキ	4	高さ0.8m
ウラゲヨブスマサウ	12		ザゼンサウ	3	
マルバヒレアザミ	11	高さ2.5m	ツルアジサキ	3	
キツリフネ	10		エゾオホバセンキウ	2	高さ2.0m
ネマガリダケ	7	高さ0.6m	エゾイチゴ	2	
ミヤマベニシダ	5		オホイタドリ	1	高さ2.4m
クサノスミレ	5		ホソキノデ	1	

〔III. B.〕 アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林：天幕澤 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は〔III. A.〕天幕澤標準區劃地の西方70米，天幕の澤左岸，流邊より約2米を距て林道との間の平坦地に取れり。區劃地内には，河原礫の帯狀に存在せる所あり。(第七圖參照—10頁)

此の地點は，澤沿沖積土に發達せる潤葉樹林にして，アカダモ，ケヤマハンノキ，ヤチダモ等を主とし，エゾイタヤ，ナガバヤナギ，オヒヨウ等生ず。下層はオニシモツケ，オホイタドリ，ハナウド，オホブキ，ウラゲヨブスマサウ，マルバヒレアザミ，エゾウバユリ等の大型草本優勢にして，ネマガリダケ少しく生じ，最下層にはジウモンジシダ，リヤウメンシダ，サカゲキノデ，ハクマウキノデ，オホバイラクサ，ムカゴイラクサ，エゾシヤウマ，オホレイジンサウ，キツリフネ，クサノスミレ，ウマノミツバ，シヤク，ヤマブキシヤウマ，ミツバタネツケバナ，ミミカウモリ，ザゼンサウ，オホバナエンレイサウ，ミヤマタウバナ，オホバタケシマラン，アマチヤヅル等生じ，又カサスゲの群落をなす所あり。

尙春季 (V. 17, 1933) に於ける下層の状態を參考の爲に述べんに，ハナウド，オホブキ，エゾ

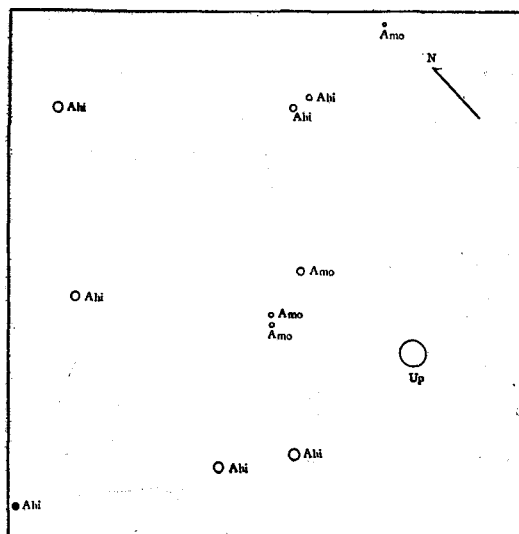
ウバユリ等の嫩葉眼を惹き、エゾエンゴサク、カタクリ、オホバナエンレイサウ、ニリンサウ等開花せり。

本標準區劃地の附近傾斜地は針潤混淆林にして、トドマツ、エゾマツ、ミヅナラ、ダケカンバ、シナノキ、エゾイタヤ、ヒロハキハダ、アヅキナシ、ホホノキ等生ず。

今本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに第九圖の如し。

更に之を數的に表示せんに第七表の如し。

第九圖



● 枯損 VII. 20, 1933. 調査.

第七表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑							合計
		5-10	10-15	20-25	30-35	35-40	40-45	100-105	
<i>Ulmus propinqua</i> Koidz. (Up)	アカダモ	—	—	—	—	—	—	1	1
<i>Alnus hirsuta</i> Turcz. (Ah)	ケヤマハンノキ	—	2	1	1	2	1	—	7
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	2	2	—	—	—	—	—	4
直徑級別合計		2	4	1	1	2	1	1	12

本標準區劃地内の下層の (2m)² 小標準區劃地をとりて下草を調査せしに次表の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オホブキ	4	高さ1m	カサスゲ	多数
ウラゲヨブスマサウ	3	高さ1.4m	ムカゴイラクサ	25
ハナウド	3	高さ2m	キツリフネ	10
ネマガリダケ	2	高さ0.7m	アマチヤヅル	8
オニシモツケ	1	高さ1.5m	オホバナエンレイサウ	3

[III. a.] アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林: 天幕ノ澤 (6×30m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は天幕の澤第二支流の分岐點近き西北方に在りて、分岐點より20米上流の本流沿沖積土上、略々東西の位置に取れり。(第七圖参照—10頁)

此の地點は、アカダモ、ケヤマハンノキ、エゾイタヤ等を主とする澤沿の沖積土の潤葉樹林にして、ナガバヤナギ、ミヅナラ等を混じ、また少しくエゾマツ混入す。下層はオニシモツケ、オホ

(14)

イタドリ、ハナウド、オホブキ、ハンゴンサウ、マルバヒレアザミ、エゾウバユリ等の大型草本優勢にして、最下層にはジウモンジシダ、ハクマウキノド、オホバイラクサ、エゾリウキンクワ、エゾシヤウマ、コンロンサウ、ミツバタネツケバナ、キツリフネ、クサノスミレ、ウマノミツバ、シヤク、ルキエフボタン、ミヤマタウバナ、ツルニンジン、クルマバサウ、ハウチヤクサウ、オホバナエンレイサウ、アマチャヅル等生じ、又濕地にはカサスゲの多き所あり。

尙春季 (V. 17, 1933) に於ける下草の状態を述べんに、オニシモツケ、ハナウド、オホブキ、マルバヒレアザミ等の嫩葉多く、ニリンサウ、ミヅバセフ、エゾエンゴサク、オホバナエンレイサウ等開花せり。

本帯狀標準區劃地附近、左岸林道より北方30米位まではオホイタドリ、ハナウド、ハンゴンサウ、マルバヒレアザミ、ウラゲヨブスマサウ等の大型草本生じ、ネマガリダケ混する草生地にして、トドマツ、エゾマツ、シナノキ、エゾイタヤ、ダケカンバ、オヒヨウ、カツラ、ヒロハキハダ等を混生する山腹の針濶混淆林に接す。右岸にては、アカダモ、オヒヨウ、ケヤマハンノキ、ナガバヤナギ等を生じ、流畔斜面は、トドマツ、エゾマツ、シナノキ、ダケカンバ、エゾイタヤ等生する混淆林なり。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんには次の如し。(第八表)

第 八 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
ケヤマハンノキ	1.10	—	0	33.8	33.2	21.00	7.00	y10.5mノ所 ニ直徑36cm ノ倒木横ハ リレ
同	0.75	—	0	17.5	16.4	8.00	2.00	
同	0.40	—	0.90	34.3	32.5	22.00	6.00	
同	—	0.55	6.40	34.8	27.3	20.00	2.50	
ナガバヤナギ	—	2.00	16.00	20.4	19.2	15.00	3.50	
エゾイタヤ	1.50	—	20.00	40.6	43.2	12.00	7.00	
ケヤマハンノキ	0.45	—	21.70	4.80	4.60	7.00	2.50	
同	—	0.20	21.80	21.20	20.60	11.00	6.00	
同	—	0.55	21.85	5.90	5.80	4.50	2.50	
同	0.40	—	21.90	16.80	15.00	8.00	3.50	
エゾイタヤ	—	0.25	22.70	33.80	30.60	11.50	6.50	
ケヤマハンノキ	0.95	—	23.85	27.4	25.2	13.00	7.00	
アカダモ	—	1.80	25.50	54.0	51.0	24.00	8.00	
エゾイタヤ	0.85	—	26.90	11.3	11.6	6.50	3.00	
同	0.40	—	27.00	6.8	6.4	3.00	5.50	
エゾマツ	—	0.45	28.40	6.6	6.4	4.30	0.85	
エゾイタヤ	0.60	—	29.00	22.80	21.0	1.00	3.20	
アカダモ	0.90	—	29.00	66.50	78.50	26.00	8.00	

IV. ミツナラ林

4¹ ミツナラ林概相 (寫眞第一圖版—第三圖參照)

ミツナラ林は高燥なる地點に生ずるものにして、本演習林の如き地形の所に於ては純叢として發達せる所は極めて尠なく、且極めて部分的の存在なり。下叢は笹類に依り占居せらる。問寒別川沿岸丘陵地帯に是を見る。(第四圖參照—8頁)

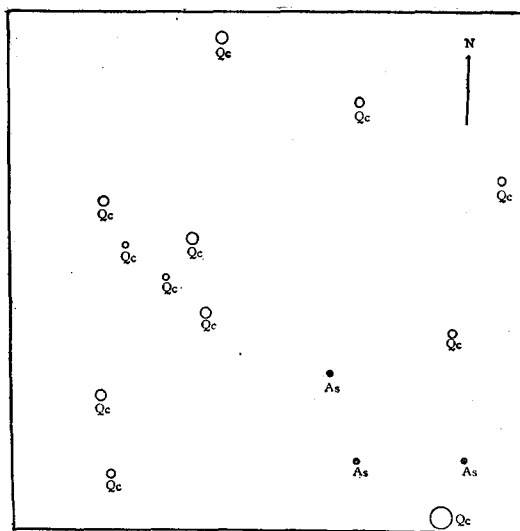
4² ミツナラ林標準地

[IV. A.] ミツナラ林：問寒別川沿岸丘陵 (15m)² 標準區劃地

本標準區劃地は十五線(陸地測量部地圖五萬分之一上猿拂參照)の十の字の東方、750米の地點、トイカンベツ川東岸流域にして、丘陵の下部平原に近き所に取れり。(第四圖參照)

此の地點は、東方は火山跡地に近接する(シラカンバ多く生ず)低き丘陵(100米)下方、高距40米前後の緩傾斜地にして、ミツナラ(胸高直徑15—60cm；樹高9—15m)多く生じ、ダケカンバ、シラカンバ、エゾイタヤ、シナノキ、オヒヨウ、シウリザクラ等混じ、又トドマツ散點狀に混生す。下層はネマガリダケ(高さ1.4m)密生し、ゴマナ、ハンゴンサウ等の芽生、ツタウルシが本標準區劃地内を横斷する小逕(十五線澤より十二線澤への小逕)に沿ひ僅かに生ずるのみ。

第十圖



●枯損 ⊕伐根 VIII. 28, 1933. 調査.

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに上圖の如し。(第十圖)

更に之を數的に表示せんに第九表の如し。

第九表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑						合計	
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60		60-70
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミツナラ	—	1	6	4	—	—	1	12
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	トドマツ	—	3	—	—	—	—	—	3
直徑級別合計		—	4	6	4	—	—	1	15

(16)

本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下層を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	備 考
ネ マ ガ リ ダ ケ	64	高さ1.4m
ゴ マ ナ	2	芽 生
ツ タ ウ ル シ	2	

〔IV. B.〕 ミヅナラ林：間寒別川沿岸丘陵 (15m)² 標準區劃地

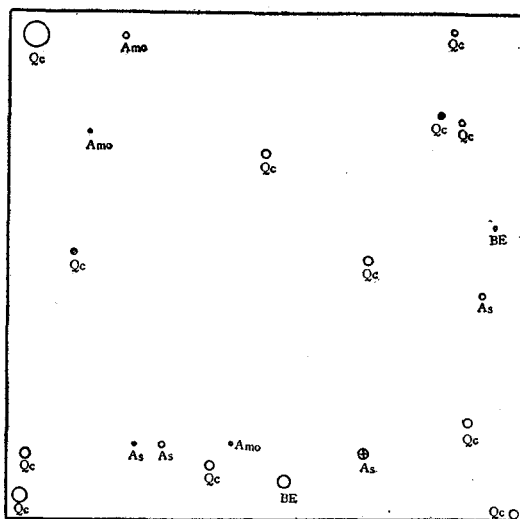
本標準區劃地は〔IV. A.〕標準區劃地の南西方50米の地點にして、南方約100米にして農耕地に接す。(第四圖參照—8頁)

此の地點はミヅナラ (胸高直徑9.3—74.5 cm ; 樹高6.5—16m) 多く生じ、トドマツ (胸高直徑17cm ; 樹高9m), エゾイタヤ, ダケカンバ, オヒヨウ, ヤチダモ, シウリザクラ等混す。下層はネマガリダケ (高さ1.5m) 密生し、最下層には、僅かにミヤママタタビ生ずるのみ。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第十一圖)

更に之を數的に表示せんに第十表の如し。

第 十 一 圖



● 枯 損 ⊕ 伐 根 VIII. 28, 1933. 調査.

第 十 表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑								合 計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミ ヅ ナ ラ	2	3	4	1	—	1	—	1	12
Betula Ermani Cham. (BE)	ダ ケ カ ン バ	1	—	—	1	—	—	—	—	2
Acer mono Maxim. v. (Amo)	エ ゾ イ タ ヤ	2	1	—	—	—	—	—	—	3
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	ト ド マ ツ	1	2	—	1	—	—	—	—	4
直 徑 級 別 合 計		6	6	4	3	—	1	—	1	21

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	備 考
ネ マ ガ リ ダ ケ	96	高さ1.5m

V. シナノキーオヒヨウーイタヤ林

5¹ シナノキーオヒヨウーイタヤ林概相

シナノキーオヒヨウーイタヤ林は、針葉樹林若しくは針過混淆林中溪沿ひに出で来る特殊林にして、林地の幅一般に廣からざるを特徴とす。シナノキ、オヒヨウ、エゾイタヤを主木とし、ダケカンバ、ミヅナラ、ホホノキ、シウリザクラ、ヒロハノキハダ、ベニイタヤ、センノキ、ミヅキ、ヤチダモ等を混す。下層は一般にオクヤマザサに占めらるるも、尙灌木としてムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ等あり。

本林に標準地として帯狀標準區劃地〔VI. a ; VI. b ; VI. c〕を設け、之を天幕第一演習林天幕之澤及音威子府附近に設定せり。(第七圖；第十二圖參照)

5² シナノキーオヒヨウーイタヤ林

〔V. a.〕 シナノキーオヒヨウーイタヤ林：天幕之澤 (6 × 90m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は天幕之澤第六支流分岐點の西方90米、林道の西北方90米の上部より林道に至るものなり。天幕之澤に面せる南斜面の急斜地にして傾斜 S. 28°、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第七圖參照—10頁)

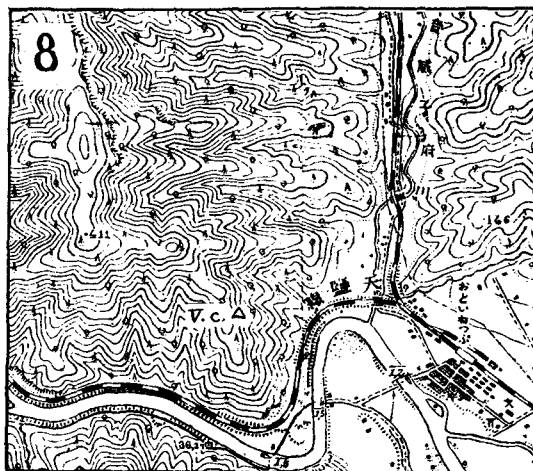
此の斜面はシナノキ、オヒヨウ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、シウリザクラ等の多き潤葉樹林にして、ミヅナラ、センノキ、ホホノキ、ヒロハキハダ等を混す。下層はオクヤマザサ(高さ3m)極めて旺盛にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、コマユミ、ヒロハツリバナ等あり。最下層には、ラシダ、ジウモンジン

ダ、コタニワタリ、ヒトリシヅカ、ムカゴイラクサ、コンロンサウ、ナニハツ、ハナウド等、又蔓莖類にはヤマブドウ、エゾサルナンシ、マタタビ等生ず。

尙本帯狀標準區劃地より上部はシナノキ多く生じ、エゾイタヤ、ミヅナラ、ダケカンバ、シウリザクラ、ヒロハキハダ等の潤葉樹林にして、更に尾根通に到れば、ダケカンバ多き林となる。

本標準區劃地より下部は天幕之澤流畔斜面の傾斜地の潤葉樹林にして、オヒヨウ(胸高直徑30cm；樹高16m)、シナノキ、ケヤマハンノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等生じ、ミヅナラ、ダケカンバ等少しく混じ、流畔にはケヤマハンノキ多く生ず。下層はオクヤマザサ優勢にして、オホイタドリ、ウド、オニシモツケ、ウラゲヨブスマサウ、ハンゴンサウ、マルバヒレアザミ等の大型草本を伴ふ。

第十二圖 (第三頁第一圖8)



(18)

又東方は針闊混淆林にして、トドマツ、エゾマツ、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ホホノキ等生じ、ヤチダモの老大樹（胸高直徑70cm；樹高28m）あり。更に西方には、本帯狀標準區劃地の如き林型あり。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第十一表の如し。

第 十 一 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
シ ナ ノ キ	—	2.40	1.50	43.0	37.0	28.00	5.00	
同	—	2.90	2.00	10.0	10.0	8.00	2.50	
同	—	2.20	2.10	4.0	3.0	4.50	1.80	
同	—	2.60	2.20	—	—	3.50	—	
同	—	2.80	2.20	6.0	6.0	5.50	2.00	
オ ヒ ヨ ヲ	3.00	—	2.40	—	—	3.00	—	
シ ナ ノ キ	—	2.15	2.50	—	—	1.00	—	
オ ヒ ヨ ヲ	3.00	—	2.60	28.0	36.0	19.00	8.00	
ヒ ロ ハ キ ハ ダ	0.20	—	2.90	—	—	4.00	—	
シ ナ ノ キ	—	2.40	3.00	3.0	3.0	4.00	2.00	
セ ン ノ キ	0.90	—	4.70	—	—	2.00	—	
シ ナ ノ キ	2.10	—	5.20	6.0	6.0	5.00	1.80	
セ ン ノ キ	0.40	—	5.40	—	—	3.50	—	
シ ウ リ ザ ク ラ	1.00	—	5.80	—	—	0.40	—	
同	0.50	—	6.80	—	—	4.00	—	
同	0.80	—	7.00	11.0	11.0	9.00	3.50	
同	1.70	—	7.60	—	—	3.30	—	
ム シ カ リ	—	1.20	8.00	—	—	1.40	—	
エ ズ イ タ ヤ	1.25	—	8.40	—	—	0.50	—	
ム シ カ リ	2.50	—	8.50	—	—	2.00	—	
シ ウ リ ザ ク ラ	1.40	—	8.60	—	—	0.40	—	
同	—	0.75	8.80	—	—	1.60	—	
ム シ カ リ	1.25	—	9.20	—	—	1.80	—	
同	0.55	—	9.60	—	—	0.70	—	
同	0.30	—	9.80	—	—	2.00	—	
シ ウ リ ザ ク ラ	1.60	—	10.80	—	—	1.10	—	
同	2.15	—	10.90	14.0	14.0	11.50	3.50	
同	—	1.80	10.90	3.0	4.0	4.50	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	シウリザクラ	—		0.50	10.90			
コマユミ	—	2.85	11.00	—	—	2.50	—	
同	—	1.00	11.10	—	—	1.30	—	
ベニイタヤ	—	2.30	11.30	4.0	4.0	4.50	2.00	
ムシカリ	1.00	—	11.50	—	—	0.90	—	
同	1.80	—	11.50	—	—	1.20	—	
シカリザクラ	—	3.00	11.60	20.0	20.0	14.00	6.00	
ムシカリ	0.20	—	13.40	—	—	0.70	—	
シウリザクラ	1.25	—	13.80	—	—	2.00	—	
ムシカリ	1.55	—	13.80	—	—	2.30	—	
同	1.60	—	13.80	—	—	1.30	—	
同	1.65	—	13.80	—	—	1.20	—	
ダケカンバ	0.50	—	14.30	54.0	52.0	24.00	2.50	
シウリザクラ	2.80	—	15.20	—	—	3.00	—	
同	—	3.00	15.30	20.4	20.6	17.00	3.50	
ムシカリ	—	2.65	15.30	—	—	2.40	—	
シナノキ	2.90	—	15.50	6.0	7.0	4.50	3.80	
シウリザクラ	2.20	—	15.60	—	—	2.80	—	
シナノキ	2.35	—	15.60	5.0	5.0	4.80	2.00	
ムシカリ	3.00	—	15.60	—	—	2.80	—	
シナノキ	2.35	—	15.65	—	—	3.50	—	
シウリザクラ	—	2.20	16.00	—	—	1.60	—	
エゾイタヤ	2.85	—	16.10	27.0	26.0	16.00	4.00	
ムシカリ	2.80	—	17.60	—	—	2.00	—	
同	3.00	—	17.80	—	—	2.20	—	
シウリザクラ	2.90	—	18.00	4.0	4.0	5.00	3.00	
ムシカリ	2.90	—	18.05	—	—	1.20	—	
シウリザクラ	2.20	—	18.40	—	—	2.50	—	
ヒロハキハダ	—	0.90	18.50	—	—	1.65	—	
ムシカリ	—	2.10	19.00	—	—	1.70	—	
シウリザクラ	—	1.55	19.10	—	—	4.00	—	
同	1.10	—	20.40	—	—	2.00	—	先折れ
同	1.10	—	20.50	—	—	4.00	—	
同	0.65	—	21.00	—	—	1.90	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シウリザクラ	0.80	—	21.20	3.2	3.0	5.50	2.30	
ムシカリ	2.80	—	22.50	—	—	2.50	—	
シウリザクラ	2.50	—	22.60	—	—	0.90	—	
ムシカリ	0	—	24.00	—	—	2.20	—	
同	0.05	—	24.00	—	—	4.00	—	
同	3.00	—	24.30	—	—	1.80	—	
同	2.85	—	24.40	—	—	2.30	—	
同	2.80	—	24.50	—	—	1.60	—	
同	2.90	—	24.50	—	—	2.80	—	
同	2.90	—	24.60	—	—	2.80	—	
シウリザクラ	0.55	—	24.65	—	—	0.55	—	
ムシカリ	2.90	—	24.65	—	—	3.80	—	
シウリザクラ	0.60	—	24.70	—	—	0.60	—	
ムシカリ	2.65	—	24.70	—	—	5.00	—	
同	2.85	—	24.75	—	—	2.20	—	
シウリザクラ	0.50	—	25.05	—	—	2.50	—	
同	0.61	—	25.05	—	—	3.00	—	
同	0.50	—	25.10	—	—	0.60	—	
同	0.55	—	25.10	—	—	0.55	—	
同	0.60	—	25.10	—	—	1.00	—	
ムシカリ	2.60	—	25.10	—	—	1.80	—	
同	1.30	—	25.10	—	—	3.30	—	
シウリザクラ	1.65	—	25.10	—	—	0.75	—	
同	—	1.70	25.10	—	—	0.45	—	
同	0.56	—	25.20	—	—	0.45	—	
同	0.56	—	25.22	—	—	0.50	—	
同	—	1.20	25.30	—	—	0.85	—	
ムシカリ	—	1.65	25.30	—	—	3.00	—	
同	—	1.40	25.50	—	—	3.00	—	
シウリザクラ	—	1.65	25.50	—	—	0.70	—	
ムシカリ	—	1.60	25.60	—	—	3.80	—	
同	1.75	—	26.40	—	—	1.00	—	
シウリザクラ	0	—	26.60	—	—	0.55	—	
同	—	0.10	26.60	—	—	0.45	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シウリサクラ	—	0.20	26.70	—	—	0.30	—	
同	—	0.55	26.80	—	—	0.25	—	
ムシカリ	—	1.70	26.90	—	—	3.20	—	
同	—	2.10	27.00	—	—	2.30	—	
同	—	2.25	27.00	—	—	0.90	—	
同	—	2.35	27.10	—	—	3.00	—	
同	—	2.45	27.20	—	—	2.90	—	
シウリザクラ	1.20	—	28.20	—	—	1.00	—	
同	1.70	—	28.40	—	—	1.20	—	
同	0.30	—	28.80	—	—	0.80	—	
オヒヨウ	—	0.50	28.90	16.0	17.0	11.00	5.00	
シウリザクラ	1.95	—	30.00	—	—	1.90	—	
ムシカリ	1.30	—	30.00	—	—	3.00	—	
センノキ	—	0.80	30.00	103.0	108.0	23.00	6.00	
ムシカリ	—	2.00	30.80	—	—	1.80	—	
同	0.30	—	30.80	—	—	2.10	—	
シウリザクラ	—	2.50	31.00	—	—	3.50	—	
ムシカリ	—	1.10	31.10	—	—	1.10	—	
同	—	1.20	31.10	—	—	2.40	—	
シウリザクラ	—	2.80	31.10	—	—	3.80	—	
同	—	2.85	31.10	—	—	4.00	—	
シナノキ	0.90	—	33.10	23.0	22.0	14.00	8.50	
同	1.20	—	33.10	18.0	16.0	11.00	6.00	
同	1.10	—	33.50	33.0	33.0	18.00	9.00	
同	—	0.85	33.50	—	—	3.80	—	
同	—	0.90	33.50	—	—	1.60	—	
同	—	1.05	33.50	—	—	2.00	—	
同	—	1.10	33.50	—	—	0.90	—	
同	—	1.15	33.50	—	—	2.50	—	
同	—	1.10	33.60	11.0	12.0	7.50	4.00	
同	—	1.00	33.70	—	—	2.50	—	
同	1.05	—	33.70	—	—	3.50	—	
同	1.20	—	33.70	—	—	2.30	—	
同	1.30	—	33.70	—	—	4.00	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	0.95	—	33.80	4.0	4.0	7.00	—	枯損
同	—	1.00	33.90	—	—	2.60	—	
同	—	1.45	33.90	—	—	2.00	—	
同	—	1.45	33.95	—	—	4.30	—	
同	1.30	—	34.00	—	—	3.80	—	
同	—	0.95	34.00	—	—	1.20	—	
同	1.25	—	34.10	—	—	2.30	—	
同	—	0.95	34.10	—	—	1.20	—	
同	—	1.85	34.40	23.0	28.0	14.00	8.00	
ムシカリ	2.60	—	34.50	—	—	2.50	—	
同	2.55	—	34.60	—	—	2.00	—	
シカリザクラ	—	2.35	34.70	—	—	4.00	—	
シナノキ	—	0.95	34.90	—	—	2.00	—	
同	—	0.85	35.00	—	—	1.00	—	
同	—	1.40	35.00	—	—	4.00	—	
同	—	0.85	35.05	—	—	0.50	—	
同	—	0.85	35.10	—	—	0.55	—	
同	—	2.00	35.10	—	—	2.50	—	
シカリザクラ	—	0.10	35.20	—	—	2.00	—	
シナノキ	—	1.25	35.20	6.0	6.3	7.00	4.00	
同	—	1.55	35.30	13.0	12.0	9.00	5.00	
同	—	1.65	35.30	22.0	21.0	14.00	10.00	
同	—	1.40	35.50	—	—	4.00	—	
同	—	1.55	35.60	—	—	3.50	—	
同	—	1.15	35.70	—	—	3.00	—	
同	—	1.45	35.80	—	—	2.80	—	
同	—	1.55	35.80	—	—	4.00	—	
ムシカリ	0.80	—	37.40	—	—	3.00	—	
同	2.10	—	37.50	—	—	2.50	—	
同	1.30	—	38.30	—	—	3.50	—	
シカリザクラ	2.35	—	38.90	—	—	1.20	—	
同	2.45	—	38.90	—	—	0.90	—	
ムシカリ	1.10	—	39.30	—	—	1.00	—	
ベニイタヤ	—	2.00	39.80	37.0	36.0	15.00	4.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ベニイタヤ	—		0.85	40.10			
オヒヨウ	0.30	—	40.40	—	—	0.50	—	
シウリザクラ	2.15	—	40.50	—	—	1.10	—	
同	—	0.60	41.20	—	—	1.20	—	
同	—	0.65	41.20	—	—	1.50	—	
同	—	1.40	42.00	—	—	4.00	—	
同	—	1.00	42.20	—	—	0.70	—	
コマユミ	1.20	—	42.70	—	—	0.50	—	
シウリザクラ	0.90	—	42.70	—	—	0.50	—	
同	—	0.30	42.80	—	—	2.30	—	
同	0.55	—	43.00	—	—	0.60	—	
ムシカリ	1.40	—	43.00	—	—	1.00	—	
シウリザクラ	—	1.30	43.00	—	—	2.50	—	
同	1.60	—	44.00	—	—	0.55	—	
同	2.45	—	44.10	—	—	2.00	—	
ムシカリ	—	0.15	45.80	—	—	2.50	—	
同	1.15	—	46.00	—	—	1.20	—	
同	—	1.50	47.00	—	—	2.80	—	
同	—	0.10	47.00	—	—	2.50	—	
同	0	—	47.40	—	—	3.00	—	
エゾイタヤ	0	—	50.10	32.0	32.0	12.00	3.50	
ムシカリ	0.50	—	51.00	—	—	2.00	—	
同	1.25	—	51.80	—	—	2.50	—	
同	1.20	—	51.80	—	—	2.80	—	
オヒヨウ	—	1.95	54.80	46.0	49.0	18.00	6.00	
同	—	1.65	55.00	15.0	15.0	9.00	2.00	
ヒロハツリバナ	1.15	—	58.70	—	—	1.30	—	
ノリノキ	1.10	—	59.00	—	—	1.80	—	
ミヅナラ	2.50	—	59.20	110.0	114.0	21.00	5.50	
ムシカリ	1.10	—	59.50	—	—	2.00	—	
同	1.10	—	59.80	—	—	2.50	—	
同	1.50	—	61.50	—	—	3.50	—	
同	2.00	—	61.50	—	—	3.50	—	
同	2.00	—	61.70	—	—	3.50	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ムシカリ	0.85		—	65.00			
シナノキ	—	2.00	67.50	5.0	5.0	4.50	2.50	
同	—	1.45	67.90	45.0	45.0	16.00	6.50	
同	—	1.70	67.90	35.0	36.0	17.00	6.50	
同	—	2.10	67.90	16.0	13.0	7.00	2.50	
同	—	2.55	67.90	46.0	43.0	16.00	5.00	
同	—	2.20	68.40	—	—	1.80	—	
同	—	2.40	68.40	—	—	3.40	—	
同	—	2.00	68.60	—	—	1.90	—	
同	—	2.00	69.00	—	—	4.50	—	
同	—	2.55	69.40	—	—	2.70	—	
ムシカリ	—	1.00	72.00	—	—	2.50	—	
同	—	1.30	72.00	—	—	3.20	—	
同	1.00	—	72.00	—	—	2.50	—	
同	—	1.80	72.00	—	—	2.50	—	
同	—	0.30	74.00	—	—	1.80	—	
シナノキ	—	0.50	77.20	43.0	42.0	24.00	13.00	
同	—	0.20	77.90	—	—	1.00	—	
同	—	0.16	78.00	—	—	3.50	—	
同	—	0.30	78.00	—	—	2.20	—	
同	—	0.34	78.00	—	—	2.00	—	
同	—	0.80	78.00	27.0	26.2	18.00	6.00	
同	—	0.36	78.05	—	—	1.80	—	
同	0	—	78.10	—	—	2.00	—	
同	0.05	—	78.10	—	—	1.50	—	
同	0.30	—	78.10	—	—	2.00	—	
同	—	0.05	78.10	—	—	2.50	—	
同	—	0.20	78.20	—	—	1.50	—	
同	—	1.50	79.00	—	—	2.50	—	
同	—	1.60	79.10	—	—	3.50	—	
同	—	1.55	79.10	—	—	2.50	—	
同	—	1.00	80.00	—	—	2.50	—	
同	—	1.00	80.20	—	—	2.50	—	
同	—	1.65	82.50	—	—	2.50	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	—	2.15	82.50	—	—	3.00	—	
同	—	1.85	82.70	—	—	3.00	—	
ヒロハノキハダ	—	1.65	83.00	8.0	8.0	5.00	2.50	
オヒヨウ	1.00	—	85.50	40.0	38.0	17.00	4.50	
同	0.80	—	86.40	35.0	30.0	8.00	4.50	先折レ

VII. 27, 1933. 調査.

〔V. b.〕 シナノキ—オヒヨウ—イタヤ林：天幕之澤（6×85m²）帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は天幕之澤第七支流の北東方80米，林道上方30米の地點，天幕之澤に面せる南東斜面に取れり。傾斜 SE 31°の急斜地にして，基岩は上部白亞紀頁岩なり。（第七圖参照—10頁）

此の地點は，ミヅナラの老木樹（胸高直徑43—100cm；樹高21—28m），シナノキ，エゾイタヤ，ベニイタヤ，オヒヨウ等を主とする潤葉樹林にして，シウリザクラ，アヅキナン，ミヅキ等を混じ，センノキ，ヒロハキハダ，ホホノキ，ヤチダモ，ヤマダハ等の幼樹あり。また稀にトドマツ生ず。下層はオクヤマザサ，ネマガリダケ（高さ1.8—3m）等により占められ，灌木には，ムシカリ，ノリノキ，ホザキナナカマド，エゾイボタ，エゾマユミ，エゾユヅリハ等あり。最下層には，ヲシダ，ジウモンジシダ，コタニワタリ，オホバイラクサ，エゾシヤウマ，ハナウド，クルマバサウ，ルキエフボタン，レンプクサウ，ヨブスマサウ，ミミカウモリ，アザミ類，オホアマドコロ，ハウチヤクサウ等，又蔓莖類には，ツルアヂサキ，ヤマブダウ，ツタウルシ，ミヤマタタビ等生ず。

尙本帯狀標準區劃地より上部にては，ミヅナラ，シナノキ，オヒヨウ，エゾイタヤ，ナナカマド等の林に連り，下層はオクヤマザサにより占めらる。

今，本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第十二表の如し。

第十二表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ミヅナラ	0.60	—	1.00	51.0	52.0	14.00	5.00	
ノリノキ	2.10	—	1.00	—	—	1.00	—	
オニグルミ	—	2.10	1.00	—	—	1.60	0.70	
同	—	2.50	1.00	—	—	1.30	0.60	
ノリノキ	2.10	—	1.50	—	—	1.00	—	
同	0.50	—	2.00	—	—	1.10	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ノリノキ	1.80		—	2.80			
同	2.30	—	2.80	—	—	0.75	—	
エゾイタヤ	1.80	—	4.00	—	—	0.50	—	
シナノキ	—	0.25	8.10	—	—	3.00	—	
同	—	0.25	8.15	—	—	1.50	—	
同	—	0.30	8.30	—	—	3.50	—	
同	—	0.20	8.40	—	—	2.10	—	
エゾイタヤ	0.30	—	8.70	—	—	3.10	—	
同	1.20	—	10.00	—	—	4.20	—	
同	1.30	—	10.00	—	—	3.30	—	
同	—	0.90	10.80	—	—	2.40	—	
シナノキ	—	0.40	11.20	—	—	2.30	—	
同	—	0.80	11.25	—	—	3.10	—	
エゾイタヤ	—	2.00	11.70	—	—	1.10	—	
オヒヨウ	2.75	—	11.80	31.0	30.0	18.00	6.00	
シウリザクラ	—	2.60	11.80	—	—	2.60	—	
ノリノキ	1.60	—	12.00	—	—	1.80	—	
オヒヨウ	2.00	—	12.00	29.0	27.0	19.00	10.00	
シウリザクラ	—	3.00	12.00	6.6	6.4	7.00	3.50	
エゾイタヤ	—	2.10	12.10	—	—	3.00	—	
シウリザクラ	—	3.00	12.20	33.0	30.0	21.00	8.00	
エゾイタヤ	2.20	—	12.35	28.0	30.0	17.00	9.00	
ノリノキ	1.80	—	14.35	—	—	1.00	—	
同	—	1.45	12.40	—	—	2.20	—	
ミヅナラ	—	2.70	14.70	—	—	6.00	1.50	
シウリザクラ	2.40	—	17.15	—	—	0.80	—	
同	2.40	—	17.25	—	—	0.82	—	
同	2.40	—	17.30	—	—	0.81	—	
シナノキ	0.10	—	18.85	—	—	4.40	—	
同	0	—	19.00	—	—	1.30	—	
同	—	0.10	19.00	6.0	6.0	4.50	—	
同	1.95	—	19.50	—	—	5.00	—	
同	1.95	—	19.60	—	—	1.80	—	
同	1.95	—	19.62	—	—	4.50	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ベニイタヤ	2.85	—	23.35	26.0	27.0	18.00	10.00	
同	3.00	—	24.20	15.0	14.0	14.00	7.00	
シナノキ	1.50	—	26.50	60.0	66.0	18.00	8.00	枯損
ベニイタヤ	2.00	—	29.25	13.0	13.0	11.00	5.00	
同	—	2.00	29.60	24.0	25.0	15.00	10.00	
同	—	1.00	30.40	31.0	29.0	17.00	9.00	
エゾイタヤ	—	2.95	30.70	16.0	16.0	10.00	4.00	
同	—	0.30	31.40	5.0	4.4	—	—	枯損
シウリザクラ	2.70	—	31.80	—	—	0.80	—	
ミヅナラ	2.80	—	31.80	—	—	2.80	1.35	
ヤチダモ	2.30	—	32.00	—	—	2.10	—	
ヒロハノキハダ	1.80	—	32.40	—	—	2.20	—	
△シカリ	2.40	—	33.50	—	—	1.20	—	
同	2.00	—	34.00	—	—	2.30	—	
同	2.60	—	34.10	—	—	1.90	—	
エゾイタヤ	2.40	—	34.60	40.0	41.0	20.00	7.00	
ベニイタヤ	—	1.10	35.30	29.0	30.0	18.00	8.00	
△シカリ	1.60	—	36.40	—	—	1.20	—	
同	1.70	—	36.50	—	—	1.30	—	
同	2.60	—	36.50	—	—	1.35	—	
同	2.40	—	37.00	38.0	40.0	17.00	3.00	
シウリザクラ	—	1.40	38.50	—	—	2.60	—	
同	—	1.75	38.50	—	—	2.70	—	
同	—	1.60	38.90	—	—	3.10	—	
同	1.00	—	40.00	—	—	0.90	—	
ベニイタヤ	1.25	—	40.25	—	—	0.15	—	
エゾイホタ	0.90	—	42.75	—	—	0.35	—	
同	2.80	—	42.80	—	—	1.20	—	
ノリノキ	2.20	—	42.85	—	—	1.00	—	
エゾイホタ	0.55	—	43.15	—	—	45.00	—	
△シカリ	1.60	—	46.85	—	—	1.60	—	
同	1.80	—	47.15	—	—	2.20	—	
オヒヨウ	2.60	—	47.50	—	—	0.90	—	
△シカリ	1.90	—	47.55	—	—	2.20	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ムシカリ	3.00	—	47.80	—	—	1.30	—	
ミヅナラ	0.85	—	47.90	—	—	1.50	—	
エゾイボタ	—	1.25	48.00	—	—	1.30	—	
ヒロハツリバナ	0.20	—	48.10	—	—	1.40	—	
ミヅナラ	1.40	—	49.10	31.0	38.0	12.00	5.00	
ヤチダモ	—	1.70	49.90	—	—	1.90	—	
ムシカリ	0.70	—	50.20	—	—	1.80	—	
同	2.50	—	50.20	—	—	1.80	—	
オヒヨウ	—	0.15	50.70	—	—	2.30	—	
同	—	0.10	50.80	—	—	2.00	—	
同	2.00	—	51.50	—	—	2.00	—	
同	1.90	—	51.60	—	—	2.10	—	
ムシカリ	2.90	—	51.60	—	—	2.00	—	
センノキ	0.35	—	52.00	—	—	4.10	—	
ミヅキ	—	2.10	52.00	7.0	7.0	7.20	—	
エゾイタヤ	1.35	—	52.10	—	—	2.80	—	
ヒロハノキハダ	—	1.60	52.10	—	—	2.00	—	
ミヅキ	1.40	—	53.10	—	—	3.20	—	
同	—	1.60	53.10	3.8	3.2	5.50	2.00	
エゾイタヤ	1.40	—	53.30	—	—	2.80	—	
ヤチダモ	—	0.05	53.35	—	—	4.00	—	
ホザキナカマド	1.25	—	53.60	—	—	2.10	—	
オヒヨウ	1.47	—	53.60	—	—	1.90	—	
ヤマダハ	1.70	—	54.00	—	—	1.70	—	
オヒヨウ	2.80	—	54.35	—	—	2.20	—	
同	—	1.65	54.50	—	—	2.30	—	
同	—	0.25	54.55	—	—	3.60	—	
ヤチダモ	2.00	—	54.80	—	—	3.70	—	
トドマツ	0.80	—	54.90	—	—	0.40	—	
オヒヨウ	—	1.70	55.00	—	—	2.35	—	
同	2.00	—	55.50	—	—	2.20	—	
ミヅナラ	—	2.40	56.30	41.0	45.0	21.00	5.00	
オヒヨウ	0.80	—	57.00	—	—	2.40	—	
同	—	1.12	57.10	—	—	2.50	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	セノノキ	—		2.00	57.15			
ベニイタヤ	—	2.00	57.40	14.0	13.0	—	—	
同	—	2.70	57.80	17.0	17.0	16.00	13.00	
オヒヨウカ	2.85	—	58.00	—	—	2.10	—	
ベニイタヤ	—	1.70	58.10	20.0	19.0	17.00	12.00	
オヒヨウカ	2.50	—	58.40	—	—	1.95	—	
ムシカリ	—	0.35	59.25	—	—	2.10	—	
同	—	0.50	59.85	—	—	3.40	—	
同	—	0.55	60.10	—	—	3.60	—	
同	2.35	—	60.30	—	—	2.10	—	
同	2.70	—	60.50	—	—	2.30	—	
同	2.50	—	61.50	—	—	2.30	—	
同	2.30	—	61.70	—	—	2.60	—	
同	2.15	—	62.50	—	—	2.40	—	
同	—	2.30	62.80	—	—	4.20	—	
シナノキ	—	2.55	62.85	—	—	4.20	—	
同	—	2.65	62.90	3.6	4.2	4.50	—	
ホホノキ	2.00	—	63.00	—	—	4.00	—	
シナノキ	—	2.70	63.00	—	—	5.80	—	
同	—	2.75	63.00	—	—	3.50	—	
ホホノキ	1.98	—	63.02	—	—	3.90	—	
同	2.00	—	63.02	3.0	3.6	6.40	—	
同	1.98	—	63.12	—	—	4.10	—	
ミヅナラ	—	3.00	64.30	71.0	64.0	16.00	4.00	
ベニイタヤ	—	1.80	65.00	—	—	5.40	—	
同	—	1.40	65.20	—	—	2.80	—	
同	—	1.10	65.50	—	—	3.50	—	
同	—	1.25	65.50	—	—	2.60	—	
同	—	1.40	65.50	—	—	3.10	—	
ムシカリ	2.15	—	66.15	—	—	1.60	—	
ミヅナラ	—	1.35	68.80	—	—	4.90	—	
同	—	1.85	69.40	11.0	12.0	7.80	4.00	
ムシカリ	1.90	—	70.00	—	—	2.00	—	
シナノキ	—	2.00	71.20	5.8	6.0	3.80	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	シナノキ	—		1.90	71.25			
同	—	2.30	71.25	8.0	9.0	7.00	1.90	
同	—	2.70	71.25	4.2	4.0	6.50	2.00	
ムシカリ	1.70	—	71.30	—	—	2.80	—	
同	1.90	—	71.30	—	—	2.20	—	
シナノキ	—	1.75	71.30	5.4	6.0	4.50	—	
同	—	1.90	72.00	6.0	5.8	4.90	3.80	
同	—	2.40	72.50	5.4	5.2	6.30	1.50	
同	—	2.90	72.50	4.6	4.5	6.90	2.40	
同	0.40	—	73.00	9.4	9.0	7.30	3.40	
ベニイタヤ	0.25	—	74.50	—	—	2.30	—	
同	1.45	—	74.50	10.0	10.2	4.80	1.60	
ミヅナラ	—	2.20	80.70	100.0	100.0	28.00	5.50	
ムシカリ	—	2.90	81.80	—	—	2.30	—	
シウリザクラ	—	2.20	82.20	4.2	3.6	4.40	1.90	
アヅキナシ	1.30	—	83.20	20.0	23.0	26.00	8.00	
同	2.00	—	83.20	32.0	40.0	18.00	5.50	
ムシカリ	0.90	—	83.80	—	—	2.20	—	
ベニイタヤ	—	1.25	84.00	4.6	5.0	4.10	2.20	
アヅキナシ	1.50	—	84.50	29.0	31.0	16.00	3.50	

VII. 28, 1933. 調査

本帯狀標準區劃地内の笹類の少き箇所の下層の (1.5m)² 小標準區劃地をとりて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	植物名	本数
ムカゴイラクサ	11	ノリノキ	5
オクヤマザサ	9	シウモンジシダ	5
エゾイホタ	9	ハナウド	1
ヤマアタウ	8	オホアマドコロ	1

[V. c.] シナノキ—オヒヨウ—イタヤ林: 音威子府 (6×60m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は宗谷本線と北見線との分岐點 (音威子府驛東北方) の西方1150米, 南方に延びる山稜 (天鹽川に面す) の東斜面に取れり。傾斜 E 26° の急斜地なり。(第十二圖参照—17頁)

此の斜面は潤葉樹林にして、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、オヒヨウ等多く生じ、ホホノキ、シウリザクラ、ヒロハキハダ、センノキ、ナナカマド、ミヅキ等混じ、稀にミヅナラあり。

下部に至れば、オニグルミ、ヤチダモ等生ぜり。下層はオクヤマザサ(高さ1.5—3m)優勢にして、灌木にはムシカリ、エゾツノハシバミ、エゾイボタ、ノリノキ、エゾアヂサキ、ヤマウルシ等あり。最下層には、ヲシダ、リヤウメンシダ、ジウモンジシダ、サカゲキノデ、イヌガンソク、ヤマイヌワラビ、コタニワタリ、ムカゴイラクサ、クルマバサウ、ミミカウモリ、クルマバツクバネサウ、クルマユリ、サイハイラン等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、イハガラミ、ヤマブダウ、ツタウルシ、テウセンゴミシ、ミヤマタタビ等生ず。

尙本帯標準區劃地の下部には、稍々鬱閉の破れし疎立木地ありて、オニグルミ、ヤマグハ等多く生じ、オクヤマザサは密生せず、ハナウド、アザミ類等の大型草本生じ、灌木としては、ムシカリ、エゾイボタ等あり。最下層には羊齒類多くして、リヤウメンシダ、ジウモンジシダ、サカゲキノデ、イヌガンソク、ヤマイヌワラビ、コタニワタリ等生じ、他にムカゴイラクサ、エゾシヤウマ、ルキエフシヤウマ、クルマバサウ、ルキエフボタン、コンロンサウ、オホアマドコロ、サイハイラン等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、ヤマブダウ等あり。

尾根筋は、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等多く、又トドマツ、ナナカマド、ホホノキ等を混ざる林にして、下層はオクヤマザサ(高さ2m)により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルシキミ、ツルマサキ、サカゲキノデ、コタニワタリ、エゾシヤウマ、クルマバサウ、コンロンサウ、ツクバネサウ、エンレイサウ、オホアマドコロ、ギヤウジヤニンニク、サイハイラン等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、ツタウルシ、テウセンゴミシ等生ず。

今、本帯標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第十三表の如し。

第 十 三 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
ムシカリ	—	0.60	0.30	—	—	0.80	—	
同	—	0.45	0.40	—	—	2.50	—	
シナノキ	1.35	—	2.00	—	—	2.20	—	
ムシカリ	—	2.80	2.20	—	—	1.30	—	
シナノキ	0.90	—	2.60	2.4	2.4	2.50	—	
同	1.80	—	2.60	—	—	2.10	—	
ムシカリ	—	0.75	2.80	—	—	2.00	—	
シナノキ	2.50	—	3.00	6.0	5.0	3.30	1.10	
エゾツノハシバミ	3.00	—	4.00	—	—	3.20	—	
同	2.00	—	4.10	—	—	3.50	1.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ベニイタヤ	—		1.00	6.50			
オヒヨウ	2.30	—	8.50	45.0	46.0	20.00	11.00	
センノキ	2.30	—	11.00	45.0	52.0	21.50	11.00	
エゾツノハシバミ	—	1.90	12.70	—	—	2.20	—	
シナノキ	0.65	—	13.60	6.4	8.0	10.00	2.20	
同	1.25	—	13.60	36.0	38.0	22.00	11.50	
同	0.85	—	14.50	46.0	50.0	23.00	11.20	
トドマツ	0.10	—	15.00	26.0	33.0	—	—	枯損
シナノキ	0.60	—	15.50	—	—	1.00	—	
同	0.75	—	15.50	—	—	1.20	—	
同	1.00	—	15.50	—	—	2.00	—	
エゾイタヤ	0.05	—	16.10	—	—	2.50	—	
シナノキ	1.00	—	16.30	—	—	0.90	—	
同	1.30	—	18.00	14.0	13.0	12.50	10.50	
同	1.10	—	18.50	5.0	5.2	4.50	1.50	
エゾアザサキ	—	1.50	18.50	—	—	1.30	—	
シナノキ	0.50	—	18.60	25.0	27.0	21.00	11.00	
シカリザクラ	1.55	—	18.80	20.0	19.0	16.00	8.00	
ムシカリ	—	1.30	19.00	—	—	1.50	—	
エゾアザサキ	—	1.65	19.00	—	—	1.70	—	
ベニイタヤ	—	0.20	19.40	2.4	3.0	3.50	1.50	
ムシカリ	—	1.05	19.40	—	—	0.90	—	
エゾイタヤ	2.60	—	19.50	4.2	4.0	4.00	3.30	
ムシカリ	—	1.25	19.50	—	—	1.70	—	
シカリザクラ	—	0.10	19.80	19.0	21.0	16.50	6.50	
シナノキ	—	1.20	19.82	—	—	0.90	—	
ベニイタヤ	1.75	—	20.00	—	—	3.50	2.50	
同	—	2.00	20.00	4.0	4.2	5.00	2.00	
エゾヘウタンボク	—	0.55	20.40	—	—	0.90	—	
ミヅナラ	—	1.00	20.50	5.4	6.2	7.00	2.70	
ベニイタヤ	—	1.10	20.50	5.4	6.0	4.50	3.00	
同	2.00	—	20.60	—	—	2.50	1.80	
同	2.50	—	20.60	2.0	2.2	2.50	1.50	
エゾイタヤ	0	—	21.00	5.0	5.6	5.00	3.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	エゾイタヤ	—		0.05	21.00			
同	—	1.80	22.00	2.4	2.2	3.50	1.50	
シカリザクラ	1.30	—	22.10	—	—	0.80	—	
ベニイタヤ	1.35	—	22.10	2.6	2.4	4.00	2.00	
エゾイタヤ	—	1.20	22.60	3.0	3.2	4.00	2.50	
シカリザクラ	2.85	—	24.50	—	—	2.00	—	
同	2.90	—	24.50	—	—	2.00	—	
ムシカリ	1.45	—	25.90	—	—	2.50	—	
ベニイタヤ	0.20	—	26.00	—	—	3.50	—	
シナノキ	1.10	—	26.10	—	—	1.20	—	
同	1.25	—	26.50	—	—	1.80	—	
同	1.30	—	26.50	—	—	2.50	—	
同	0.40	—	26.60	—	—	4.50	—	
同	0.85	—	26.70	15.0	18.0	—	—	枯損
同	1.10	—	26.70	25.0	26.0	9.00	2.00	
同	0.30	—	27.10	50.0	52.0	24.00	15.00	
同	—	0.85	27.10	—	—	1.70	—	
同	—	0.85	27.15	—	—	1.80	—	
同	—	0.50	27.20	42.0	43.0	22.00	10.00	
同	—	1.35	27.25	—	—	0.60	—	
同	—	1.00	27.30	6.0	5.0	4.00	2.00	
同	—	1.05	27.30	5.4	4.6	4.50	2.50	
同	0.80	—	27.50	—	—	5.00	3.00	
同	—	0.50	27.90	23.0	21.0	14.00	7.00	
同	0.30	—	28.00	—	—	1.90	—	
同	0.40	—	28.00	—	—	1.80	—	
同	0.50	—	28.00	—	—	5.50	—	
同	0.60	—	28.00	—	—	5.50	2.50	
同	—	0.40	28.10	—	—	1.50	—	
同	—	0.10	28.20	—	—	1.60	—	
同	—	0.65	28.20	—	—	1.50	—	
同	—	0.60	28.30	5.2	5.6	6.00	2.50	
シカリザクラ	0.90	—	28.50	—	—	0.80	—	
同	1.00	—	28.50	7.0	5.0	1.20	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	シナノキ	1.40		—	28.50			
同	1.80	—	28.50	—	—	2.50	—	
ムシカリ	0.60	—	30.80	—	—	0.50	—	
ベニイタヤ	—	2.30	31.15	—	—	2.50	—	
同	—	0.90	35.40	34.0	33.0	15.00	8.00	
ムシカリ	—	1.50	35.50	—	—	1.20	—	
同	—	1.60	35.50	—	—	1.00	—	
エゾイホタ	1.60	—	35.90	—	—	0.60	—	
同	2.50	—	36.50	—	—	0.60	—	
ムシカリ	2.90	—	36.50	—	—	0.60	—	
エゾイホタ	3.00	—	36.50	—	—	1.20	—	
同	1.50	—	36.80	—	—	0.80	—	
オニグルミ	—	0.30	38.00	—	—	2.50	—	
ヤチダモ	—	0.70	38.00	—	—	1.50	—	
同	—	0.60	38.20	—	—	2.30	—	
エゾイホタ	—	1.10	38.20	—	—	0.40	—	
同	—	1.15	38.50	—	—	0.50	—	
同	—	0.50	38.50	—	—	0.60	—	
オニグルミ	—	0.50	39.20	18.0	19.0	12.00	4.00	
ムシカリ	—	2.40	39.50	—	—	1.00	—	
同	0.40	—	45.90	—	—	0.40	—	
同	1.10	—	46.00	—	—	1.00	—	
オニグルミ	—	1.30	50.20	—	—	3.00	—	
同	—	1.40	50.50	—	—	3.50	—	
同	—	0.80	50.60	—	—	2.00	—	
ヒロハツリバナ	—	0.85	52.20	—	—	2.50	—	
エゾイタヤ	—	1.40	52.20	—	—	2.50	—	
ヤマグハ	0.40	—	52.80	—	—	2.50	—	
オニグルミ	1.10	—	53.00	—	—	1.60	—	
エゾイホタ	—	1.60	53.00	—	—	0.40	—	
オヒヨウ	1.10	—	53.10	—	—	4.00	—	
同	1.30	—	53.10	—	—	2.50	—	
同	—	0.75	53.50	12.0	13.00	7.00	4.00	
エゾイタヤ	1.60	—	55.50	43.0	46.0	15.00	7.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ヤマグハ	—	1.70	56.50	—	—	2.50	—	
シナノキ	—	2.25	56.80	—	—	0.80	—	
同	—	0.45	57.00	—	—	3.50	—	
エゾイタヤ	—	0.70	57.20	5.0	5.6	6.00	3.00	
シナノキ	—	0.10	57.80	4.4	4.6	6.50	4.50	
同	—	0.40	57.90	6.0	5.0	4.50	—	
同	—	1.90	58.00	4.0	4.6	5.00	3.50	
同	—	2.00	58.00	24.0	24.0	14.00	7.00	
同	—	0.20	58.15	—	—	2.00	—	
同	—	0.25	58.20	13.0	12.0	12.50	6.00	
同	—	1.35	58.30	48.0	43.0	21.00	10.00	
同	—	0.60	58.70	30.0	28.0	20.00	12.00	
同	—	1.90	58.85	—	—	1.80	—	
同	—	2.10	58.95	—	—	1.30	—	
同	—	2.20	58.95	—	—	2.00	—	
同	—	1.80	59.00	—	—	6.00	—	
同	—	2.00	59.00	—	—	6.00	—	
同	—	2.00	59.05	—	—	5.00	—	
同	—	0.40	59.10	31.0	22.0	14.00	6.00	
同	—	1.15	59.40	—	—	5.00	—	
同	—	1.20	59.40	—	—	4.50	—	
同	—	1.25	59.40	—	—	3.00	—	
同	—	0.40	59.50	6.0	5.4	7.00	5.50	
同	—	0.35	59.60	—	—	3.00	—	

VII. 26, 1933. 調査.

VI. トドマツ—エゾマツ林

6' トドマツ—エゾマツ林概相

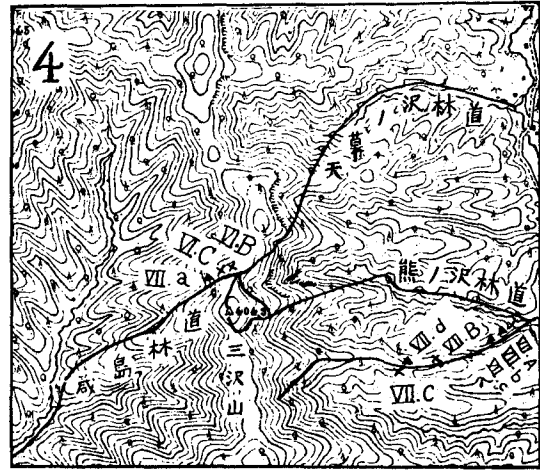
トドマツ—エゾマツ林は植物區系地理學上、北海道本島北海道地方區を代表する氣候的安定林型にして、北大天鹽演習林に於ても諸所に是を見る。多く針過混淆林の形態に變じ、純群叢は稀なり。多くトドマツを主體とし、少しくエゾマツ、アカエゾマツを混じ、混淆潤葉樹種としてはダケカンバ、ウダイカンバ、ミヅナラ、オヒヨウ、ナナカマド、エゾイタヤ、ベニイタヤ、センノキ等あり。又溪側にはケヤマハンノキ、ミヅキ、ヤチダモ等を混することあり。下層は笹類に依り占

(36)

居せらるることと、エゾユヅリハ及ムシカリに優占せらるることあり。一般に下生灌木としては前記の他にノリノキ、ヒロハツリバナ、コエフラク、オホバスノキ、エゾクロウスゴ、ヒロハツリバナ等あり。蔓莖類としてはツルアヂサキ、ツタウルシ、ヤマブドウ等あり。

本林中に標準區劃地〔VI. A; VI. B; VI. C〕; 帶狀標準區劃地〔VI. a〕を選び、第一演習林天幕之澤及笹島越に之を設定せり。Aは針潤混淆林中トドマツ純叢に近き所、B及Cは下層灌木の發達せる所、aは斜面地にして下層に笹類多き所なり。(第七圖及第十三圖参照)

第十三圖 (第三頁第一圖4)



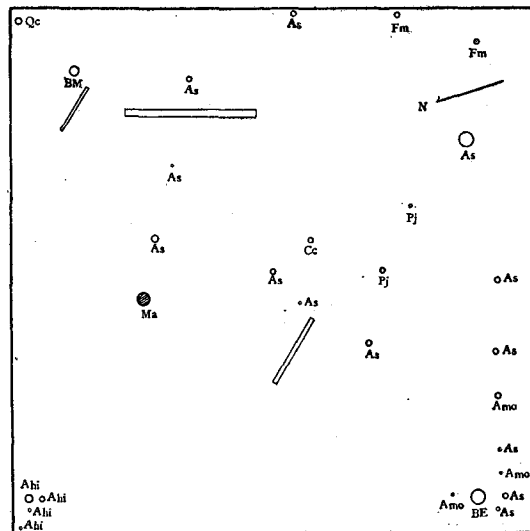
6° トドマツ-エゾマツ林標準地 (寫真第一圖版第一圖参照)

〔VI. A.〕 トドマツ-エゾマツ林: 天幕ノ澤 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は天幕ノ澤第三支流の分岐點の東南方80米、林道北方5米の所に取れり。平坦地にして基岩は上部白亜紀頁岩なり。(第七圖参照-10頁)

本地點は針潤混淆林中のトドマツの多き所にして、エゾマツ少しく混じ、潤葉樹には、エゾイタヤ、ダケカンバ、ウダイカンバ、ミヅナラ、ケヤマハンノキ、ミヅキ等を伴ひ、林道近くにては、ヤチダモすら混ぜり。下層はオクヤマザサ極めて旺盛にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ等あり。最下層には、エゾシヤウマ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、タケシマヤマブドウ、ツタウルシ等生ず。

第十四圖



〇 倒木 ● 枯損 VII. 20, 1933. 調査.

本標準區劃地の北方は、緩斜地の針潤混淆林にして、トドマツ、エゾマツ、ダケカンバ、シナノキ、オヒヨウ等生じ、下層はオクヤマザサの占むる所なり。又區劃地の西隅は、巾狭き(約5米)濕地に接し、エゾオホバセンキユウ、エゾリウキンクワ、ミミカウモリ、ゴマナ、カサスゲ、ザゼンサウ等生ず。今笹類の生ずる所より上記の大型草本濕地への移行地點の

下層 (2m)² 小標準區劃地を取りたるに次の如し。(第十四表)

第 十 四 表

	植 物 名	本 数
笹 地	オクヤマザサ	37
	オホマヒヅルサウ	23
濕 地	カ サ ス ゲ	多数
	ミミカウモリ	20
	ゴ マ ナ	7
	エゾリウキンクソ	1

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに前掲の如し。(第十四圖)

更に之を數的に表示せんに第十五表の如し。

第 十 五 表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑						合 計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	
<i>Abies sachaliensis</i> Fr. Schm. (As)	ト ド マ ツ	4	3	4	1	—	1	13
<i>Picea jezoensis</i> Carr. (Pj)	エ ヅ マ ツ	1	—	1	—	—	—	2
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エ ヅ イ タ ヤ	2	1	—	—	—	—	3
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダ ケ カ ン バ	—	—	—	—	1	—	1
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミ ツ ナ ラ	—	—	1	—	—	—	1
<i>Betula Maximowicziana</i> Regel (BM)	ウ ダ イ カ ン バ	—	—	—	—	1	—	1
<i>Alnus hirsuta</i> Turcz. (Ah)	ケ ヤ マ ハ ン ノ キ	2	1	—	—	1	—	4
<i>Micromeles alnifolia</i> Koehne (Ma)	ア ツ キ ナ シ	—	—	—	—	1	—	1
<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. (Fm)	ヤ チ ダ モ	1	—	1	—	—	—	2
<i>Cornus controversa</i> Hemsl. (Cc)	ミ ツ キ	—	1	—	—	—	—	1
直 徑 級 別 合 計		10	6	7	1	4	1	29

〔VI. B.〕 トドマツ—エゾマツ林：箆島林道 (10m)² 標準區劃地

本標準區劃地は三澤山三角點 (標高404.3) の北方、250米の地點、三澤山北稜の一部の北西斜面、箆島林道に沿ひ上側に取れり。傾斜はNW21°、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第十三圖參照—36頁)

本地點の林地は針葉樹下層灌木叢の林型を取り、トドマツ、エゾマツを主とする純林に近き所にして、潤葉樹にはミヅナラ、ベニイタヤ、ダケカンバ、ナナカマド等生ず。下層はオクヤマザサ (高さ1.6m) 密生せず、エゾユヅリハ、ムシカリ等の下層灌木を主とし、他にノリノキ、コエウラ

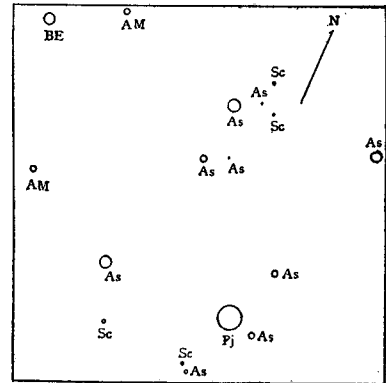
(38)

ク、オホバスノキ、エゾクロウソゴ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、シシガシラ、ホソバタウゲシバ、ウチハマンネンスギ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、ルキエフシヤウマ、ヒメイチゲ、ゴゼンタチバナ、エゾヨツバムグラ、アザミ類等あり、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。

本標準區劃地の北方、林道下の急斜地はトドマツ、エゾマツ減少し、澤沿の潤葉樹林に移行し、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ダケカンバ、アヅキナシ、オヒヨウ、ナナカマド等生ず。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん
に右掲の如し。(第十五圖)

第十五圖



IX. 22, 1933. 調査.

更に之を數的に表示せんに第十六表の如し。

第十六表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑							合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	トドマツ	3	3	—	2	1	—	—	9
<i>Picea jezoensis</i> Carr. (Pj)	エゾマツ	—	—	—	—	—	—	1	1
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	—	1	—	—	—	1
<i>Acer Mayri</i> Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	—	2	—	—	—	—	—	2
<i>Sorbus commixta</i> Hedl. (Sc)	ナナカマド	4	—	—	—	—	—	—	4
直徑級別合計		7	5	—	3	1	—	1	17

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草の本數を調査せしに次の如し。

植物名	本數	備考	植物名	本數	備考
エゾユヅリハ	17	高さ1.5m	ツルアヂサキ	5	
シラネワラビ	10		オクヤマザサ	3	高さ1.3m
ムシカリ	7	高さ1.2m	オクエゾサイシン	2	
ツルツゲ	6		コエウラク	1	
ツルシキミ	6				

〔VI. C.〕 トドマツ—エゾマツ林：箴島林道 (10m)² 標準區劃地 (寫眞第一圖版—第二圖参照)

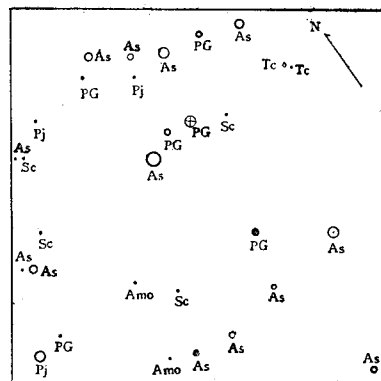
本標準區劃地は〔VI. B.〕箴島林道標準區劃地の南西方約50米、箴島林道上方2米の地點に取れり。此の地點は三澤山の北稜より略々北西に分岐せる尾根の南西斜面に在りて、傾斜はSW26°、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第十三圖参照—36頁)

此の附近はトドマツの壯齡樹(胸高直徑20—32cm; 樹高13—23m)多く生じ、エゾマツ、アカエゾマツ、イチキ等を混する針葉樹多き所にして、闊葉樹にはミツナラ、ダケカンバ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ナナカマド等あり。又、樹高10—40cmのトドマツ、エゾマツの稚樹良く生ず。下層はオクヤマザサ(高さ1.8m)少く、エゾユヅリハ、ムシカリ等を主とする灌木下層を形成せる所にして、他に灌木としてノリノキ、ヒロハツリバナ、エゾツノハシバミ、エゾクロウスゴ、オホバスノキ等あり。

最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、ハヒイヌツゲ、シシガシラ、ホソバタウゲシバ、ウチハマンネンスギ、ゴゼンタチバナ、コイテヤクサウ、ツルリンドウ、ツルアリドゥン等、又、蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等あり。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん
に右掲の如し。(第十六圖)

第十六圖



●枯損 ⊕伐根 IX. 22, 1933. 調査.

トドマツ四本枯損(胸高直徑2.6cm; 4.6cm; 9.2cm; 13.2cmノモノ)

更に之を數的に表示せんに第十七表の如し。

第十七表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	トドマツ	2	2	2	2	2	—	1	2	13
Picea jezoensis Carr. (Pj)	エゾマツ	2	—	—	—	—	—	1	—	3
Picea Glehni Mast. (PG)	アカエゾマツ	2	2	—	1	—	—	1	—	6
Taxus cuspidata Sieb. et Zucc. (Tc)	イチキ	1	1	—	—	—	—	—	—	2
Acer mono Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	2	—	—	—	—	—	—	—	2
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナナカマド	4	—	—	—	—	—	—	—	4
直徑級別合計		13	5	2	3	2	—	3	2	30

尙本標準區劃地内の下層(1.5m)² 小標準區劃地を取りて下草の本數を調査せしに次の如し。

植物名	本數	備考	植物名	本數	備考
ゴゼンタチバナ	110		ホソバタウゲシバ	3	
エゾユヅリハ	38	高さ0.5m	ノリノキ	2	高さ0.55m
ツルアヂサキ	15		エゾクロウスゴ	2	
ツルシキミ	11		オホバスノキ	1	
ツルツゲ	8		ツルリンドウ	1	

(40)

[VI. a.] トドマツ—エゾマツ林：天幕ノ澤 (6×50m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は天幕ノ澤，第三支流の分岐點西北方130米，林道の東北方，50米の上部より，天幕ノ澤林道に至る天幕ノ澤に面せる南西斜面なり。傾斜 SW34° の急斜地にして，基岩は上部白亜紀頁岩なり。(第七圖參照—10頁)

此の斜面はトドマツ多き所にして，少しくエゾマツ混じ，エゾイタヤ，シナノキ，センノキ，ナナカマド，ミツナラ，オヒヨウ，シロザクラ等の潤葉樹も混生す。下層はネマガリダケ，ウリウザサと共に，ムシカリの優勢なる所にして，その他灌木にはノリノキ，コマユミ，コエフラク等あり。最下層には，ツルシキミ，シシガシラ，ホソバタウゲシバ，エゾヨツバムグラ，ザゼンサウ等，又蔓莖類には，ツルアデサキ，ツタウルシ等あり。

尙南西方，林道下の天幕ノ澤沿斜面は，ケヤマハンノキ，エゾイタヤ，ダケカンバ，オヒヨウ，カツラ，ヤチダモ等の潤葉樹林にして，トドマツ，エゾマツ等點生す。

今，本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第十八表の如し。

第 十 八 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
エゾイタヤ	—	0.60	0.50	1.8	1.8	2.40	1.00	
ノリノキ	0.60	—	1.00	—	—	1.20	—	
トドマツ	—	0.25	1.00	15.0	14.4	15.00	3.00	
同	—	1.80	1.00	18.0	19.2	13.50	4.50	
ムシカリ	1.80	—	2.00	—	—	1.70	—	
同	0	—	2.30	—	—	2.50	—	
同	—	2.00	2.70	—	—	1.60	—	
同	—	2.30	2.70	—	—	1.80	—	
トドマツ	2.40	—	3.00	4.2	4.1	2.70	2.30	
センノキ	2.00	—	4.00	—	—	2.00	—	
ナナカマド	—	2.00	4.70	—	—	1.80	—	
同	—	1.00	5.00	—	—	1.30	—	
ケヤマハンノキ	0.50	—	5.50	31.0	30.0	16.50	8.00	
トドマツ	—	0.35	5.60	1.1	1.1	1.10	1.00	
センノキ	—	0.20	5.90	—	—	2.00	—	
トドマツ	—	0.53	5.90	—	—	0.80	—	
エゾマツ	—	0.55	5.90	—	—	0.40	—	
同	—	0.10	6.00	—	—	0.65	0.45	
トドマツ	—	0.25	6.00	10.8	9.2	6.00	4.80	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	エゾイタヤ	—		2.60	6.00			
トドマツ	—	0.25	6.10	—	—	0.60	—	
同	0.30	—	6.20	2.0	2.0	1.30	—	
ムシカリ	—	2.20	6.20	—	—	1.40	—	
トドマツ	0.60	—	6.30	—	—	0.70	—	
エゾマツ	—	1.45	6.50	—	—	1.30	1.00	
トドマツ	—	0.70	7.10	—	—	0.60	0.40	
ウダイカンバ	—	1.20	7.50	13.0	14.0	22.00	15.00	
ケヤマハンノキ	—	1.60	8.30	16.1	14.3	21.00	6.00	
トドマツ	—	1.50	10.30	15.2	15.1	14.50	7.50	
同	—	2.00	12.50	3.2	3.6	3.50	3.00	
同	0.50	—	14.20	29.2	28.1	18.00	8.00	
同	3.00	—	14.60	39.6	33.1	18.50	8.00	
同	2.10	—	15.20	18.0	18.0	10.50	3.00	
エゾマツ	1.70	—	15.70	6.3	6.8	5.00	1.50	
シナノキ	1.00	—	17.00	24.1	23.0	11.00	1.50	枯損
同	0.10	—	17.20	4.0	3.8	4.70	1.30	
同	0.50	—	17.30	20.3	18.1	10.80	4.00	
トドマツ	2.75	—	18.35	25.3	23.0	19.00	5.00	
同	2.75	—	19.00	3.2	3.6	2.20	1.50	
エゾマツ	—	0.85	21.30	9.3	10.0	6.00	3.00	
同	1.00	—	22.00	30.0	29.2	13.00	5.00	
トドマツ	—	2.70	23.30	15.0	15.2	9.00	5.00	
同	—	0.65	29.00	44.0	42.6	25.00	8.00	
シナノキ	—	1.50	29.80	4.0	4.0	5.00	3.00	
エゾマツ	—	1.20	31.50	17.2	17.2	15.00	4.00	
エゾイタヤ	—	0.40	32.00	21.0	21.2	15.50	6.00	
トドマツ	—	1.60	32.00	—	—	1.20	0.20	
同	—	1.90	33.50	—	—	1.10	—	
エゾイタヤ	1.00	—	34.00	5.3	5.8	7.00	3.00	
同	—	1.90	34.00	6.2	5.3	5.50	3.00	
トドマツ	—	2.20	38.00	29.0	24.4	22.00	6.00	
同	0.50	—	38.60	23.0	22.0	20.00	7.00	
同	1.30	—	40.30	35.0	34.0	23.50	9.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	1.45	—	42.45	4.0	4.0	4.50	2.00	
同	1.40	—	42.50	5.2	5.1	4.50	1.80	
同	1.45	—	42.50	3.0	3.0	3.20	1.60	
同	1.55	—	42.65	3.0	3.0	4.00	3.00	
トドマツ	—	1.35	42.80	38.0	37.0	24.00	7.00	

VII. 20, 1933. 調査.

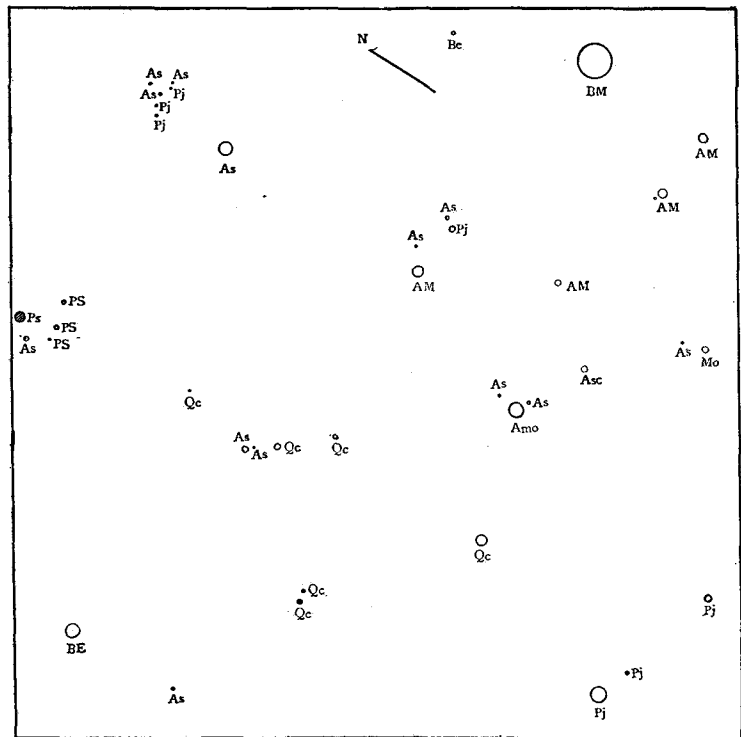
VII. 針澗混澗林

7' 針澗混澗林概相 (寫真第三圖版—第九圖及第十圖參照)

針澗混澗林は群落生態より見て研究至難の一なる存在にして、殊に北海道に於ては其林型複雑を極む。時に針葉樹林の下部に現はることあり、時に針葉樹林の上部に現はることあり、又時に樹林全體が本林型をとる

ことあり。天鹽演習林に於ても諸處に之が發達を見、地形に従ひて混在澗葉樹の種類を異にす。針葉樹種としてはトドマツを主木とし、アカエゾマツ、エゾマツ、イチキを混じ、混生澗葉樹種としてはミヅナラ、ダケカンバ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、シナノキ等多く、又ウダイカンバ、ケヤマハンノキ、ホホノキ、シウリ、エゾヤマザクラ、シロザクラ、ナナカマド、アヅキナシ、ラガラバナ、センノキ、コシアブラ等あり。下層には笹類極めてよく發達す。

第十七圖



● 枯損

IX. 18, 1933. 調査.

本林中に標準區劃地 [VII. A ; VII. B ; VII. C ; VII. D ; VII. E] ; 帶狀標準區劃地 [VII. a ;

VII. b; VII. c) を選び、之を箴島林道、幌熊林道、問寒別川、西八線に設定せり。(第四圖及第十三圖参照)

7° 針濶混淆林標準地

〔VII. A.〕 針濶混淆林：幌熊林道 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は三澤山 (標高404.3m) の東方2000米 (陸地測量部地圖五萬分ノ一、譽平参照) なる熊ノ澤林道と幌熊林道との分岐點より、南西方170米の地點、幌熊林道に沿ひ北側に取れり。此の地點は熊ノ澤の枝澤に面せる西向斜面にして傾斜 W21° なり。(第十三圖参照—36頁)

本標準區劃地附近はトドマツ、エゾマツ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ダケカンバ等を主とする針濶混淆林にして、ホホノキ、センノキ、ウダイカンバ、エゾヤマザクラ、ナナカマド、コシアブラ、アヅキナン等を混す。下層はネマガリダケ (高さ1.3m) により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾツノハシバミ等あり。最下層には僅かにツルシキミ、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ずるのみ。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに前掲の如し。(第十七圖—42頁)

更に之を數的に表示せんに第十九表の如し。

第 十 九 表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑											合計
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	95-100	
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	トドマツ	7	3	1	1	—	—	—	—	1	—	—	13
<i>Picea jezoensis</i> Carr. (Pj)	エゾマツ	3	—	2	—	1	—	—	—	—	1	—	7
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	2	2	—	1	1	—	—	—	—	—	6
<i>Acer Mayri</i> Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—	4
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダケカンバ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2
<i>Betula Maximowicziana</i> Regel (BM)	ウダイカンバ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
<i>Prunus Sargentii</i> Rehd. (PS)	エゾヤマザクラ	1	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	4
<i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Fr. et Sav. (As)	コシアブラ	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
<i>Magnolia obovata</i> Thunb. (Mo)	ホホノキ	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
直徑級別合計		12	5	6	4	4	2	1	—	2	3	1	40

尙本標準區劃地内の下層の (1m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

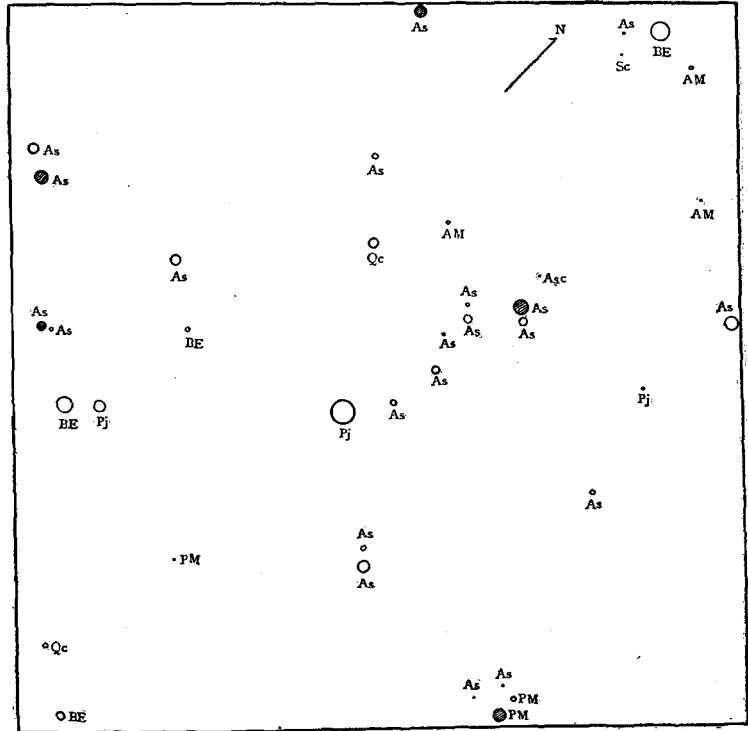
植 物 名	本 數	備 考
ネマガリダケ	40	高さ1.7m
ツタウルシ	1	

〔VII. B.〕 針濶混淆林：幌熊林道 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は〔VII. C.〕幌熊林道帶狀標準區劃地の南西方400米、林道沿北側に取れり。此の地點は三澤山山稜の東走する尾根の南斜面にして、傾斜 S 19° なり。(第十三圖參照—36頁)

此の附近はトドマツ、エゾマツ、ミヅナラ、ダケカンバ等を主とする混生林にして、ベニイタヤ、ホホノキ、ナナカマド、コシアブラ、シロザクラ、アヅキナシ等混す。下層はネマガリダケ(高さ1.5m)により占められ、灌木にはムラサキツリバナ、オホバスノキ、ウスノキ等あり。最下層には僅かにツルシキミ、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ずるのみ。

第十八圖



● 枯損 IX. 18, 1933. 調査.

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに上掲の如し。(第十八圖) 更に之を數的に表示せんに第二十表の如し。

第二十表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	トドマツ	6	6	4	3	2	—	—	—	21
Picea jezoensis Carr. (Pj)	エゾマツ	1	—	1	—	—	—	—	1	3
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	1	1	—	—	—	—	—	2
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	—	1	1	—	—	2)	—	—	4
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	3	—	—	—	—	—	—	—	3
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナナカマド	1	—	—	—	—	—	—	—	1
Acanthopanax sciadophylloides Fr. et Sav. (As)	コシアブラ	1	—	—	—	—	—	—	—	1
Prunus Maximowiczii Rupr. (PM)	シロザクラ	1	1	—	1	—	—	—	—	3
直徑級別合計		13	9	7	4	2	2	—	1	38

尙本標準區劃地内の下層の(1m)²小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 数	備 考
ネ マ ガ リ ダ ケ	53	高さ1.5m
ツ ル シ キ ミ	3	
ツ タ ウ ル シ	2	
ツ ル ア デ サ キ	1	

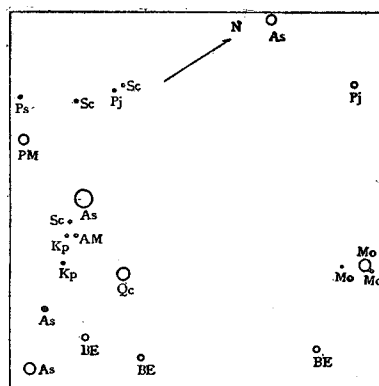
〔VII. C.〕 針潤混淆林：幌熊林道 (10m)² 標準區劃地

本標準區劃地は〔VII. d.〕幌熊林道帯狀標準區劃地の西方45米、林道の南側に取れり。本地點は東方に延びる尾根筋の南斜面にして、S 14°の緩斜地なり。(第十三圖參照—36頁)

此の附近はトドマツ、エゾマツ、ミヅナラ、ダケカンバ、ペニイタヤ等を主とする混淆林にして、ホホノキ、ナナカマド、シロザクラ等を混す。下層はネマガリダケ(高さ1.6m)により占められ、下草は著しく抑壓せられ、灌木にはオホバスノキ、最下層にはミヤマワラビ、又蔓莖類にはツルアデサキ、ツタウルシ、ミヤママタタビ等生ずるのみ。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん
に右掲の如し。(第十九圖)

第十九圖



⊕ 伐根 IX. 18, 1933. 調査.

更に之を數的に表示せんに第二十一表の如し。

第二十一表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑										合計	
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50		
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	ト ド マ ツ	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	1	4
Picea jezoensis Carr. (Pj)	エ ゾ マ ツ	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミ ズ ナ ラ	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
Betula Ermani Cham. (BE)	ダ ケ カ ン バ	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	3
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ペ ニ イ タ ヤ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
Magnolia obovata Thunb. (Mo)	ホ ホ ノ キ	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナ ナ カ マ ド	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
Prunus Maximowiczii Rupr. (PM)	シ ロ ザ ク ラ	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
Kalopanax pictum Nakai (Kp)	セ ン ノ キ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
Phellodendron sachalinense Sarg. (Ps)	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
直 徑 級 別 合 計		10	1	1	1	2	4	1	—	—	—	1	21

(46)

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	備 考
ネ マ ガ リ ダ ケ	50	高さ1.6m
ツ ル ア デ サ キ	7	
ツ タ ウ ル シ	2	

〔VII. D.〕 針濶混淆林：西八線 (15m)² 標準區劃地

本標準區劃地はトイカンベツ川の支流，西八線之澤（陸地測量部地圖五萬分の一，敏音知の天鹽の天の字の北方，中トイカンベツの中の字の北方300米）の上流二岐（トイカンベツ川の合流點の北西方約1700米）の北方152米の地點にして，二岐に終る山稜の東斜面に存在し，澤より約40米を距つ。傾斜はE 7°の緩斜地なり。（第四圖參照—8頁）

本地點はトドマツ多く，シロエゾマツを交へ，濶葉樹にはダケカンバの老木（胸高直徑53cm；樹高15m），ベニイタヤ，ミヅナラ，エゾイタヤ，ナナカマド，コシアブラ等を混する針濶混淆林なり。下層はオクヤマザサ，ネマガリダケ（高さ1.3m）により占められるも，笹類は比較的疎にして，灌木にはムシカリ，ノリノキ，ムラサキツリハナ，エゾユヅリハ，エゾクロウスゴ等あり。最下層にはツルツゲ，ツルシキミ，ハヒイヌツゲ，ホソバタウゲシバ，ヒロハヒメイチゲ，ツクバネサ

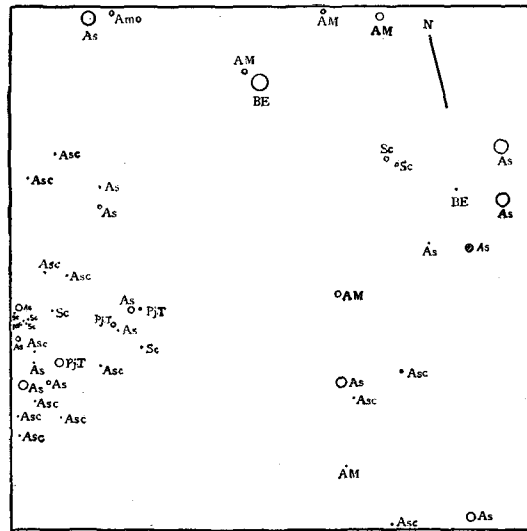
ウ，オホマヒヅルサウ等，又蔓莖類にはツルアヂサキ，ツタウルシ，ミヤママタタビ等生ず。

尙附近澤近き所にては，ケヤマハンノキ多く生じ，ヤチダモ，ミヅナラ，ダケカンバ等混じ，下層はオクヤマザサ，ネマガリダケ等優勢にして，ムシカリ，ノリノキ，オニシモツゲ，ハンゴンサウ等あり。

今本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん第二十圖の如し。

更に之を數的に表示せん第二十二表の如し。

第二十圖



● 枯損 VIII. 27, 1933. 調査.

第二十二表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑						合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	トドマツ	6	2	4	1	3	—	16
<i>Picea jezoensis</i> Carr. var. <i>Takedai</i> Tatew. (PjT)	シロエゾマツ	1	2	—	—	—	—	3
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダケカンバ	1	—	—	—	—	1	2
<i>Acer Mayri</i> Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	2	2	1	—	—	—	5
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	1	—	—	—	—	—	1
<i>Sorbus commixta</i> Hedl. (Sc)	ナナカマド	6	1	—	—	—	—	7
<i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Fr. et Sav. (As)	コシアブラ	14	—	—	—	—	—	14
直徑級別合計		31	7	5	1	3	1	48

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地をとりて下草を調査せしに次の如し。

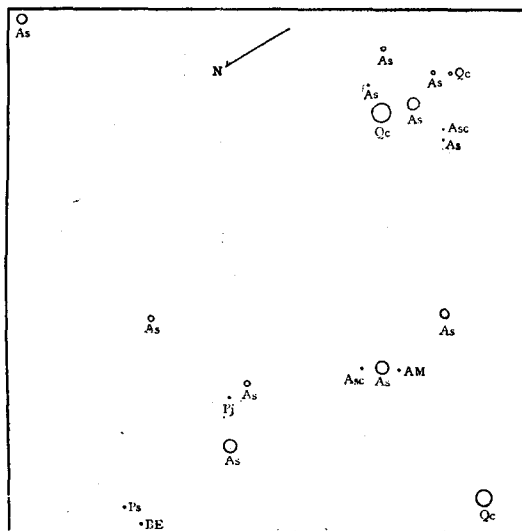
植物名	本数	備考	植物名	本数
ツルアザサキ	30		ムラサキツリバナ	6
ツタウルシ	20		ツルシキミ	4
オクヤマザサ	19	高さ1.3m	エゾユヅリハ	2
ツルツゲ	10		ハヒイヌツゲ	1
ムシカリ	8		ミヤママタタビ	1

〔VII. E.〕 針潤混淆林：西八線 (15m)² 標準區劃地

本標準區劃地は〔VII. D.〕西八線標準區劃地の南方16.3米の所に存在する傾斜 E. 5°の平坦地なり。(第四圖参照—8頁)

此の地點はトドマツにミヅナラの老大樹(胸高直徑56cm; 樹高13m)が主として混ざる混淆林にして、他にエゾイタヤ、ベニイタヤ、ナナカマド、ホホノキ、コシアブラ等生ず。また少しくエゾマツの混ざることあり。下層はネマガリダケ、オクヤマザサ(高さ2.5m)等により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾクロウスゴ、エゾユヅリハ等あり、最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、ハヒイヌツゲ、ヒメイチゲ、ヒロハヒメイチゲ、オホマヒヅルサウ、ツバメオモト等、又蔓莖

第二十一圖



類にはツルアザサキ, ツタウルシ等生ず。

尙本標準區劃地の東方, 澤沿ひには, ケヤマハンノキ多く生じ, ヤチダモの老木 (胸高直徑 50cm; 樹高20m), ダケカンバ等を混する澤沿ひの潤葉樹林にして, 下層は笹類により占められ, 時にハンゴンサウの小團状を生じ, エゾニハトコ, キタヨシ, オニシモツケ, ミミカウモリ等あり。

今, 本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに前掲の如し。(第二十一圖)

更に之を數的に表示せんに第二十三表の如し。

第 二 十 三 表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑							合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	ト ド マ ツ	3	3	1	4	—	—	—	11
<i>Picea jezoensis</i> Carr. (Pj)	エ ヅ マ ツ	1	—	—	—	—	—	—	1
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミ ヅ ナ ラ	1	—	—	—	—	1	1	3
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダ ケ カ ン バ	1	—	—	—	—	—	—	1
<i>Acer Mayri</i> Gr. v. Schw. (AM)	ベ ニ イ タ ヤ	1	—	—	—	—	—	—	1
<i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Fr. et Sav. (As)	コ シ ア プ ラ	2	—	—	—	—	—	—	2
<i>Phellodendron sachalinense</i> Sarg. (Ps)	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	1	—	—	—	—	—	—	1
直 徑 級 別 合 計		10	3	1	4	—	1	1	20

尙本標準區劃地内に下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて, 下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	備 考	植 物 名	本 數
オクヤマザサ	60	高さ2.5m	ハヒイヌツゲ	11
ネマガリダケ			ツルアザサキ	9
ムシカリ	17		エゾユヅリハ	6
ツルシキミ	15		オホマヒヅルサウ	4
ヒロハヒメイチゲ	14		ツルツゲ	1
ツタウルシ	13			

〔VII. a.〕 針潤混淆林: 箆島林道 (5×105m²) 帯狀標準區劃地

本標準區劃地は〔VI. C.〕箆島林道 標準區劃地の南西方60米の地點, 三澤山三角點下より西下せる頓別坊川の支流に沿へる所にして, 南方は支流, 北方は更に小なる枝澤に狭まれたる細き尾根狀の地なり。傾斜は SW 13° をなす。(第十三圖参照—36頁)

本地點はトドマツ, エゾマツ, ミヅナラ, ダケカンバ, エゾイタヤ, ベニイタヤ, シナノキ等を主とする針潤混淆林にして, その他シウリザクラ, ナナカマド, ホホノキ, ケヤマハンノキ, アヅキナシ等あり。又イチキ生ず。下層はネマガリダケ, ウリウザサ (高さ1.8m) 等疎生し, 所によりエゾユヅリハ (高さ1.7m) の密生せる所あり, その他の灌木にはムシカリ, エヅツノハシバミ,

ノリノキ, エゾアヂサキ, コマユミ, オホバスノキ, エゾクロウスゴ, コエウラク, ハナヒリノキ等あり。

最下層にはツルツゲ, ツルシキミ, ハヒイヌツゲ, ラシダ, ジウモンジシダ, クジヤクシダ, ヤマイヌワラビ, イヌガンソク, ホソバタウゲシバ, エゾシヤウマ, ツダヤクシユ, トゲナシゴエフイチゴ, コイチヤクサウ, ミミカウモリ, ウラゲヨブスマサウ, アザミ類, スゲ類, オホマヒツルサウ等, 又蔓莖類にはツルアヂサキ, ツタウルシ, ミヤママタタビ等生ず。

今, 本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第二十四表の如し。

第二十四表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
トドマツ	—	0.25	0	2.0	1.9	2.00	1.80	
同	—	0.40	0	1.0	1.0	0.85	0.60	
エゾマツ	—	1.50	0	66.2	62.0	30.00	4.00	
エゾイタヤ	0.30	—	1.00	1.2	1.0	2.30	1.20	
ナナカマド	—	0.90	1.00	1.2	1.0	2.00	0.60	
シナノキ	0.35	—	1.10	1.2	1.4	1.80	0.80	
同	—	0.65	2.10	1.2	1.3	1.50	0.60	
ノリノキ	1.40	—	3.00	1.0	1.0	1.30	0.60	
エゾマツ	—	2.0	4.00	5.4	5.5	3.20	2.50	
トドマツ	—	0.25	6.00	38.6	41.6	22.00	3.50	
同	1.00	—	7.30	45.2	47.7	22.00	10.00	枯損
シナノキ	1.00	—	12.00	2.6	2.7	3.00	1.50	
同	1.40	—	12.00	5.2	5.1	3.50	1.50	
エゾツノハシバミ	0.35	—	12.10	1.8	1.8	3.50	1.60	
ケヤマハンノキ	—	1.50	13.50	7.0	7.2	6.50	2.00	
ムシカリ	0.65	—	14.20	1.4	1.6	2.50	1.20	
同	1.15	—	16.00	1.6	1.8	2.00	1.00	
エゾイタヤ	—	1.35	18.20	10.6	10.0	7.50	2.50	
シウリザクラ	1.70	—	19.60	14.6	16.0	11.50	3.50	
トドマツ	—	1.20	21.10	49.2	51.2	18.00	4.50	枯損
ナナカマド	1.25	—	21.90	2.6	2.6	4.10	3.20	
同	0.80	—	22.00	2.2	2.8	3.20	1.90	
同	2.00	—	22.00	6.0	6.1	6.00	2.20	
同	1.45	—	22.80	26.6	28.6	16.00	6.50	
シウリザクラ	1.00	—	23.00	1.2	1.4	2.20	1.20	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ナナカマド	—		1.25	22.60			
同	—	1.25	22.90	10.0	10.0	9.00	2.20	
トドマツ	—	0.60	25.20	1.0	1.0	0.90	0.40	倒木上
同	—	0.75	26.30	0.4	0.5	0.70	0.30	
シナノキ	0.75	—	26.90	18.0	18.0	11.50	2.90	
同	1.65	—	27.20	3.2	3.2	3.00	1.00	
同	0.65	—	27.50	3.6	3.8	3.50	1.20	
エゾマツ	—	0.95	27.80	0.6	0.6	0.68	0.35	倒木上
シナノキ	0.85	—	28.10	3.6	3.0	4.80	2.00	
同	1.10	—	28.50	6.9	6.4	5.70	2.00	
同	2.15	—	29.00	37.8	38.0	—	4.50	先折
トドマツ	3.00	—	30.00	11.2	11.9	5.50	2.90	先折
シナノキ	0.85	—	32.00	1.4	1.8	2.00	0.70	
ムシカリ	0.50	—	33.80	1.4	2.0	2.30	1.50	
同	2.70	—	33.80	1.8	1.8	2.20	1.00	
トドマツ	2.00	—	34.60	34.6	28.6	—	3.00	先折
ムシカリ	2.00	—	36.00	1.4	1.4	2.00	1.00	
トドマツ	3.00	—	39.80	40.0	38.6	25.00	4.50	
シウリザクラ	—	0.30	41.30	8.2	8.4	9.00	4.50	
同	—	0.75	41.40	17.4	17.6	12.50	8.00	
ムシカリ	1.20	—	45.00	1.6	1.2	2.50	1.20	
シウリザクラ	1.30	—	46.00	1.6	2.0	2.20	1.50	
同	—	0.50	46.00	2.4	2.4	2.00	1.30	
トドマツ	0.70	—	47.40	1.2	1.4	1.10	0.60	先折
シナノキ	0.85	—	47.90	27.0	27.8	18.00	6.50	
シウリザクラ	—	2.10	47.90	7.4	6.8	8.70	4.50	
シナノキ	—	0.15	48.30	7.4	7.0	5.50	2.20	
シウリザクラ	18.0	—	48.50	2.0	2.0	3.00	1.60	
シナノキ	—	0.25	48.80	22.0	21.6	16.00	6.00	
同	—	0.55	48.80	3.4	3.4	3.50	1.00	
ダケカンバ	2.35	—	48.90	12.0	11.6	10.00	4.00	
シナノキ	0.30	—	49.00	2.3	3.6	4.00	1.20	
同	0.90	—	49.00	2.4	2.6	2.80	2.00	
ダケカンバ	1.00	—	49.00	2.8	2.8	3.50	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ムシカリ	—		1.35	51.30			
同	—	2.00	51.90	2.8	2.8	3.60	1.30	
エゾイタヤ	—	0.70	52.40	14.0	14.0	12.50	3.00	
エゾナナカマド	0.45	—	53.50	23.0	25.6	15.00	5.00	
ムシカリ	—	0.50	54.00	2.6	2.6	3.00	1.30	
エゾマツ	0.85	—	54.10	3.4	4.0	2.30	1.70	
トドマツ	1.60	—	55.00	79.0	74.0	34.00	3.50	
ムシカリ	—	1.20	55.00	1.0	1.0	2.00	1.00	
ノリノキ	—	0.65	58.00	1.0	1.4	1.50	0.60	
トドマツ	0	—	60.00	21.0	19.8	10.50	2.00	
ナナカマド	0.55	—	62.30	1.0	1.0	1.30	0.70	
トドマツ	0.35	—	63.00	7.0	7.0	3.00	1.50	先折
エゾマツ	0.80	—	63.00	81.0	73.0	35.00	4.00	
ベニイタヤ	2.00	—	64.40	9.2	9.0	8.50	4.50	
同	—	2.75	66.00	13.0	13.2	11.00	3.00	
同	—	2.70	66.80	1.4	1.4	2.30	1.20	
トドマツ	2.00	—	69.10	20.6	18.6	9.50	3.50	
同	0	—	70.00	60.0	59.6	20.00	10.00	枯損
ダケカンバ	0	—	71.00	57.8	57.8	16.00	10.00	先枯
トドマツ	—	0.40	75.00	35.0	37.2	16.00	3.00	
ノリノキ	—	2.40	77.80	2.0	1.8	1.60	0.60	
ミヅナラ	—	2.00	78.00	1.6	1.6	1.70	0.85	
同	0.50	—	80.00	—	—	1.20	0.60	
同	0	—	80.80	5.0	5.0	3.50	1.30	
ムシカリ	—	1.75	81.00	2.0	2.0	1.50	1.20	
同	—	1.10	81.30	2.0	2.0	2.50	1.30	
同	—	0.45	82.80	2.0	2.0	2.80	1.60	
トドマツ	—	0.50	84.50	—	—	0.60	—	
同	1.30	—	84.80	—	—	0.55	—	
ケヤマハンノキ	0.80	—	86.40	30.2	29.2	14.00	2.00	
同	1.80	—	87.00	37.4	34.8	11.00	1.50	枯損
エゾマツ	2.50	—	87.90	31.4	32.2	12.50	4.00	
トドマツ	3.00	—	88.80	4.4	4.2	2.00	1.80	
同	—	2.60	89.20	60.6	64.0	12.00	—	枯損 先折

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N S	E-W			
トドマツ	2.50	—	89.50	8.6	7.8	5.50	3.50	
エゾイタヤ	0.35	—	90.30	1.3	1.2	2.30	1.00	
ノリノキ	0.60	—	91.10	2.0	2.0	2.50	1.30	
ムシカリ	2.20	—	92.20	2.2	2.6	2.30	2.00	
エゾマツ	3.00	—	94.50	19.8	20.0	9.00	2.50	
トドマツ	—	0.20	94.80	12.2	11.8	7.00	3.50	
イチキ	0.40	—	96.50	1.0	1.0	1.30	1.00	
同	—	0.60	96.60	—	—	1.20	—	
ホホノキ	—	0.50	97.90	20.2	18.8	13.00	5.50	
同	0	—	98.00	8.0	7.4	7.00	3.50	
同	0	—	98.10	30.0	29.8	13.00	3.80	
同	0	—	98.20	4.6	4.2	5.00	2.00	
同	0.70	—	98.40	13.8	13.6	11.50	5.50	
トドマツ	0.10	—	99.90	1.0	1.0	0.70	0.65	
ナナカマド	1.90	—	100.50	16.8	15.6	13.00	3.00	
エゾマツ	0.50	—	102.50	26.2	23.6	13.00	3.50	
トドマツ	—	1.10	102.50	5.8	5.5	3.00	1.80	
アヅキナシ	—	1.30	102.85	8.8	8.6	6.00	4.50	
エゾマツ	0.50	—	102.90	33.0	37.0	22.50	5.50	
トドマツ	—	0.30	102.90	53.6	58.4	19.50	10.00	枯損
エゾマツ	0	—	104.80	13.0	12.8	7.00	4.00	

IX. 22, 1933. 調査.

〔VII. b.〕 針潤混森林：幌熊林道 (6×40m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は〔VII. A.〕幌熊林道標準區劃地の南西方約40米，林道縁より略々西方に取れり。此の地點は熊ノ澤の枝澤に面せる西向斜面にして，傾斜 W 21° なり。(第十三圖參照—36頁)

此の附近はトドマツ，エゾマツ，ミヅナラ，エゾイタヤ，ベニイタヤ等を主とする針潤混森林にして，ホホノキ，シロザクラ，ナナカマド，シナノキ，ケヤマハンノキ，ヲガラバナ等を混す。下層はネマガリダケ(高さ1.6m)優勢にして，灌木にはムシカリ，ノリノキ，ヒロハツリバナ，オホバスノキ等あり。最下層にはツルツゲ，ツルシキミ，ハヒイヌツゲ，シラネワラビ，ヲシダ，ジウモンジシダ，ヒメイチゲ，オホマヒヅルサウ等，又蔓莖類にはツルアヂサキ，ツタウルシ等生す。

尙本帯状標準區劃地より下部澤沿にてはヤチダモ，ケヤマハンノキ，アヅキナシ，ナナカマド，ヒロハキハダ，ダケカンバ等生す。

今本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第二十五表)

第二十五表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
トドマツ	—	2.00	1.00	29.2	29.2	—	—	元折 枯損
エゾイタヤ	1.45	—	2.40	7.0	7.6	—	—	
トドマツ	0.55	—	2.50	22.6	21.0	13.00	4.00	
エゾマツ	0.85	—	3.00	73.4	75.8	24.00	8.00	
トドマツ	2.30	—	4.80	7.5	7.5	5.50	3.00	
同	1.90	—	6.00	3.2	3.0	2.00	1.70	
同	—	1.45	6.30	31.2	29.2	12.00	4.50	
ナナカマド	0	—	7.00	8.9	8.8	8.50	2.50	
シロザクラ	0.50	—	7.90	2.4	2.3	4.50	2.00	
トドマツ	1.00	—	8.30	3.6	3.8	2.00	1.70	
ノリノキ	0.60	—	13.00	4.0	3.8	4.00	1.00	
同	1.50	—	13.25	3.3	3.2	2.50	0.60	
エゾマツ	—	2.50	17.50	3.7	4.0	2.30	2.00	
ミヅナラ	0.45	—	17.90	26.8	27.6	13.50	4.00	
トドマツ	0	—	19.15	3.6	3.8	2.20	1.70	
ノリノキ	—	1.30	21.20	1.2	1.2	2.20	1.00	
トドマツ	—	0.40	21.90	1.0	1.0	1.00	0.55	
ミヅナラ	1.40	—	23.70	16.4	16.6	11.00	3.50	
ベニイタヤ	—	0.45	25.00	14.0	14.0	9.50	2.00	
トドマツ	—	1.90	26.90	18.2	17.5	12.00	3.50	
ミヅナラ	0	—	27.00	24.4	26.6	15.50	4.00	
トドマツ	—	1.85	28.30	10.0	9.2	5.50	3.50	
ケヤマハシノキ	—	0.50	29.00	31.6	32.6	—	—	元折
ベニイタヤ	—	1.85	29.50	6.6	6.6	6.00	3.50	
同	—	1.65	29.90	11.6	11.6	9.00	3.00	
チガラバナ	—	2.00	30.00	—	—	1.10	0.60	
シロザクラ	—	2.50	30.00	1.2	1.2	3.00	1.80	
チガラバナ	—	1.80	30.50	—	—	0.60	0.35	
ベニイタヤ	—	1.00	32.90	31.5	30.4	13.00	4.50	
シロザクラ	—	1.00	34.00	1.7	1.9	3.00	1.00	
ムシカリ	—	1.20	34.50	1.8	1.6	2.00	1.00	
ベニイタヤ	0	—	35.00	6.4	6.8	5.50	2.00	
ダケカンバ	1.20	—	39.90	26.4	28.8	14.00	4.50	

〔VII. c.〕 針潤混雑林：幌熊林道 (5×50m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は〔VII. b.〕幌熊林道帯状標準區劃地の南西方100米、林道縁より略々北方に取れり。本地點は小なる澤に狹まれたる細き尾根狀の地にしてN18°の緩斜地なり。(第十三圖参照—36頁)

トドマツ、エゾマツ、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ダケカンバ等を主とする混雑林にして、センノキ、アヅキナシ、ホホノキ、ナナカマド、ケヤマハンノキ等を混す。下層はネマガリダケ(高さ1.7m)により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ等あり。最下層にはツルツグ、ツルシキミ、シラネワラビ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ等生す。

尙本帯状標準區劃地の南方は北東に延びる尾根に續き、トドマツ、エゾマツ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ミヅナラ、ダケカンバ、シナノキ等の混雑林にして、ウダイカンバ、ホホノキ、センノキ、シロザクラ等混す。下層はネマガリダケ優勢にして、ムシカリ生す。

今、本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第二十六表の如し。

第 二 十 六 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
シ ナ ノ キ	1.20	—	0.50	10.2	14.0	11.50	5.00	
同	1.00	—	0.90	8.2	8.4	6.50	3.50	
ト ド マ ツ	1.35	—	1.10	19.8	19.6	10.00	2.00	
ム シ カ リ	0	—	1.50	1.4	1.4	2.00	1.00	
シ ナ ノ キ	1.45	—	1.50	40.4	43.8	14.00	5.00	
ト ド マ ツ	1.85	—	5.80	29.8	29.8	15.00	4.50	
同	—	0.30	9.50	1.2	1.2	0.75	0.40	
エ ゾ マ ツ	—	0.40	9.80	2.0	2.0	2.20	1.00	
エ ゾ イ タ ヤ	0	—	10.00	22.2	26.0	10.50	3.50	
エ ゾ マ ツ	0	—	10.20	—	—	0.65	0.40	
ダ ケ カ ン バ	0	—	10.40	1.2	1.2	2.50	1.00	
シ ナ ノ キ	1.35	—	13.00	4.8	4.6	5.50	1.00	
ダ ケ カ ン バ	1.85	—	15.90	6.6	6.2	5.50	1.80	
エ ゾ イ タ ヤ	—	1.50	19.00	14.0	13.2	9.50	3.00	
ミ ヅ ナ ラ	2.50	—	20.00	90.0	85.0	20.00	7.00	
エ ゾ イ タ ヤ	0	—	25.00	10.0	10.2	6.50	1.80	
同	0.50	—	25.50	10.0	10.0	6.00	3.50	
ホ ホ ノ キ	0.20	—	25.90	5.9	5.9	7.50	2.50	
同	0.45	—	26.50	4.6	2.6	4.50	1.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
センノキ	0.70	—	29.20	72.0	68.2	21.00	10.00	
ベニイタヤ	—	2.00	29.90	20.8	19.2	11.00	3.00	
シナノキ	—	2.50	30.00	7.2	5.6	4.00	1.30	
トドマツ	0.65	—	32.20	31.0	30.6	13.00	4.00	
ダケカンバ	0	—	35.00	65.6	64.6	10.00	5.00	先枯
ベニイタヤ	—	1.95	36.80	9.4	9.4	6.50	2.00	
シナノキ	0.60	—	38.70	2.8	2.7	3.00	1.70	
同	0.50	—	38.80	5.6	5.5	5.00	1.00	
同	—	1.30	39.00	30.4	32.4	12.00	2.50	
同	1.65	—	39.20	8.2	8.6	7.00	4.50	
トドマツ	—	1.25	39.80	26.2	25.4	—	2.50	枯損
同	0.30	—	42.00	5.2	5.0	3.00	1.70	
同	—	0.70	42.00	24.8	22.0	—	—	元折
同	—	0.10	44.50	46.8	44.0	6.00	2.50	
同	—	1.00	46.00	34.4	34.2	17.50	4.00	
エゾマツ	—	2.00	46.90	6.8	7.0	4.00	1.50	
同	—	1.30	47.00	7.8	7.8	4.50	2.00	
ダケカンバ	—	1.60	47.50	34.0	35.0	—	—	元折
トドマツ	0	—	48.50	1.8	1.6	1.30	1.00	
ミヅナラ	2.20	—	48.50	10.2	10.8	7.50	4.00	

IX. 12, 1933, 調査.

〔VII. d.〕 針潤混淆林：幌熊林道 (3×20m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は〔VII. B.〕幌熊林道標準區劃地の西方180米、林道に沿ひ、略々東西に取れり。(第十三圖参照—36頁)

本地點は E 12° の緩斜地の針潤混淆林中、尾根筋の所にしてトドマツ、エゾマツ、ベニイタヤ、ダケカンバ等多く生じ、ミヅナラ、センノキ、ホホノキ等混す。下層はネマガリダケ (高さ1.5m) により占められ、最下層にはホソキノデ、ウメガササウ、ツルリンドウ等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、ツクウルシ等生ずるのみ。

今、本帯狀標準區劃地内に生ずる主要なる木本を表示せんに第二十七表の如し。

第二十七表

樹種	xm		ym	直徑胸高 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
トドマツ	—	0.50	0.65	21.8	23.0	11.00	5.00	
同	—	0.85	1.20	37.4	38.8	16.00	6.00	
同	1.00	—	7.40	2.4	3.8	1.70	1.20	
ベニイタヤ	1.40	—	7.60	13.4	13.6	8.50	3.00	
トドマツ	—	0.60	7.70	15.4	15.2	10.00	4.00	
センノキ	1.50	—	9.50	11.8	11.4	10.00	5.50	
トドマツ	0.60	—	10.00	7.4	7.6	5.50	3.50	
ベニイタヤ	—	0.30	10.20	22.0	19.4	12.00	5.50	
トドマツ	—	0.65	12.40	20.4	19.4	6.50	2.00	
ベニイタヤ	0.50	—	12.50	5.4	5.0	5.50	1.20	
同	—	0.30	15.45	16.4	14.6	11.00	7.00	
同	1.20	—	15.60	8.6	8.4	6.50	3.20	
トドマツ	0.65	—	18.35	21.1	20.4	7.00	2.00	
センノキ	—	0.95	19.20	26.4	24.6	11.50	7.00	

IX. 18, 1933. 調査.

VIII. シナノキ—ミツナラ林

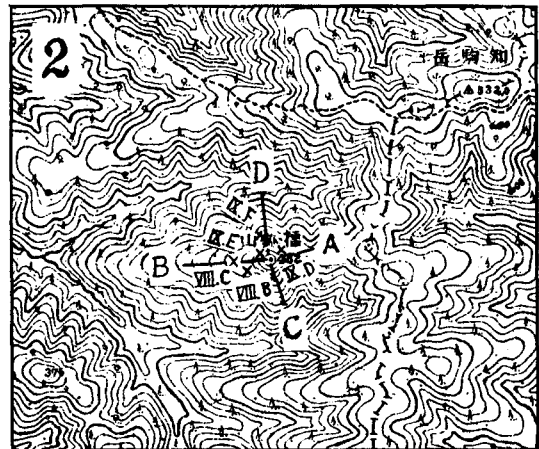
8' シナノキ—ミツナラ林概相

シナノキ—ミツナラ林は天鹽東北部及北見西部を占むる西側北見山脈に於ける極めて興味深き群叢にして、其林地は針葉樹林の上部より、ダケカンバ林の下部にわたりて構成せらる。

シナノキ、イタヤ、ミツナラ、ダケカンバを主木とし、混在樹種としてホホノキ、ナナカマド、ヒロハノキハダ、ベニイタヤ、センノキ等を生ず。下層にはオクヤマザサ極めて優勢にして、灌木にはムシカリ、エゾツノハシバミ、ムラサキツリバナ、ヒロハツリバナ、ノリノキ、コエフラク、エゾイボタ等あり。

本林中に標準區劃地〔VIII. A; VIII. B; VIII. C〕; 帶狀標準區劃地〔VIII. a; VIII. b〕

第二十二圖 (第三頁第一圖2)



を選び、之を三澤山、摺鉢山に設定せり。(第七圖及第二十二圖参照)

8° シナノキ—ミヅナラ林標準地

シナノキ—ミヅナラ林標準地

〔VIII. A.〕 シナノキ—ミヅナラ林：天幕之澤 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は天幕之澤林道と間之峰に至る林道との分岐點の南方120米の地點にして、林道より西方2米の箇所に取れり。尾根通の傾斜 E 18° の東面緩斜地にして、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第七圖参照—10頁)

本地點はミヅナラ、シナノキ、ダケカンバ等を主とし、エゾイタヤを混する上部潤葉樹林なり。下層はオクヤマザサ優勢にして、灌木にはムシカリ、エゾツノハシバミ、ノリノキ等あり。最下層にはハヒイヌツグ、シラネワラビ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、ドゲナシゴエフイチゴ、レンプクサウ、エンレイサウ等、又蔓莖類にはヤマブドウ、ツタウルシ等あり。

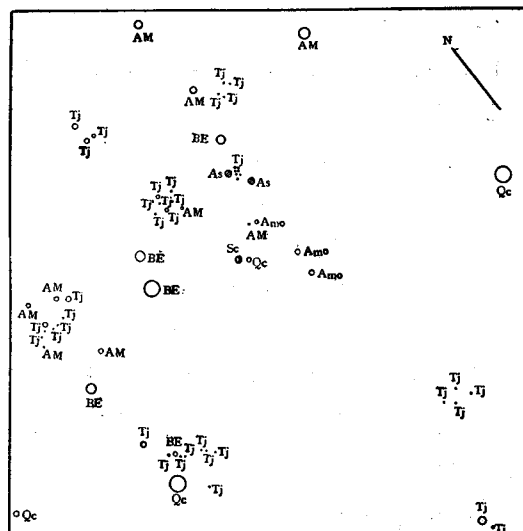
而して本標準區劃地より上部はミヅナラ多く、シナノキ、ダケカンバ、エゾイタヤ等の林にして、コシアブラ混じ、トドマツ2本(胸高直徑41cm; 樹高16.5m: 胸高直徑32cm; 樹高16m)生ず。下層はオクヤマザサ(高さ2.3m)旺盛にして、灌木にはムシカリあり。最下層にはシラネワラビ、又蔓莖類にはツルアデサキ、ツタウルシ等生ず。

東方林道より下部は溪谷の潤葉樹林にして、傾斜 E 40° の嶮阻地なり。ミヅナラ、オヒヨウ、ケヤマハンノキ、シナノキ、ダケカンバ、アヅキナシ、ヒロハキハダ等生ず。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せん第二十三圖の如し。

更に之を數的に表示せん第二十八表の如し。

第二十三圖



● 枯損 VII. 30, 1933. 調査.

第二十八表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	2	—	—	—	1	—	1	4
<i>Betula Ermani</i> Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	1	3	—	—	1	—	5
<i>Tilia japonica</i> Simk. (Tj)	シナノキ	35	3	4	—	—	—	—	—	42
<i>Acer Mayri</i> Gr. v. Schw. (AM)	ペニイタヤ	2	4	2	—	—	1	—	—	9
<i>Acer mono</i> Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	3	—	—	—	—	—	—	—	3
<i>Sorbus commixta</i> Hedl. (Sc)	ナナカマド	—	—	—	1	—	—	—	—	1
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	トドマツ	—	1	—	1	—	—	—	—	2
直徑級別合計		40	10	7	5	—	2	1	1	66

尙本標準區劃地内にオクヤマザサを疎生せる所の下層 (2m)³ 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	植物名	本数
シラネワラビ	48	オクエゾサイシン	5
ムシカリ	38	ヤマブドウ	1
オクヤマザサ	9	ツタウルシ	1
ハヒイメツゲ	6		

[VIII. B.] シナノキーミヅナラ林：挿鉢山 (20m)³ 標準區劃地

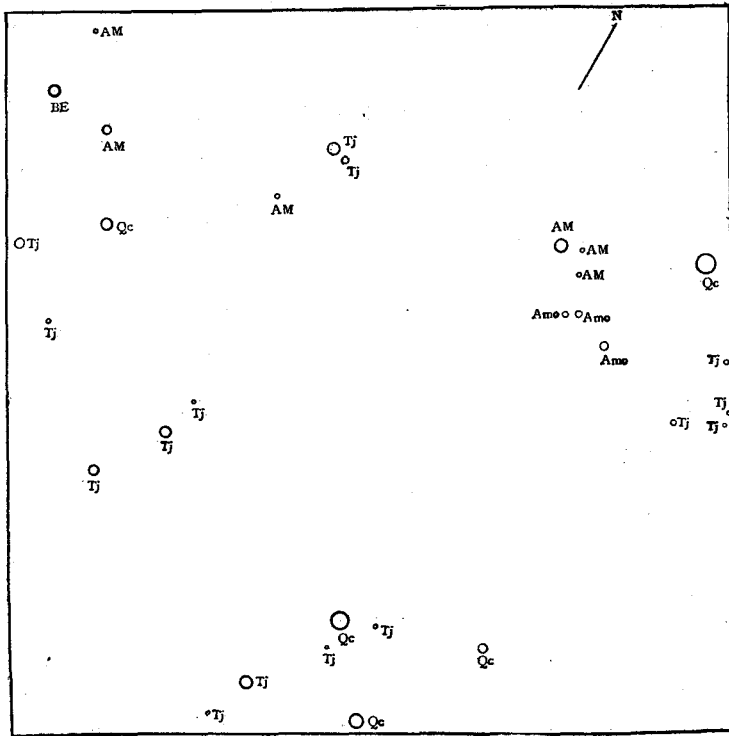
本標準區劃地は挿鉢山頂より距離 202 米下部西面帶狀標準區劃地に沿ひ、區劃地の南側 (傾斜 W 23°) に取れり。(第二十二圖参照—56頁)

ミヅナラ、シナノキ、ダケカンバ等を主とし、エゾイタヤ、ペニイタヤ、ナナカマド、センノキ等を混する上部潤葉樹林にして、下層はオクヤマザサ (高さ 2.3m) により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ、コエウラク等あり。最下層にはツルシキミ、シラネワラビ、ジウモンジンダ、オクエゾサイシン、ヒロハヒメイチゲ、クルマバサウ、レンブクサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、ミヤママタタビ、テウセンゴミシ等生ず。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに次の如し。(第二十四圖参照—59頁)

更に之を數的に表示せんに第二十九表の如し。

第二十四圖



VIII. 22, 1933. 調査.

第二十九表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑						合計	
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60		60-70
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	—	1	1	—	2	1	5
Tilia japonica Simk. (Tj)	シナノキ	6	3	3	3	—	—	—	15
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	1	—	—	—	—	1
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	1	3	1	1	—	—	—	6
Acer mono Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	—	2	1	—	—	—	—	3
直徑級別合計		7	8	7	5	—	2	1	30

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オクヤマザサ	45	高さ2m	ムシカリ	14
シラネアザミ	36		テウセンゴミシ	12
ヒロハヒメイチゲ	24		ツルシキミ	9
クルマバサウ	18		オホマヒヅルサウ	1
レンブクサウ	16		ミヤマタタビ	1

〔VIII. C.〕 シナノキーミヅナラ林：挿鉢山 (20m)² 標準區劃地

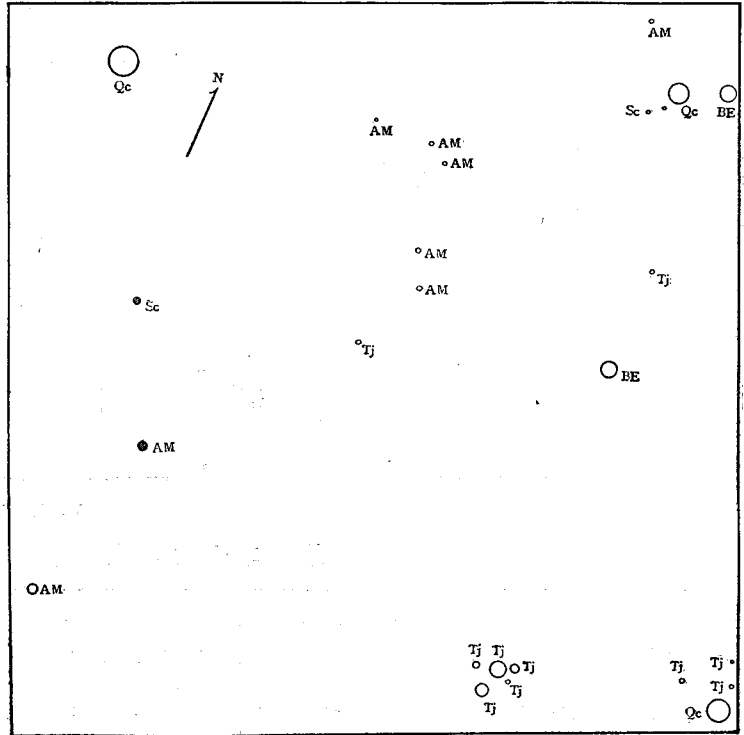
本標準區劃地は挿鉢山頂より距離276米下部，西方帶狀標準區劃地にまたがり，W 29°の急斜地に取れり。(第二十二圖参照—56頁)

此の地點はミヅナラ，シナノキ，ダケカンバ等を主とし，ベニイタヤ多く混じ，他にナナカマドを生ず。下層はオクヤマザサ(高さ3.5m)優勢にして，灌木にはチシマザクラ，ムシカリ，ノリノキ，ムラサキツリバナ，

エゾスグリ等あり。最下層にはツルシキミ，ハヒイヌツゲ，シラネワラビ，ジウモンジシダ，オホバシヨリマ，ホソキノデ，エゾシヤウマ，トゲナシゴエフイチゴ，クルマバサウ，レンブクサウ，スゲ類，オホマヒヅルサウ等，又蔓莖類には，ツルアヂサキ，ツタウルシ，テウセンゴミシ等生ず。時にミヤマノキンノブ樹幹に着生す。

今，本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第二十五圖)

第二十五圖



● 枯損

VIII. 25, 1933. 調査.

更に之を數的に表示せんに第三十表の如し。

第三十表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑										合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-90	90-100	
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	3
Tilia japonica Simk. (Tj)	シナノキ	7	1	1	1	1	—	—	—	—	—	11
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	3	3	2	—	—	—	—	—	—	—	8
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナナカマド	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2
直徑級別合計		11	5	3	1	4	—	1	—	—	1	26

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	備 考	植 物 名	本 數
オクヤマザサ	45	高さ2.8m	トゲナシゴエフイチゴ	6
スゲ類	37		ツルアザサキ	6
クルマバサウ	21		ツルシキミ	4
シラネワラビ	17		シウモンシシダ	3
ツタウルシ	11		レンブクサウ	2
オホマヒヅルサウ	7			

[VIII. a.] シナノキミヅナラ林：三澤山 (5×34m²) 帶狀標準區劃地

(寫真第三圖版—第十一圖參照)

本帶狀標準區劃地は三澤山山稜の林道沿にして、三角點 (標高404.3m) より南方60米の地點にして、傾斜 SW 13° の緩斜地、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第七圖參照—10頁)

本地點は尾根筋のシナノキ、ミヅナラ、ダケカンバを主とし、ホホノキ、ヒロハキハダ等を混する上部潤葉樹林なり。下層はオクヤマザサ (高さ1.8m) により占められ、灌木にはムシカリ、エゾツノハシバミ、ホザキナナカマド、サハフタギ、エゾイボタ等あり。最下層にはハヒイヌツゲ、シラネワラビ、ラシダ、オクエゾサイシン、クルマバサウ、タニギキヤウ、アザミ類、スゲ類等、又蔓莖類にはツルアザサキ、ヤマブダウ、ツタウルシ、テウセンゴミシ、エゾサルナシ、イケマ等生ず。尙林道に沿ひ二次要素としてエゾイチゴ、エビガライチゴ、キツリフネ等生ず。

東方は急斜地にして、ダケカンバ多く生じ、シナノキ、エゾイタヤ、ヒロハノキハダ等混じ、下層はオクヤマザサ優勢なり。又西方は急斜地にしてミヅナラ、シナノキ、ダケカンバ等多く生じ、トドマツ、エゾマツ等の混入する森林なり。

今、本帶狀標準區劃地に於ける主要なる木本を表示せんに第三十一表の如し。

第 三 十 一 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
シ ナ ノ キ	0	—	0	25.0	29.0	7.50	2.50	
同	2.00	—	4.10	7.0	6.2	4.50	2.20	
同	2.35	—	4.35	13.4	16.6	7.00	2.40	
同	1.80	—	4.45	2.4	2.1	2.50	2.00	
ミ ヅ ナ ラ	—	0.25	5.00	38.0	44.0	9.00	2.70	
ホ ホ ノ キ	0	—	6.80	14.8	19.0	8.00	2.30	
シ ナ ノ キ	—	1.95	7.40	18.4	23.6	8.00	3.00	
同	—	0.95	13.00	24.8	30.4	10.00	3.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	1.40	—	13.50	12.0	12.4	6.00	2.80	
同	0.75	—	13.55	28.0	34.4	10.00	3.50	
同	0.37	—	13.95	8.4	7.6	5.80	3.80	
同	0.50	—	14.20	19.0	19.4	9.00	5.50	
同	0.60	—	14.80	20.0	22.4	11.00	3.70	
同	0.90	—	15.00	3.0	3.8	2.30	1.00	
同	1.15	—	15.00	19.4	20.0	4.30	2.00	
エゾツノハシバミ	1.40	—	22.00	—	—	2.30	—	
同	1.75	—	22.50	—	—	2.50	—	
シナノキ	—	1.00	27.45	15.8	19.8	7.00	3.00	
同	—	0.70	27.70	23.1	22.6	8.30	2.10	
同	—	1.95	29.30	4.0	4.4	2.70	1.80	
同	—	1.90	29.35	4.6	4.6	4.20	1.50	
同	—	0.95	29.40	2.1	3.0	2.00	1.20	
同	—	1.40	29.40	2.8	2.6	2.10	0.70	
同	—	0.60	29.70	19.8	17.6	8.00	2.30	
同	—	2.37	29.80	5.0	5.2	3.30	1.30	
同	—	1.25	32.80	17.8	18.6	5.00	2.50	
同	—	2.30	32.80	2.10	2.12	2.40	1.20	
ミヅナラ	1.70	—	33.50	51.0	55.2	10.00	2.30	
ヒロノキハダ	—	1.20	33.50	—	—	1.60	—	

IX. 15, 1933. 調査.

〔VIII. b.〕 シナノキーミヅナラ林：三澤山 (10×100m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は三澤山三角點 (標高404.3m) の東方下150米の地點にして、林道の彎曲點附近より林道に沿ひ、略々東西に取れり。傾斜 NE 8—13° の緩斜地にして、基岩は上部白亞紀頁岩なり。(第七圖參照—10頁)

此の附近はシナノキ、ミヅナラ、ダケカンバ、エゾイタヤ、ペニイタヤ等を主とする上部潤葉樹林にして、他にエゾナナカマド、ホホノキ等を混じ、稀にエゾマツ生ず。下層はオクヤマザサ、ネマガリダケ (高さ2.6m) 優勢にして、灌木にはエゾツノハシバミ、ムシカリ、ノリノキ、ムラサキツリバナ、ハナヒリノキ等あり。最下層にはハヒイヌツゲ、シラネワラビ、ラシダ、オホバイラクサ、オクエゾサイシン、ムカゴイラクサ、クサノスミレ、クルマバサウ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、エゾカンスゲ、クルマバツクバネサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、

ヤマブドウ、ツタウルシ、ミヤママタビ等生ず。時にミヤマノキシノブ樹幹に着生す。

今、本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第三十二表の如し。

第三十二表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	3.50	—	2.60	4.0	3.2	—	1.00	先折
同	4.00	—	2.60	8.2	7.0	6.30	4.00	
同	2.65	—	2.90	3.2	3.4	—	1.80	先折
同	4.30	—	3.00	36.8	30.2	14.00	4.00	
同	3.70	—	3.25	6.4	5.8	5.00	2.80	
ミヅナラ	—	1.30	3.80	50.0	38.8	17.00	3.50	
エゾツノハシバミ	—	3.10	4.00	3.0	2.4	—	—	元折
同	—	3.90	4.20	3.0	2.8	4.00	3.00	
同	—	4.05	4.20	2.0	1.4	3.00	1.00	
同	—	3.10	4.30	4.0	2.4	4.00	2.00	
同	—	2.90	4.50	3.8	2.4	2.50	2.00	
ベニイタヤ	—	4.35	5.50	20.2	20.2	12.00	3.8	
ダケカンバ	—	4.35	8.30	2.4	2.2	3.50	2.00	
同	—	4.80	8.50	2.4	2.0	3.20	2.60	
同	—	1.95	9.00	9.2	9.0	8.50	4.50	
エゾマツ	—	2.65	9.00	1.8	1.8	1.00	0.80	
ダケカンバ	—	2.35	9.30	12.2	13.4	11.00	6.00	
ナナカマド	—	2.70	10.50	1.6	1.6	2.00	1.00	
ホホノキ	—	1.40	15.90	—	—	0.20	—	
シナノキ	—	3.70	16.30	19.0	19.0	10.00	3.00	
同	—	3.30	16.70	2.4	2.6	3.00	1.60	
同	—	3.20	17.00	16.8	16.4	—	—	伐根
同	—	3.35	17.40	17.2	18.8	—	—	伐根
同	—	3.75	17.50	20.6	22.0	14.00	5.00	
シナノキ	—	3.00	17.80	21.6	27.4	—	—	伐根
同	—	3.85	18.00	21.6	22.4	11.00	3.50	
同	—	4.65	18.00	4.8	5.0	3.00	1.40	
同	5.00	—	24.40	30.0	27.0	14.00	5.50	
同	4.40	—	33.30	24.8	26.0	13.00	4.00	
同	4.00	—	33.50	2.2	2.8	2.20	1.20	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 .m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	エゾナナカマド	—		2.20	41.00	46.0	40.0	
同	—	2.75	41.80	4.4	4.6	5.00	1.40	
ミヅナラ	0.25	—	46.40	11.2	11.0	8.00	3.00	
ムシカリ	0.65	—	46.50	4.8	3.6	2.50	0.80	
シナノキ	—	3.75	48.00	27.6	22.2	—	—	伐根
同	—	2.85	49.50	10.2	6.4	5.00	2.00	
ムシカリ	0.80	—	49.80	3.0	3.2	—	0.50	先折
同	0.80	—	50.50	2.4	2.6	2.80	0.90	
ホホノキ	3.15	—	50.80	9.2	8.2	6.50	4.00	
ベニイタヤ	—	0.75	51.20	27.9	26.3	16.00	2.70	
ホホノキ	4.40	—	51.30	33.6	30.0	16.50	5.50	
同	4.35	—	51.40	2.0	2.0	2.30	2.00	
同	3.35	—	51.50	9.8	9.4	7.50	2.50	
同	3.75	—	51.50	7.4	8.0	7.00	3.00	
ムシカリ	1.20	—	51.90	3.2	3.0	2.50	1.00	
ベニイタヤ	—	3.75	54.20	27.8	27.2	14.00	3.00	
エゾツノハシバミ	1.65	—	59.00	1.2	1.0	2.50	1.10	
ベニイタヤ	4.00	—	59.00	21.8	24.2	14.50	4.00	
ムシカリ	2.65	—	59.20	2.2	2.4	2.50	1.20	
エゾツノハシバミ	—	3.00	63.20	3.2	3.0	4.00	2.50	
同	—	3.80	63.60	3.0	2.8	4.30	2.50	
同	—	4.00	63.60	3.6	4.0	4.00	2.00	
同	—	4.10	63.80	3.2	3.6	3.80	2.00	
同	—	4.40	63.80	2.6	2.4	—	1.20	先折
同	—	4.75	63.80	3.6	3.8	5.50	3.00	
シナノキ	0.85	—	64.90	16.8	15.6	—	—	伐根
エゾナナカマド	2.25	—	65.00	3.6	3.4	4.00	2.00	
同	2.45	—	65.20	2.4	2.0	2.30	0.60	
ダケカンバ	—	2.85	65.90	3.4	3.6	3.20	2.80	
同	—	3.15	66.40	3.4	3.4	2.40	1.80	
同	—	4.65	66.40	3.0	3.0	2.30	1.00	
同	—	4.95	66.40	2.0	2.0	2.00	0.20	
シナノキ	2.60	—	66.50	5.0	4.8	5.00	2.30	
ダケカンバ	—	3.60	66.80	2.6	2.6	2.20	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	2.80	—	67.00	31.8	29.4	18.00	7.50	
同	0.60	—	67.50	17.4	16.4	8.50	5.00	
同	2.35	—	68.00	4.6	4.2	3.50	1.60	
同	2.30	—	68.20	7.4	7.4	—	—	伐根
同	1.70	—	68.30	48.0	47.8	20.00	9.00	
同	1.60	—	69.50	36.4	35.2	19.00	7.50	
同	2.25	—	69.80	9.2	9.2	4.50	2.50	
同	3.35	—	70.00	27.8	31.2	18.50	7.50	
ダケカンバ	1.75	—	92.00	30.8	32.0	15.00	3.20	
シナノキ	—	0.15	97.00	11.8	13.2	6.00	2.00	
同	—	0.50	98.00	6.0	5.6	4.50	1.50	
同	—	1.00	98.00	5.0	5.0	4.00	2.50	
同	—	0.20	98.40	27.8	27.8	14.00	4.00	
同	—	0.60	98.40	26.2	24.8	14.00	3.00	
同	—	1.00	98.60	7.0	6.4	—	1.00	先折
同	1.00	—	99.00	7.4	7.0	6.00	1.00	
同	—	1.30	99.00	4.2	4.0	3.00	1.00	
同	1.00	—	99.10	3.4	3.4	2.60	1.30	
同	0.50	—	99.20	3.2	3.0	2.50	1.20	
同	—	1.35	99.20	6.0	5.5	2.50	1.00	
同	—	1.35	99.35	2.4	2.2	2.50	1.00	
同	—	0.20	99.70	12.8	11.8	7.50	3.50	
同	—	0.70	99.70	27.2	25.0	11.00	2.00	
同	0.40	—	99.80	14.8	14.2	7.00	2.50	
同	—	0.15	99.80	27.8	28.2	14.00	5.00	

IX. 16, 1933. 調査.

IX. ダケカンバ林

9) ダケカンバ林概相

ダケカンバ林は天鹽演習林に於ては約400m前後より發達し、上部はハヒマツ帯に接す。主木ダケカンバの形状は土地的条件により、種々に變化し時に灌木状を呈す。混淆樹種としては上部にミヤマハンノキ、ハヒマツ等あれども、下部に於てはミヅナラ、ナナカマド、ヒロハノキハダ、ハリギリ、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等あり。下層は概ねオクヤマザサ、チシマザサによりて

(66)

占めらる。

本林中に標準區劃地〔IX. A; IX. B; IX. C; IX. D; IX. E; IX. F〕を選び、之をパンケ山及摺鉢山に設定せり。(第二十二圖及第二十六圖参照)

9² ダケカンバ林標準地

〔IX. A.〕 ダケカンバ林: パンケ山 (15m)² 標準區劃地

本標準區劃地はパンケ南山の東北方距離 150 米 (高度 540m) の地點にして、傾斜は E 20° なり。

(第二十六圖参照)

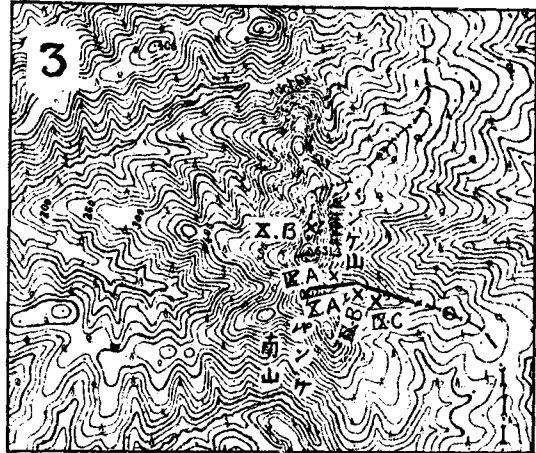
此の地點は東面に於ける最高のダケカンバ林にして、風衝を受け、樹幹屈曲せるダケカンバ (胸高直径 6.2—36.7cm; 樹高 3.5—9.8 m) 生じ、下層はオクヤマザサ (高さ 2.5—3.75 m) 優勢にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ等生じ、最下層にはシラネワラビ、ミヤマワラビ、メシダ、ヒロハヒメイチゲ、サンカエフ、シラオヒハコベ、トゲナシゴエファイチゴ、コミヤマカタバミ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、ザゼンサウ、ツバメオモト、オホマヒヅルサウ、オホバタケシマラン、アリダウシラン等、又蔓莖類にはツルアヂサキ生す。

本標準區劃地の上部にはミヤマハンノキ多く生じ、少しくダケカンバの混する所あり。

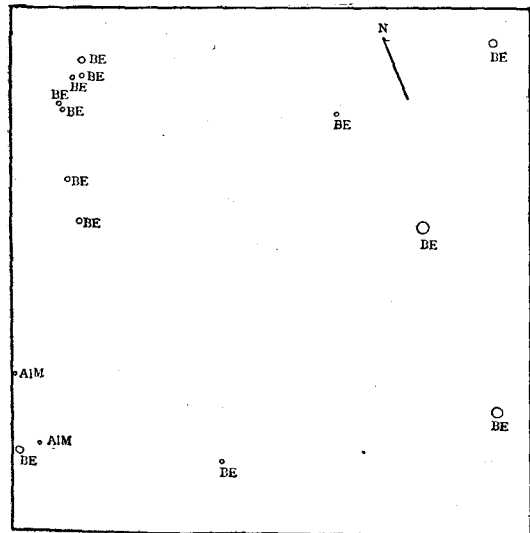
今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第二十七圖)

更に之を數的に表示せんに第三十三表の如し。

第二十六圖



第二十七圖



第三十三表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑							合計
		5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	4	4	1	—	—	2	2	13
Alnus Maximowiczii Call. (AIM)	ミヤマハンノキ	1	1	—	—	—	—	—	2
直徑級別合計		5	5	1	—	—	2	2	15

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
ミヤマワラビ	59		メシダ	2
オクヤマザサ	38	高さ3.5m	コミヤマカタバミ	2
ノリノキ	15		ミミカウモリ	2
エゾヨツバムグラ	12		ザゼンサウ	2
タニギキヤウ	11		ツバメオモト	1
シラネワラビ	5			

[IX. B.] ダケカンバ林: パンケ山 (10m)² 標準區劃地

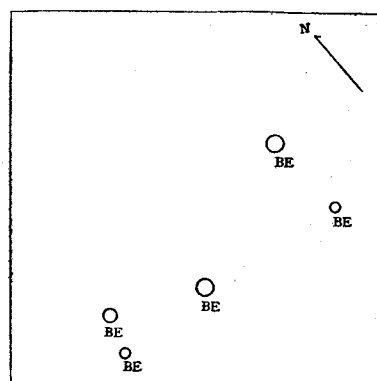
本標準區劃地はパンケ南山の東方距離260米の地點にして、國境劃分の南方に沿ひ取れり。傾斜は SE 19° の緩斜地なり。(第二十六圖参照—66頁)

此の地點はダケカンバの老樹 (胸高直徑30—43cm; 樹高10.50—11.45m) の生ずる所にして、下層はオクヤマザサ (高さ2.7m) 密生し、木本にはムシカリ、ホザキナナカマド等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、アザミ類、スゲ類、オホマヒツルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。時に樹幹にミヤマノキノブ、オシヤグジデング等着生す。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第二十八圖)

更に之を數的に表示せんに第三十四表の如し。

第二十八圖



VIII. 6, 1933. 調査.

第三十四表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑			合計
		30—35	35—40	40—45	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	2	—	3	5

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オクヤマザサ	81	高さ2.7m	オホマヒヅルサウ	8
スゲ類	47		ツルアザサキ	7
シラネワラビ	42		ツルツゲ	6
ムシカサ	18		タニギキヤウ	2
ツルシキミ	11			

〔IX. C.〕 ダケカンバ林：パンケ山 (15m)² 標準區劃地 (寫眞第三圖版—第十二圖参照)

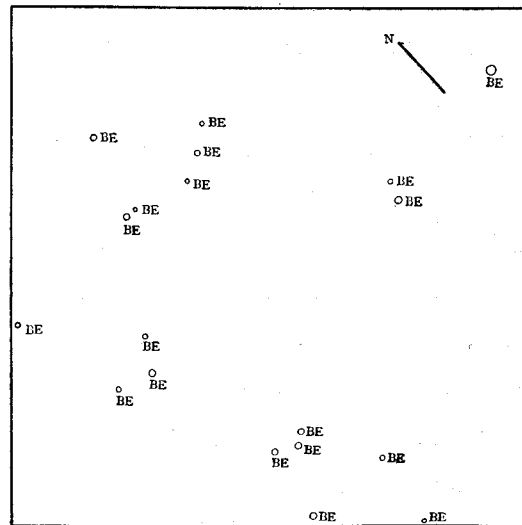
本標準區劃地は〔IX. B.〕パンケ山標準區劃地の下方、距離50米の國境划分の南側に沿ひ取れり。傾斜 SE 19° の緩斜地なり。(第二十六圖参照—66頁)

此の地點はダケカンバの壯齡樹(胸高直徑10—26.3cm; 樹高9.5—11.5m)の多き所に於て、下層は概ねオクヤマザサ(高さ2—3m)により獨占せられ、少しくシラネワラビ、ザゼンサウ、エンレイサウ、ツタウルシ等生ずるのみ。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第二十九圖)

更に之を數的に表示せんに第三十五表の如し。

第二十九圖



VIII. 6, 1933. 調査.

第三十五表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑				合計
		10-15	15-20	20-25	25-30	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	5	9	3	2	19

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 数	備 考
オクヤマザサ	38	高さ2.5m
ツタウルシ	7	
シラネワラビ	4	
ザゼンサウ	1	

〔IX. D.〕 ダケカンバ林: 搦鉢山 (20m)² 標準區劃地

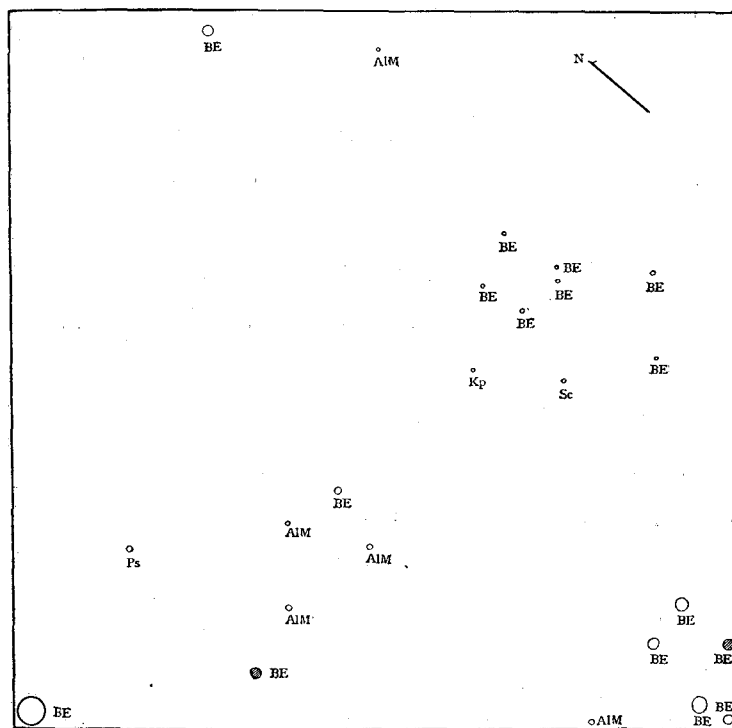
本標準區劃地は搦鉢山頂より距離 116 米下部東面帶狀標準區劃地の北方10米の所にして、東面急斜地(約26°)が緩斜地(約14°)となれる所に取れり。(第二十二圖參照—56頁)

此の地點はダケカンバ多く生じ、ハリギリ、ヒロハキハダ、ミヤマハンノキ、ナナカマド、ミヅナラ、シナノキ等僅かに

混す。下層はオクヤマザサ(高さ2.8m)密生して、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ムラサキツリバナ等あり。最下層にはシラネワラビ、オホバシヨリマ、サンカエフ、ミヤマタニタデ、ウド、エゾニウ、クルマバサウ、レンブクサウ、タニギキヤフ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ、オホバタケシマラン等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、エゾサルナシ等生す。

尙本標準區劃地の下方には約 (30m)² のミヤマハンノキ林介在す。

第 三 十 圖



● 枯 損

VIII. 22, 1933. 調査.

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに上掲の如し。(第三十圖)

更に之を數的に表示せんに第三十六表の如し。

第三十六表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	6	2	3	2	1	1	—	1	16
Kalopanax pictum Nakai (Kp)	センノキ	—	1	—	—	—	—	—	—	1
Phellodendron sachalinense Sarg. (Ps)	ヒロハノキノダ	—	1	—	—	—	—	—	—	1
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナナカマド	—	1	—	—	—	—	—	—	1
Alnus Maximowiczii Call. (AIM)	ミヤマハシノキ	2	3	—	—	—	—	—	—	5
直徑級別合計		8	8	3	2	1	1	—	1	24

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて下草を調査せしに次の如し。

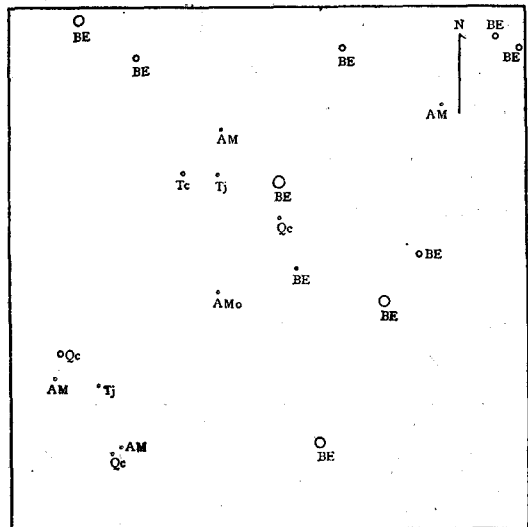
植物名	本数	備考
オクヤマザサ	49	高さ2.6m
レンブクサウ	20	
シラネソラビ	18	
ザゼンサウ	2	

〔IX. E.〕 ダケカンバ林: 搦鉢山 (15m)² 標準區劃地

本標準區劃地は搦鉢山頂より距離56米の下部西面帶狀標準區劃地に沿ひ北側に取れり。傾斜W 34°の強き急斜地なり。(第二十二圖参照—56頁)

ダケカンバの稍々多き所にして、矮性のベニイタヤ、シナノキ、ミヅナラ等混じ、また少しくイチキあり。下層はチシマザサ(高さ1—1.2m) 密生し、灌木にはアカミノイヌツゲ、ヤマウルシ、ムシカリ、ノリノキ、チシマザクラ、タカネナナカマド、ムラサキツリバナ、エゾイボタ、オホバスノキ、ハナヒリノキ、コマユミ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネソラビ、トラノヲシダ、エゾシヤウマ、シラオヒハコベ、ヒロハヒメイチダ、ミヤマスミレ、エゾニウ、エゾオホバセンキウ、ゴゼンタチバナ、クルマバサウ、エゾヨツバムグラ、ミミカウモリ、アキノキリンサウ、セウゼウスダ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、

第三十一圖



VIII. 15, 1933. 調査

テウセンゴミシ等生ず。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに前掲の如し。(第三十一圖—70頁)

更に之を數的に表示せんに第三十七表の如し。

第三十七表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑									合計
		1-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	1	—	1	2	3	—	1	1	1	10
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4
Acer mono Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
Quercus crispula Bl. (Qc)	ミヅナラ	1	2	—	—	—	—	—	—	—	3
Tilia japonica Simk. (Tj)	シナノキ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2
Taxus cuspidata Sieb. et Zucc. (Tc)	イチキ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
直徑級別合計		10	2	1	2	3	—	1	1	1	21

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
チシマザサ	104	高さ1m	クルマバサウ	3
ツルシキミ	29		オホバスノキ	2
オホマヒヅルサウ	25		ツルツゲ	2
ヒロハヒメイチゲ	20		トラノヲシダ	2
ツタウルシ	14		ノリノキ	1
テウセンゴミシ	7		シラネワラビ	1
エゾイボタ	6		エゾオホバセンキウ	1
ツルアザサキ	6		ミミカウモリ	1
ムシカリ	5		アキノキリンサウ	1
シラオヒハコベ	5		スゲ類	++
ハナヒリノキ	4			

〔IX. F.〕 ダケカンバ林：插鉢山 (20m)² 標準區劃地

本標準區劃地は插鉢山頂より距離 117 米、下部北面帯狀標準區劃地に沿ひ、西側に取り、傾斜 NW 24° の急斜地なり。(第二十二圖参照—56頁)

此の附近はダケカンバ林良く發達し、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ナナカマド、ヒロハキハダ、オヒヨウ、ミヤマハンノキ等を少しく混す。下層はオクヤマザサ (高さ2.8m) 密生し、灌木にはムシカリ、ムラサキツリバナ、ヒロハツリバナ等あり。最下層にはシラネワラビ、リヤウメンシダ、ジウモンジシダ、ハクマウキノデ、オホバイラクサ、オホイタドリ、ミヤマタニダゲ、トゲナシゴ

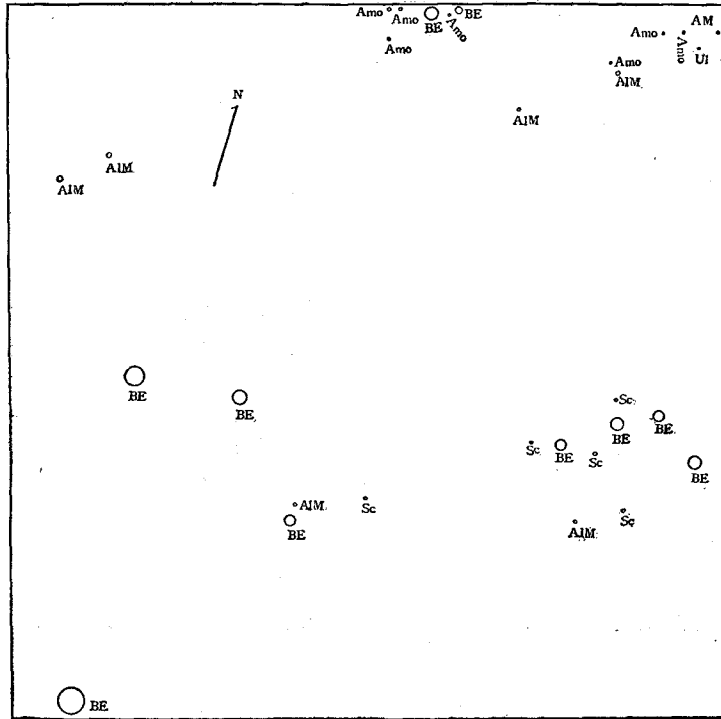
(72)

エフイチゴ, レンプクサウ,
タニギキヤウ, ミミカウモ
リ, ザゼンサウ, オホマヒ
ヅルサウ, オホバタケシマ
ラン等, 又蔓莖類にはツル
アヂサキ, ツタウルシ, ツ
ルニンジン等生ず。

今, 本標準區劃地内に
於ける主要なる木本を圖示
せんに右掲の如し。(第三十
二圖)

更に之を數的に表示せ
んに第三十八表の如し。

第三十二圖



VIII. 26, 1933. 調査.

第三十八表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑									合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-90	
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	1	5	2	—	1	—	1	10
Sorbus commixa Hedl. (Sc)	ナナカマド	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5
Alnus Maximowiczii Call. (AIM)	ミヤマハシノキ	3	3	—	—	—	—	—	—	—	6
Acer mono Maxim. v. (Amo)	エゾイタヤ	7	—	—	—	—	—	—	—	—	7
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
Ulmus laciniata Mayr (Ul)	オヒヨウ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
直徑級別合計		17	3	1	5	2	—	1	—	1	30

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて, 下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考
オクヤマザサ	74	高さ2.3-2.8m
ムラサキツリバナ	1	

シラネツラビ	31
オホマヒツルサウ	6
タニギキヤウ	3

X. ハヒマツ林

10¹ ハヒマツ林概相

ハヒマツ林は天鹽演習林内に於ては通常500—600m以上の山稜に生ず。時として下部蛇紋岩崩壊地に小なる純群落を生ずることあれども、群落生態學上の異型に屬す。

本林中の標準區劃地〔X. A.; X. B.〕をとりて之をパンケ山に設定せり。(第二十六圖参照)

10² ハヒマツ林標準地

〔X. A.〕ハヒマツ林：パンケ山 (5m)² 標準區劃地

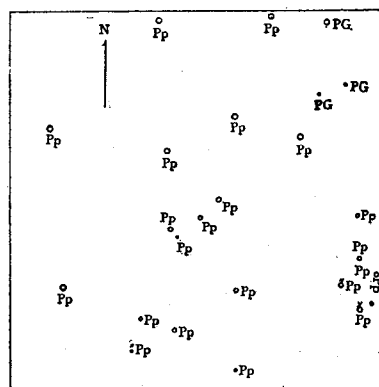
本標準區劃地はパンケ山(標高631.3m)頂上の南方距離約250米の小峯(パンケ南山)頂上近くの稍々西斜面に取れり。傾斜はW 23°, 基岩は蛇紋岩なり。

(第二十六圖参照—66頁)

パンケ山に於けるハヒマツ林はパンケ南山に於て最も良く發達し、約500米以上の上部に群落をなし、「這松の海」と稱する事を得べし。

本區劃地附近にてハヒマツに混するは、ダケカンバにして、又時に少しくアカエゾマツ、イチキの矮小樹の生ずることあり。下層はチシマザサ生ずるも疎にして、アカミノイヌツゲ、キバナシヤクナゲ等多く生じ、他にウラジロナナカマド、チシマザクラ、コエウラク、オホバスノキ、ノリノキ、ハナヒリノキ等あり。最下層にはツルツゲ、ツ

第三十三圖



○枯損 ㊦伐根 VIII. 4, 1933. 調査

ルシキミ、コケモモ、シラネワラビ、アスヒカヅラ、ウチハマンネンスギ、ミツバワウレン、コミヤマカタバミ、ゴゼンタチバナ、タカネノガリヤス等、又蔓莖類にはミヤママタタビ生ず。

今、本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに上掲の如し。(第三十三圖)

更に之を數的に表示せんに第三十九表の如し。

第三十九表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	6-7	7-8	8-9	
Pinus pumila Regel (Pp)	ハヒマツ	—	2	7	4	2	5	1	1	22
Picea Glehni Mast. (PG)	アカエゾマツ	1	1	1	—	—	—	—	—	3
直徑級別合計		1	3	8	4	2	5	1	1	25

(74)

樹高。ハヒマツ, 1—4m; アカエゾマツ, 0.6—1.6m.

尚本標準區劃地内の下層の (1m)² 小標準區劃地を取りて, 下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	植 物 名	本 數
タカネノガリヤス	60	コエウラク	8
キバナシヤクナゲ	51	オホバスノキ	8
ゴゼンタチバナ	40	ハナヒリノキ	5
コケモモ	29	ウラジロナナカマド	3
ツルツゲ	16		

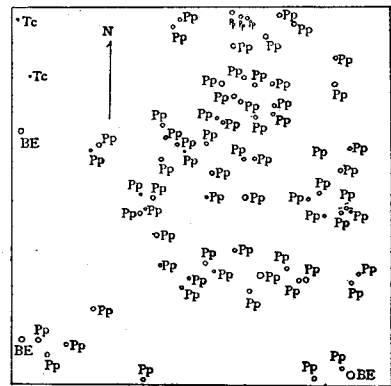
〔X. B.〕 ハヒマツ林: パンケ山 (10m)² 標準區劃地

本標準區劃地はパンケ山 (標高631.3m) 頂上の北方距離200米の瘠尾根の北稜上に取り。基岩は蛇紋岩なり。(第二十六圖参照—66頁)

此の山稜上にはハヒマツ多く生じ, 他にダケカンバ, イチキ (少) 等あり。下層はチシマザサにより占められるも, アカミノイヌツゲ, ウラジロナナカマド等の灌木混じ, 他にタカネザクラ, キバナシヤクナゲ, オホバスノキ, エゾヘウタンボク, ノリノキ, コエウラク, ハナヒリノキ等あり。最下層にはツルツゲ, ツルシキミ, ミヤマワラビ, ヒロハヒメイチゲ, コキンバイ, コミヤマカタバミ, ゴゼンタチバナ, エゾヨツバムグラ, タカネノガリヤス, ツバメオモト, オホマヒヅルサウ等, 又蔓莖類にはツルアヂサキ, ツタウルシ等生ず。本地點の東側及西側下方は, 峻阻地のダケカンバ林に移行す。

今, 本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第三十四圖)

第三十四圖



○ 枯損 VIII. 3, 1933. 調査

更に之を數的に表示せんに第四十表の如し。

第四十表

樹 種	直 徑 級 cm	胸 高 直 徑										合計
		0-1	1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	6-7	7-8	8-9	14-15	
Pinus pumila Regel (Pp)	ハヒマツ	—	3	10	17	20	11	6	2	2	—	71
Taxus cuspidata Sieb. et Zucc. (Tc)	イチキ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	3
直 徑 級 別 合 計		2	3	10	17	20	11	6	3	3	1	76

樹高。ハヒマツ, 1.5—4.5m; イチキ, 0.5—0.9m; ダケカンバ, 3—5m.

第二節 林型と水素イオン濃度

各林型の水素イオン濃度を調査せし結果は別表(第四十一表)の如きも、表中小數點以下1位のもの、Ramote-Morgan Soil Testing Set、小數點以下2位のもの、Quinhydrone Electrodeにより測定せり。林型の中、土壤酸度の最も高きは、ハヒマツ林及シナノキーミヅナラ林にして、最も低きはアカダモ-ヤチダモ-ケヤマハンノキ林の平均6.65なり。

第四十一表

林 型	土 壤		pH	備 考
	各 層	深さcm		
ヤ ナ ギ 林	地表下深さ30cmの粘土質		6.0	土壤採取地は〔I. A.〕神路標準區劃地(4頁)、天鹽川河岸沖積土なり。(IX. 13, 1933. 採取)。
	地表下深さ60cmの砂土質		5.8	
アカダモ-ヤチダモ-ケヤマハンノキ林	植物殘滓を含む黒褐色層	12	6.6	土壤採取地は〔III. A.〕天幕ノ澤標準區劃地(11頁)、河岸沖積土なり。(VII. 24, 1933. 採取)。
	淡黒褐色層 以下圓き礫生ず	50	6.7	
シナノキーオヒヨウ-イタヤ林	植物殘滓を含む黒褐色層	10	6.1	土壤採取地は〔V. B.〕天幕ノ澤帶狀標準區劃地(25頁)の始端近き所、傾斜は約30°なり。(VII. 23, 1933. 採取)。 基岩まで採掘せず。
	角礫を混ざる層 基岩—上部白亞紀頁岩	30	6.3	
シナノキーオヒヨウ-イタヤ林	A	5	6.2	土壤採取地は嘉平川第二二岐以東の方位に依る林相の變化の北東斜面、(111頁)潤葉樹林帶狀標準區劃地の始端より68米の下部、傾斜は約35°なり。(VII. 22, 1933. 採取)。
	B ₁	10	6.1	
	B ₂	12	5.8	
	C	55	6.2	
基岩—輝綠凝灰岩				
トドマツ-エゾマツ林	A ₀	5	—	土壤採取地は〔VI. C.〕箆島林道標準區劃地(38頁)、傾斜はSW 26°なり。(IX. 19, 1933. 調査)。
	A ₁	5	5.28	
	B ₁	13	5.12	
	B ₂	22	5.03	
	B ₃	10	5.09	
	C	35	4.83	
基岩—上部白亞紀頁岩				
トドマツ-エゾマツ林	植物殘滓	10	5.8	土壤採取地は嘉平川第二二岐以東方位に依る林相の變化の南西斜面、(105頁)針葉樹林の帶狀標準區劃地の始端、尾根通なり。(VII. 21, 1933. 採取)。
	角礫を混ざる層 基岩—輝綠凝灰岩	30	5.7	
トドマツ-エゾマツ林	植物殘滓	15	6.1	前記の嘉平川針葉樹林の帶狀標準區劃地の始端より30米下部、傾斜は40°なり。(VII. 21, 1933. 採取)。 以下70cmにして岩盤に達す。
	黒褐色層	15	6.2	
	帶黃黒褐色層	20	6.6	
	黄色着色層	20	6.4	
	基岩—輝綠凝灰岩			

林 型	土 壤		pH	備 考
	各 層	深さ om		
シナノキーミヅナラ林	A ₀	3	4.5	土壌採取地は〔VII. A.〕天幕ノ澤標準 區劃地 (57頁), 傾斜は E 15° なり。 (VII. 30, 1933. 採取)。
	A ₁	5	4.5	
	A ₂	7	4.6	
	B	15	4.7	
	C	100	5.3	
基岩—上部白亜紀頁岩				
ダケカンバ林	A ₀	5	—	土壌採取地は〔IX. C.〕バンケ山標準 區劃地 (63頁), 傾斜は E S 19° なり。 (VII. 6, 1933. 採取)。
	A ₁	15	5.20	
	A ₂	20	5.71	
	B	55	5.10	
	C	85	5.02	
基岩—蛇紋岩				
ハヒマツ林	植物残滓	33	—	土壌採取地は〔X. A.〕バンケ山標準 區劃地 (73頁), 傾斜は W 23° なり。 (VII. 4, 1933. 採取)。
	角礫を混ざる黑色層	20	4.93	
	基岩—蛇紋岩			

第三節 樹 齡 調 査

第 四 十 二 表

樹 種	胸高直徑 cm		根本直徑 cm		樹齡 年	樹高 m	枝下 m	備 考
	N-S	E-W	N-S	E-W				
ナカバヤナギ	24.0	21.0	27.0	26.0	18	12.20	—	神路 ヤナギ林
同	13.0	11.8	15.4	15.0	10	10.65	—	同
シラカンバ	27.8	28.0	33.1	30.4	101	19.00	9.50	熊ノ澤 混淆林
ダケカンバ	41.4	42.8	50.0	46.0	172	17.20	4.60	挿鉢山 ダケカンバ林
同	30.0	30.2	33.0	40.8	157	11.45	4.60	バンケ山 ダケカンバ林
同	18.4	20.1	26.7	29.3	86	11.20	3.90	同
同	10.8	11.2	16.3	17.8	76	5.70	3.80	同
ケヤマハンノキ	25.0	24.2	27.4	30.7	79	14.00	4.70	挿鉢山
ミヅナラ	15.0	11.0	14.0	13.5	48	10.70	3.00	天幕ノ澤標準區劃地 ミヅナラ —シナノキーダケカンバ林
同	—	—	21.7	21.2	77	13.20	2.90	挿鉢山 ミヅナラ—シナノキー ダケカンバ林
アカダモ	19.4	18.5	28.1	24.8	82	10.50	3.00	熊ノ澤 アカダモ—ヤチダモ— ケヤマハンノキ林

樹種	胸高直徑 cm		根本直徑 cm		樹齡 年	樹高 m	枝下 m	備考
	N-S	E-W	N-S	E-W				
オヒヨウ	23.0	22.6	33.0	27.8	53	14.50	3.80	三澤山北稜東斜面 潤葉樹林
ホホノキ	22.1	21.0	22.5	24.5	59	14.50	5.00	播鉢山
同	19.0	20.0	24.0	26.3	85	17.00	8.00	音威子府 シナノキーオヒヨウ ーイタヤ林
ナナカマド	18.0	16.0	22.7	21.3	87	9.70	1.90	播鉢山
シウリザクラ	27.1	26.4	40.7	27.2	99	12.50	2.50	三澤山北稜東斜面 潤葉樹林
同	25.0	22.0	27.1	24.5	93	14.20	2.60	播鉢山
ヒロハノキハダ	34.0	27.5	37.0	42.3	103	11.20	6.00	同
同	25.6	21.6	27.9	28.0	104	17.0	5.20	熊ノ澤 混淆林
エゾイタヤ	20.4	17.4	19.4	27.4	137	13.50	4.50	音威子府 シナノキーオヒヨウ ーイタヤ林
ベニイタヤ	20.4	20.0	25.4	25.5	89	13.90	4.95	熊ノ澤 混淆林
シナノキ	—	—	34.3	36.0	127	12.00	1.80	播鉢山 ミヅナラーシナノキー ダクカンバ林
同	32.3	29.6	28.5	43.8	69	18.40	8.0	音威子府 シナノキーオヒヨウ ーイタヤ林
コシアブラ	20.0	20.2	24.2	25.4	75	12.35	4.85	熊ノ澤 混淆林
センノキ	37.4	38.2	40.3	44.3	102	13.40	2.60	播鉢山
ヤチダモ	31.0	31.4	39.2	36.4	144	26.0	15.7	熊ノ澤 アカダモーヤチダモ ーケヤマハンノキ林

第四十三表

樹種	胸高直徑 cm		根本直徑 cm		樹齡 年	樹高 m	樹下 m	備考
	N-S	E-W	N-S	E-W				
ハビマツ	2.10	2.00	4.10	4.20	48	2.20	1.05	パンケ南山北面
同	4.20	3.80	6.20	6.90	69	3.70	1.65	
同	3.80	4.10	6.30	7.70	81	2.32	0.76	
同	8.20	9.00	13.50	13.20	84	3.90	0.42	
同	7.12	7.20	7.90	8.60	86	3.75	1.86	
同	5.00	4.80	7.90	7.80	88	4.00	1.80	
同	4.80	5.10	8.60	8.60	93	3.10	0.52	
同	7.25	7.10	9.30	9.20	94	3.41	0.47	
同	6.00	5.80	9.80	10.50	98	5.00	0.40	

樹種	胸高直徑 cm		根本直徑 cm		樹齡 年	樹高 m	枝下 m	備考
	N-S	E-W	N-S	E-W				
ハビマツ	2.40	3.30	4.10	4.00	42	1.98	0.80	パンケ南山南面
同	3.10	3.20	4.90	4.80	54	2.18	0.80	
同	3.40	3.20	3.80	3.70	44	3.15	0.50	
同	3.20	4.00	6.30	6.20	62	3.40	0.40	
同	3.30	3.10	5.30	6.20	64	2.57	0.58	
同	4.20	4.40	5.90	6.10	71	2.46	1.30	
同	4.40	4.00	6.10	6.20	73	2.70	0.66	
同	4.30	4.80	9.50	9.50	76	2.10	0.47	
同	4.30	4.40	10.20	9.90	82	3.30	0.23	
同	4.00	4.10	5.60	5.90	85	2.80	1.86	

第四節 根系調査

本調査は各林型の代表樹の根系を調査せんとし、ヤナギ林にてキヌヤナギ；アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林にてアカダモ；トドマツ—エゾマツ林にてトドマツ；シナノキ—オヒョウ—イタヤ林にてシナノキ；シナノキ—ミヅナラ林にてミヅナラ；ダケカンバ林にてダケカンバの六種の根系を調査し之を圖示せり。

後述の如く、調査地の立地にては、アカダモ、シナノキ、ダケカンバ等は浅根性にして、ミヅナラ、トドマツ等は深根性なり。またトドマツの根系の基岩割目に浸入せるは注目すべき事なり。尙キヌヤナギは、屢々の洪水汎濫の爲、泥土堆積により根部の埋没せられ、多く下流の方向に可定根を生ぜるも興味ある事なり。

1. キヌヤナギ (*Salix yezoensis* Kimura) 根系

發掘箇所は〔I. A.〕神路標準區劃地(4頁)天鹽川沿岸の低地沖積土上にして、水面より約20米を距つ。早春融雪時には2m位増水し泥流に洗はるる事あり。

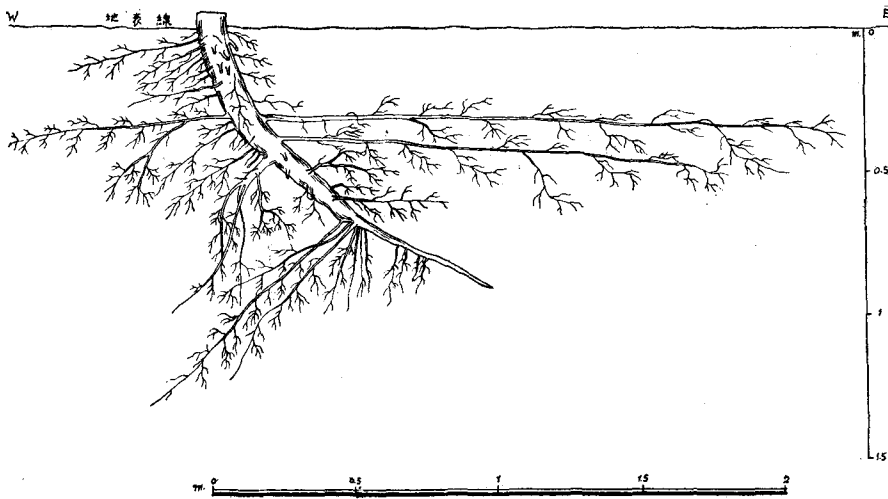
供試木は胸高直徑南北7.2cm, 東西7.0cm; 樹高9.7m; 枝下2.6m; 樹冠の幅3.4mなり。

天鹽川に略々平行に根掘せるが、屢々起る洪水汎濫により泥土を推積し、根部は次第に埋没せらるれども、埋没せられし所より可定根をよく生じ、根系は上流に向ひ斜走し、地表下65cmにて急に細くなり、概ね80cmに至れば腐朽し、90cmにては分解し根の形骸を留めず。細き可定根はよく網目状に生ず。

根系は下流の方向のものよく發達し、掌状に細毛生じ、最深は地表下1.3mに達す。

上流に伸長せるものは大なるもの2本ありて、最長のもの地表下30cmを地表に平行に走り長さ2.2mに達す。

第三十五圖



2. アカダモ (*Ulmus propinqua* Koidz.) 根系

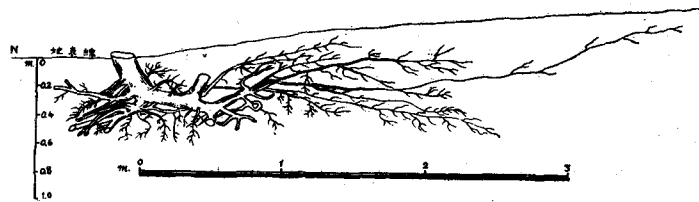
發掘箇所は〔III. A.〕天幕ノ澤標準區劃地 (11頁) の東南方70米の地點、天幕ノ澤南岸、流邊より3.8米を距て、流面より約1米高き沖積土上に在り。本地點は、地表より約60厘米に至れば、礫多く生じ、水分に富めり。

供試木は胸高直徑南北 4.3 cm, 東西4.1cm; 樹高2.3m; 枝下 1.3m; 樹冠の幅3.6mなり。

本樹種は淺根性にして、主として地表下 20—60cm の間を

側根横走し、最長3.8mに達し、下方に向へる小なる根は60cmに達す。(第三十六圖)

第三十六圖



3. トドマツ (*Abies sachalinensis* Fr. Schm.) 根系

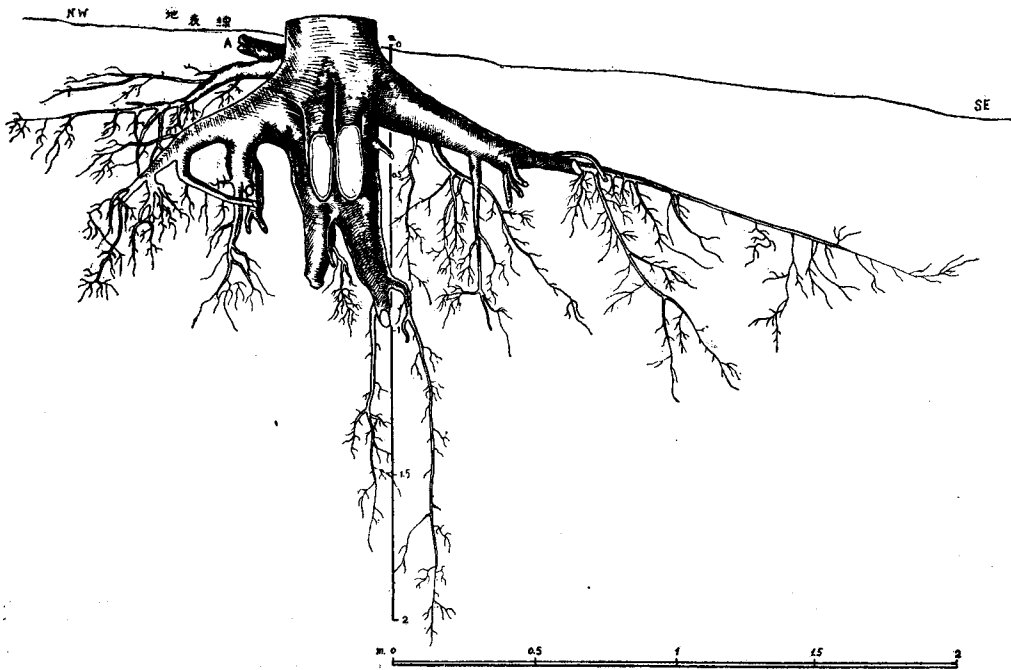
發掘箇所は〔VI. C.〕箴島林道標準區劃地 (38頁) にして傾斜 SW 21°, 基岩は上部白亞紀頁岩なり。

本地點は地表より10cmまでの間は腐植土層、それ以下45cmの間は帶黃褐着色層、地表より1.3mにして基岩に達す。

供試木は胸高直徑南北20.4cm, 東西23.4cm; 樹高22.75m; 枝下7.8m; 樹冠の幅4.8mなり。

本樹種は著しく深根性にして、太き抗根は地表下80cmにて二分岐し、更にその先端は岩盤の割目に入り、2.1mに達するものあり。支持根の長さものは2.1mに達し、また側根よりは垂下根をよく生ず。尙傾斜に浴ひ上向横走し、その長さ3.5mに達するものあり。(A) (第三十七圖)

第三十七圖



4. シナノキ (*Tilia japonica* Simk.) 根系

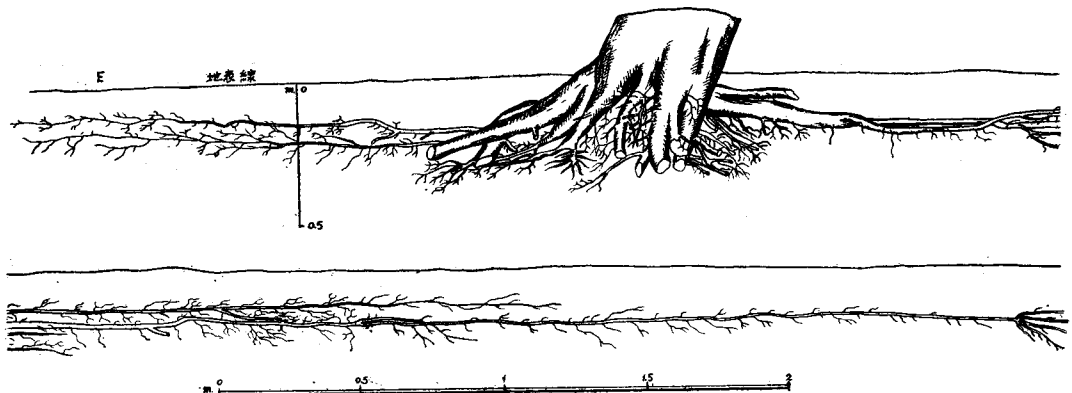
發掘箇所は三澤山北稜の東斜面潤葉樹林(第三章第一節の三澤山試験地参照—96頁)にして、傾斜約13°の緩斜地、基岩は上部白亜紀頁岩なり。

本地点は地表より25cmまでは腐植土層にして、それ以下は帯黄着色層、地表より80cm掘り下げしが岩盤に達せず。

供試木は胸高直徑南北24.7cm、東西29.6cm; 樹高15m; 枝下5m; 樹冠の幅8mなり。

本樹種は著しく淺根性にして、根基部より多くの大なる側根を生じ、地表下30cmまでの間を地表に平行に横走し、それより更に小なる側根を多く出し、最長なるもの5.5mに達し、末端は掌狀に分岐す。(第三十八圖)

第三十八圖



5. ミヅナラ (*Quercus crispula* Bl.) 根系

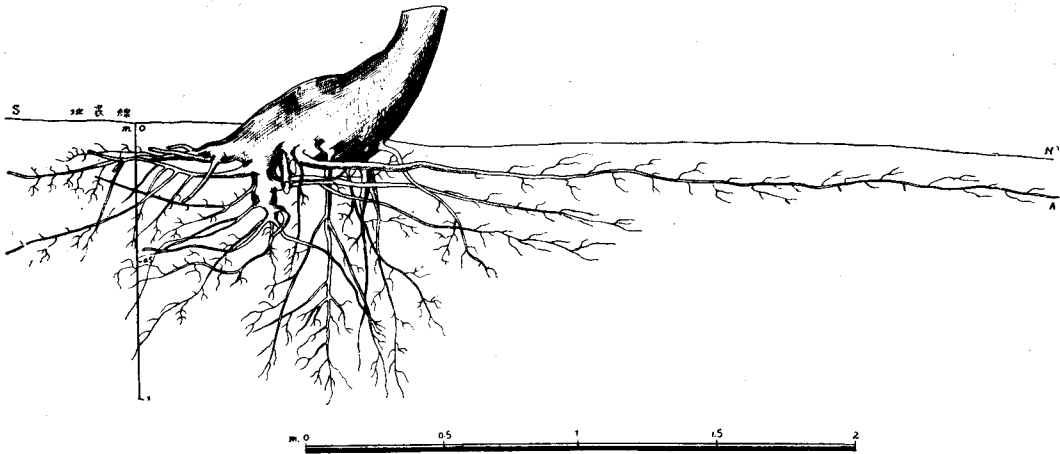
發掘箇所は〔VIII. A.〕天幕ノ澤標準區劃地(11頁)にして傾斜 E 15°, 基岩は上部白亞紀頁岩なり。

本地點は地表より60cmにして礫出で來り, 1.3mにて岩盤に達す。

供試木は, 胸高直徑南北15cm, 東西11cm; 樹高107m; 枝下3m; 樹冠の幅4.8mなり。

本樹種は稍々深根性にして, 太き抗根は下方に20cm進み, 急に細くなり, 多くの斜入する小側根を生ず。また細き直根よく生じ, 地表下1mに達す。地表下30cmの腐植土層の間を側根横走し, 長さもの(A)は6.4mに達し, また地表下20cmの間を横走するもの(B)は2.8mに達す。(第三十七圖)

第三十九圖



6. ダケカンバ (*Betula Ermani* Cham.) 根系

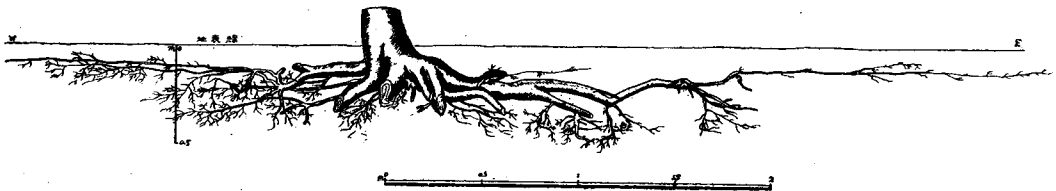
發掘箇所は三澤山東稜350mの潤葉樹林中にして尾根筋の平坦地, 基岩は蛇紋岩なり。

本地點は地表より40cmまで腐植土層, それより以下20cmまでは蛇紋岩の淡青黄色風化層にして, それより以下にては岩塊現はる。

供試木は胸高直徑南北14cm, 東西14cm; 樹高13.6m; 枝下9m; 樹冠の幅3mなり。

本樹種は淺根性にして, 根基部より多くの大なる側根を出だし, 支持根の用をなし, 地表下40cmまでの腐植土層の間を地表に略々平行に走り, 最も長さもの3.5mに達す。下方に進む根は僅かに小なるもの及側根より生ずる垂下根あるのみにして地表下50cmに達す。(第四十圖)

第四十圖



第二章 高度に依る林相の變化

第一節 高度に依る林相變化の概説

高度に對する各林型の關係を略述せんに、ヤナギ林、ヤチハンノキ林、アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林等は、高距低き河岸の沖積土上に分布し、殊にヤナギ林は河岸に、ヤチハンノキ林は葦沼野と群落推移關係を有して發達す。

ミヅナラ林は高距100m前後の丘陵下部平原に近き所に存在す。

シナノキーオヒヨウ—イタヤ林は高距100—300mの溪側山腹斜面に生じ、トドマツ—エゾマツ林は高距100—400m、針葉混淆林は針葉樹林に平行して展開するも、其の分布は針葉樹林に比較して廣し。但し其の上部と下部とに於ては混淆樹種を異にす。

之等針葉樹林の上部にシナノキー—ミヅナラ林ありて、時に500mを越ゆ。而して本林型は北見西側山脈に於ける特徴ある林相なり。

更に上部にダケカンバ林出現し、最高部にてはハヒマツ林出現し、500—600m以上の山岳頂上附近に分布す。

ミヤマハンノキ林の發達は著しきものなく、僅かに上部溪側及凹地に生ずるのみ。

更に森林施業限界に關係あるダケカンバ林及ハヒマツ林に付、概説すべし。

I. ダケカンバ林：

A. 第一演習林に於ける分布

1. 北見線東側國境附近 (陸地測量部五分之一
音威子府圖幅參照)

△499.6mより標高480m、等高線尾根附近に至る天鹽北見國境附近には、ダケカンバ林は旺盛なるオクヤマザサ(高さ3—4m)と共に發達し、胸高直徑50—70cm、樹高14m前後のものあり。尙大體國境線に沿ひ、300m以上には屢々細き帶狀にダケカンバ林を生ずるも、北上して山稜低くなるに従ひ、ダケカンバの分布高度低くなり、北方演習林界標高238mまで分布す。

2. 三澤山附近(同上圖參照)

三澤山南北山稜に於ては、略々400m以上の處にダケカンバ林生じ略々帶狀に連互す。

3. 音威子府川本流上流國境線附近 (陸地測量分五萬分之一
響平圖幅參照)

音威子府川本流上流國境線上400m前後に於てダケカンバ林散在す。又音威子府川本流の上流と頓別坊川上流に介在する南北山稜に於てはダケカンバ林は400m以上に帶狀に連互す。

4. 頓別坊川上流西側山稜(同上圖幅參照)

頓別坊川上流西側山稜△544.7mにては500m以上にダケカンバ林生じ、北方に延びる尾根筋

を細長き帯状をなして國境に至る。

5. ペチクンナイ澤上流附近 (同上圖幅参照)

ペチクンナイ澤上流を廻れる山稜にては400m以上の尾根筋にダケカンバ林發達す。

6. ペンケ山 (同上圖幅参照)

ペンケ山 (標高716.3m) にては500m以上にダケカンバ林發達し、600mに至る。またペンケ山の尾根續き、東南方峯頭440m附近に於てもダケカンバ林生ず。

7. パンケ山 (陸地測量部五萬分之一
敏音知圖幅参照)

パンケ山 (標高631.3m) に於ては400m以上にダケカンバ林發達し、北方天鹽北見國境線上(392m)に至る。

B. 第二演習林に於ける分布

1. 播鉢山 (同上圖幅参照)

播鉢山 (標高482m) に於ては略々400m以上にダケカンバ林發達す。

2. 知駒岳 (同上圖幅参照)

知駒岳 (標高532m) にては400m以上にダケカンバ林生じ、頂上を北方に距る800米國境線附近より概林は帯状となり、東北方の山稜傳ひ山頂より距離2500米の地點に及ぶ。

3. イソサンヌプリ山 (陸地測量部五萬分之一
上猿沸圖幅参照)

イソサンヌプリ山 (標高581m) にては400m以上にダケカンバ林生じ、南方は中峯の平(488m)の東方の國境まで、北方は距離約1000米の間まで分布す。

4. 西方演習林境界附近

△265m (陸地側量部五萬分之一豐富圖幅参照トイカンベツ川のトの字の北方) 附近より問寒別川支流ケナシボロ上流演習林界に至る南北の山稜にては、ダケカンバ林は略々細き帯状をなして分布す。

5. ヌカナン川上流△272.4m附近 (陸地測量部五萬分之一
雄信内圖幅参照)

問寒別川支流ヌカナン川上流△272.4mより南方尾根附近にはダケカンバ林生ず。

II. ハヒマツ林：

A. 第一演習林に於ける分布

1. ペチクンナイ澤上流村界附近

ペチクンナイ澤上流村界線上山稜520m以上に團狀に分布す。

2. ペンケ山

ペンケ山 (標高716.3m) にては600m以上に群落をなして生じ、下方はダケカンバ林に移行す。

3. パンケ山

パンケ山 (標高631.3m) に於ては南方にては500m以上に、北方にては600m以上にハヒマツ林生ず。

B. 第二演習林に於ける分布

1. 知駒岳

知駒岳 (標高532m) にては520m以上にハヒマツ群落をなし、國境線に沿ひ細き帯狀をなし北方山頂より距離700mの地點に至る。

2. イツサヌプリ山

イツサヌプリ山 (標高581m) にては嘗て山頂にハヒマツ林在存せしが、山火の爲焼失せり。其南方距離約300mの尾根には540m以上にハヒマツ林生ず。

3. イツサヌプリ山北方△356.5m附近國境筋320m以上にてはハヒマツ林團狀に生ず。

第二節 パンケ山に於ける高度に依る林相の變化

パンケ山は標高631.3m、天鹽北見國境線上に聳え、天鹽川の支流なるパンケナイ川の上流流域に位し、天鹽第二演習林南部に在り。(第二十六圖參照—66頁)

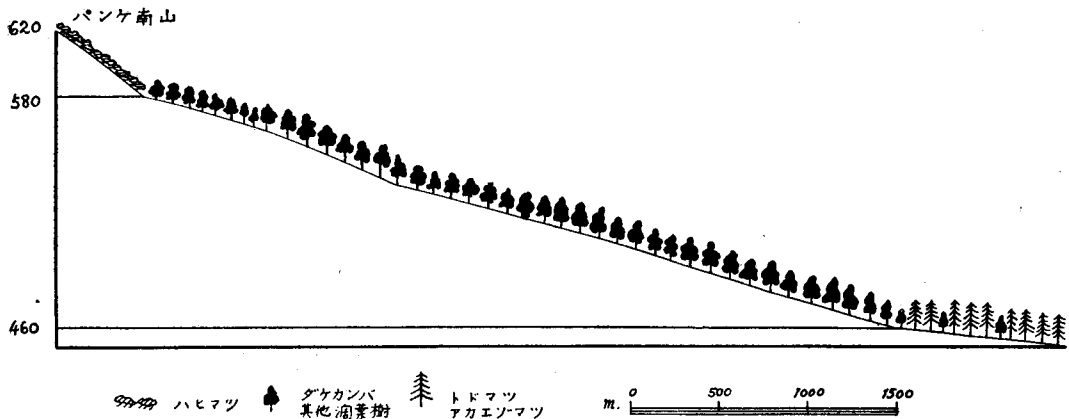
而してパンケ山は標高(631.3m)に比し、上部植物景觀高山相を帶び、略々500—600m以上にてはハヒマツの群落を見る。特にパンケ山南山(パンケ山三角點の南方距離250米の小峯)に於ては、ハヒマツ林最も良く發達し、殊に南面及西面に於て著し。それより下部にてはダケカンバ林出現し、400m以下に至れば針葉樹林及針濶淆林に移行す。基岩は蛇紋岩なり。

パンケ山に於て高度による林相の變化を研究せんが爲にパンケ山南山頂上より東方國境線劃分に

第四十一圖

(6×600m)² 帶狀標準區劃地斷面圖

(パンケ山に於ける高度による林相の變化)



沿ひて(6×600m²)帯狀標準區劃地を取れり。略圖は第四十一圖(84頁)の如し。

本帯狀標準區劃地内に於ては約580m以上にはハヒマツ林生じ、それより下部460mまではダケカンバ林にして、460mより下部にては針葉樹林に移行す。

パンケ南山580m以上のハヒマツ多く生ずる所は、傾斜38°の峻阻地にして、稀にダケカンバ、アカエゾマツ等の矮樹混す。下層はチシマザサ(高さ1—2m)優勢なるも、アカミノイヌツゲ、キバナシヤクナゲ等又多く生じ、其の他ウラジロナナカマド、タカネザクラ、エゾクロウスゴ、コエウラク、ムシカリ、ハナヒリノキ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、コケモモ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ミヤマワラビ、アスヒカヅラ、ウチハマンネンスギ、ヒカゲノカツラ、ミツバワウレン、イハツツジ、ゴゼンタチバナ、コミヤマカタバミ、オホマヒヅルサウ等生ず。

ハヒマツ林よりダケカンバ林への移行地點(傾斜42°)の下層には次の如きもの生ず。

オクヤマザサ(高さ2.4m)、ヒロハツリバナ、ノリノキ、ツルシキミ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ミヤマワラビ、トゲナシゴエフイチゴ、ミヤマスミレ、シラオヒハコベ、タニギキヤウ、エゾヨツバムグラ、オホマヒヅルサウ、オホバタケシマラン、ツバメオモト等。

ダケカンバ林は高度460—580mの間に存在し、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等を混じ、又凹地にはミヤマハンノキの群生する所あり。緩斜地及急斜地にして、下層はオクヤマザサ(高さ2.5—3.3m)密生し、灌木にはムシカリ、タカネザクラ、ノリノキ、ヒロハツリバナ、エゾアヂサキ、コエウラク、エゾクロウスゴ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、ハヒイヌツゲ、ナニハヅ、シラネワラビ、ミヤマワラビ、ヒロハヒメイチゲ、ルキエフシヤウマ、トゲナシゴエフイチゴ、サンカエフ、クルマムグラ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、スゲ類、オホマヒヅルサウ、アリダウシラン等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、ミヤママタタビ等生ず。

460m(高度)より下部に到れば、國境沿山稜の緩斜地の針葉樹林となり、トドマツ、アカエゾマツ等多く生じ、又イチキ混じ、潤葉樹にはダケカンバ、ナナカマド、ミヤマハンノキ、シナノキ等あり。下層はオクヤマザサ(高さ2.3m)により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾクロウスゴ、コエウラク、ハナヒリノキ、オホバスノキ、エゾユヅリハ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、ハヒイヌツゲ、シラネワラビ、ミヤマワラビ、ゼンマイ、ワラビ、オホバシヨリマ、ヒロハヒメイチゲ、エゾシヤウマ、サンカエフ、トゲナシゴエフイチゴ、ミミカウモリ、ゴゼンタチバナ、セウゼウスゲ、ヌカボシサウ、オホマヒヅルサウ、エゾバイケイサウ、コイチエフラン等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第四十四表)

第四十四表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ハヒマツ	—	0.10	0.50	6.4	6.8	2.50	0.50	
同	—	0.80	1.00	4.8	4.6	4.00	1.00	
同	—	0.85	1.10	4.4	4.2	2.50	0.50	
同	—	1.25	1.30	9.8	9.6	4.00	2.00	
ウラジロナナカマド	—	1.65	1.50	—	—	1.50	0.60	
ハヒマツ	—	2.00	1.50	5.2	7.8	2.50	0.60	
同	—	1.40	1.75	6.4	5.8	3.50	1.70	
同	—	2.40	1.80	6.8	6.2	4.50	2.00	
同	—	0.60	2.20	10.0	10.8	3.50	0.70	
同	—	0.90	2.80	6.2	5.4	3.00	1.00	
同	—	1.35	3.30	6.3	4.6	3.00	0.70	
同	—	2.20	4.20	4.0	4.8	2.50	0.60	
同	—	1.78	4.50	6.4	6.6	4.00	1.30	
アカミノイヌツゲ	—	1.97	5.60	—	—	1.00	0.50	
同	—	1.80	5.85	—	—	1.20	0.56	
ダケカンバ	—	0.45	6.00	3.4	4.6	3.50	2.00	
ハヒマツ	—	2.53	6.45	3.4	3.0	1.80	0.40	
アカエゾマツ	—	0.45	6.70	2.6	2.4	1.30	0.60	
ハヒマツ	—	0.95	6.70	4.2	4.0	3.00	0.50	
アカミノイヌツゲ	—	1.46	6.90	—	—	1.5	0.80	
ダケカンバ	—	2.82	7.00	3.2	2.8	1.80	0.60	
ノリノキ	—	1.20	7.10	—	—	1.50	0.30	
ハヒマツ	—	0.86	7.50	8.0	9.4	5.00	1.80	枯損
アカミノイヌツゲ	—	2.35	7.70	—	—	1.50	0.50	
ハヒマツ	—	0.87	7.85	3.8	4.0	1.80	0.50	
同	—	2.50	7.95	5.2	5.0	2.00	0.70	枯損
ウラジロナナカマド	—	2.80	7.95	2.8	2.8	2.50	1.30	
アカミノイヌツゲ	—	1.00	8.00	—	—	1.50	0.80	
ハヒマツ	—	2.67	8.00	10.2	10.3	4.00	1.80	
同	—	2.45	8.80	9.2	8.8	3.50	1.70	
アカミノイヌツゲ	—	2.12	9.00	—	—	1.30	0.60	
ハヒマツ	—	1.55	9.50	4.8	5.2	2.00	0.60	枯損
同	—	1.60	10.10	8.2	7.6	4.00	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	アカミノイヌツゲ	—		0.65	10.40			
同	—	1.10	10.75	2.8	2.0	2.00	1.00	
同	—	1.57	10.75	—	—	1.30	0.50	
同	—	1.40	10.80	—	—	1.50	1.00	
ハヒマツ	—	2.53	11.10	5.2	5.8	2.50	0.50	
同	—	2.70	11.65	4.4	4.6	2.50	1.30	
同	—	0.53	11.90	5.8	6.0	2.50	0.60	枯損
同	—	2.36	11.90	6.5	6.8	3.00	1.50	
同	—	1.12	12.00	4.2	4.2	4.00	1.50	
同	—	3.00	12.40	5.4	5.6	3.50	1.70	
同	—	3.00	12.60	3.8	4.0	2.00	0.70	
アカミノイヌツゲ	—	0.50	13.50	—	—	1.00	0.40	
同	—	0.60	13.55	3.2	3.2	2.00	1.00	
同	—	2.60	13.65	—	—	2.40	0.60	
ハヒマツ	—	2.00	13.75	3.0	2.5	3.00	0.50	枯損
アカミノイヌツゲ	—	1.16	13.80	—	—	0.80	0.50	
ハヒマツ	—	1.70	14.60	6.2	7.8	3.50	1.30	
同	—	2.53	15.00	4.8	5.0	2.00	0.60	
アカミノイヌツゲ	—	2.57	15.50	—	—	0.90	0.40	
ハヒマツ	—	3.00	15.50	4.2	3.8	2.50	—	枯損
同	—	2.60	17.00	4.2	4.4	2.30	0.80	
同	—	2.40	17.90	7.8	8.2	3.50	1.50	枯損
同	—	1.20	18.00	5.0	4.8	1.80	1.30	
同	—	1.00	21.00	7.0	6.6	2.40	1.00	
同	—	3.00	21.00	7.4	6.8	3.80	1.00	
同	—	1.00	21.40	8.4	9.0	4.00	1.40	
同	—	3.00	21.90	5.6	5.8	2.00	1.30	枯損
同	—	0.50	22.00	4.2	4.4	4.00	0.50	
同	—	2.30	22.00	3.4	3.2	2.50	0.60	
同	—	2.80	23.00	3.5	3.0	2.00	0.70	
同	—	2.90	23.00	5.8	5.9	4.00	2.35	
同	—	2.80	24.00	3.4	3.4	2.50	1.00	
同	—	0.60	22.10	4.8	5.0	3.50	0.60	
同	—	1.30	26.00	6.2	5.8	4.50	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ハヒマツ	—		2.80	27.00			
同	—	3.00	27.00	5.5	5.8	2.50	0.60	
同	—	0.10	27.30	6.2	6.4	4.50	1.30	
同	—	2.56	27.50	4.0	4.0	1.80	0.70	
同	—	1.55	28.30	8.2	7.6	4.00	1.00	
同	—	0.10	29.50	3.0	3.2	2.00	0.50	
同	1.80	—	30.05	3.1	4.5	3.00	1.00	
同	0.55	—	30.10	2.0	2.0	2.50	1.00	
同	0.95	—	30.15	3.0	3.4	3.00	1.20	
アカミノイヌツゲ	0.20	—	32.20	—	—	0.70	0.30	
ハヒマツ	1.25	—	32.20	6.6	6.0	2.50	1.00	
同	1.10	—	32.30	2.3	2.4	1.00	0.60	枯損
ダケカンバ	1.80	—	32.80	3.8	3.6	2.00	0.50	
アカミノイヌツゲ	2.10	—	32.85	—	—	0.80	0.40	
ウラツロナナカマド	2.35	—	32.90	—	—	1.20	0.40	
ハヒマツ	2.70	—	33.00	5.2	5.0	2.50	0.60	
同	1.00	—	33.20	6.8	7.2	4.00	0.20	
同	0.97	—	33.40	4.8	5.2	3.00	1.00	
アカミノイヌツゲ	0.52	—	34.00	—	—	0.80	0.20	
同	2.25	—	34.20	—	—	1.30	0.50	
ハヒマツ	1.10	—	34.30	4.0	4.0	2.00	0.50	枯損
同	1.00	—	35.00	6.8	7.0	4.50	2.00	
同	2.15	—	35.20	7.6	7.8	3.50	1.00	
同	2.10	—	35.25	2.8	2.5	1.50	0.80	枯損
同	1.80	—	35.30	4.0	3.8	4.00	1.50	
同	2.65	—	36.60	5.2	5.3	2.50	1.30	
同	3.00	—	36.65	9.0	8.5	4.00	2.00	
同	1.45	—	36.75	6.2	6.0	3.00	0.60	
同	2.70	—	37.00	6.8	7.2	3.50	1.30	
アカミノイヌツゲ	1.60	—	38.00	—	—	0.60	0.20	
ハヒマツ	0.47	—	38.50	7.4	7.6	4.50	2.00	
同	2.60	—	38.50	6.2	6.6	2.50	1.40	
同	0.60	—	38.60	8.2	8.4	3.00	1.50	
同	2.80	—	38.70	7.2	6.4	3.50	0.40	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ウラジロナナカマド	0.49	—	38.70	—	—	1.50	0.60	
ハヒマツ	0.90	—	38.78	4.2	4.2	2.50	1.00	枯損
ナナカマド	0.65	—	38.90	—	—	1.80	0.80	
アカミノイヌツゲ	0.90	—	38.90	—	—	1.00	0.40	
同	0.39	—	38.95	—	—	1.20	0.50	
ハヒマツ	0.32	—	39.40	8.6	8.8	4.50	2.00	
アカミノイヌツゲ	1.15	—	39.85	—	—	0.90	0.40	
ハヒマツ	2.20	—	40.00	7.6	6.8	4.50	1.50	
アカミノイヌツゲ	2.64	—	40.30	—	—	1.00	0.40	
同	2.30	—	41.20	—	—	1.20	0.50	
ハヒマツ	2.76	—	41.55	4.8	4.7	2.50	0.50	
タカネザクラ	1.60	—	42.15	—	—	1.50	0.60	
アカミノイヌツゲ	2.79	—	42.70	—	—	1.40	0.50	
ダケカンバ	1.80	—	42.85	—	—	1.20	0.80	
タカネザクラ	1.20	—	44.00	—	—	2.00	0.60	
ハヒマツ	1.95	—	44.00	10.0	10.0	3.80	2.00	
アカミノイヌツゲ	2.20	—	44.00	—	—	1.60	1.00	
チシマザクラ	0.93	—	44.10	7.8	8.2	3.50	1.00	
ハヒマツ	1.90	—	44.50	6.0	5.8	3.00	0.40	
ダケカンバ	0.10	—	45.00	5.2	5.2	3.00	1.60	
タカネザクラ	1.27	—	45.30	6.6	6.8	2.50	1.30	枯損
ハヒマツ	2.53	—	45.40	5.2	5.5	2.00	0.50	
同	2.80	—	45.40	4.0	4.0	1.80	0.60	
タカネザクラ	1.00	—	45.90	—	—	2.50	1.00	枯損
ハヒマツ	1.90	—	46.70	6.5	6.5	2.00	0.60	
同	1.72	—	47.40	6.8	7.2	4.50	2.00	
アカミノイヌツゲ	1.30	—	47.80	—	—	1.60	0.60	
ハヒマツ	2.82	—	47.80	5.2	5.4	3.00	1.20	
アカミノイヌツゲ	0.90	—	48.00	—	—	1.50	0.70	
同	1.29	—	48.10	—	—	1.30	0.70	
ハヒマツ	2.35	—	49.30	8.4	8.6	4.00	1.50	
同	0.50	—	50.00	7.0	7.0	5.50	3.00	
同	0.60	—	52.00	6.0	6.0	4.00	1.00	
同	2.63	—	52.00	4.0	4.2	2.50	1.30	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ハヒマツ	0.90	—	53.00	5.2	4.8	3.20	1.20	
同	1.14	—	53.00	8.8	8.5	3.00	1.00	
アカミノイヌツゲ	2.90	—	53.50	—	—	0.80	0.45	
同	2.56	—	53.70	—	—	2.00	1.30	
ハヒマツ	2.51	—	53.90	10.0	9.8	5.00	2.20	
同	2.14	—	55.20	3.6	4.2	3.00	1.00	枯損
同	1.43	—	56.15	6.6	6.5	2.50	1.50	
同	1.44	—	56.20	5.0	5.0	2.00	1.30	
同	2.60	—	56.25	4.5	4.2	2.50	1.10	
同	1.70	—	57.15	3.0	2.2	2.30	1.20	
同	0.10	—	57.25	5.5	5.5	4.00	1.60	
同	1.44	—	57.30	4.6	4.8	2.30	0.50	
同	1.60	—	60.00	7.2	6.8	4.00	1.50	
同	0.90	—	61.20	3.8	4.6	3.00	1.10	
同	2.00	—	61.50	3.0	3.2	2.50	1.30	
同	2.86	—	62.00	5.8	6.2	3.50	0.60	
ダケカンバ	—	2.30	69.00	10.8	10.2	7.50	1.20	
同	—	1.80	69.30	5.4	5.2	4.00	1.70	
同	—	1.15	70.00	9.0	9.2	6.00	1.60	
ミヤマハンノキ	—	0.20	73.00	9.0	9.0	6.00	1.50	
同	—	0.50	73.00	8.2	8.5	7.00	2.50	
同	—	1.00	73.00	6.8	6.8	5.00	2.50	
同	—	1.40	73.00	10.0	10.8	6.50	2.30	
同	—	0.90	77.50	6.3	6.8	4.20	1.80	
同	—	0.30	77.80	6.0	6.0	2.00	0.50	枯損
ダケカンバ	0.50	—	80.00	37.0	37.0	12.00	4.00	
同	0.75	—	80.50	21.3	20.2	10.00	4.50	
同	0.90	—	81.00	10.5	9.0	4.00	2.00	枯損
ミヤマハンノキ	—	2.00	86.00	15.0	17.0	9.50	—	枯損
同	—	2.85	88.50	14.0	13.2	4.50	2.00	
同	—	0.57	89.10	7.0	8.2	6.00	2.50	
同	—	1.40	89.80	4.3	4.6	3.50	1.20	
ダケカンバ	0.70	—	96.50	17.0	19.0	7.50	3.50	
同	2.00	—	96.80	7.0	7.8	4.00	3.00	枯損

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ダケカンバ	—		1.50	108.00			
同	—	3.00	111.00	20.0	22.0	9.00	3.50	
同	—	2.90	112.00	12.0	12.0	6.00	3.00	枯損
同	0.30	—	113.60	20.5	28.0	9.00	4.00	
同	—	3.00	136.00	15.0	15.0	6.50	2.50	
同	—	2.50	138.00	7.8	8.0	4.70	2.50	枯損
同	—	3.00	138.00	10.5	12.0	5.50	1.80	
同	1.80	—	176.00	5.4	5.4	4.00	1.50	
同	6.00	—	179.40	4.0	3.8	3.70	1.80	
同	4.30	—	182.00	3.2	2.8	3.30	—	中折
同	3.00	—	186.00	4.2	4.8	3.40	1.60	
同	4.50	—	186.00	3.0	3.2	3.30	2.00	
同	0.10	—	189.10	—	—	0.30	—	
タカネザクラ	5.90	—	200.00	—	—	1.40	0.30	
ダケカンバ	6.00	—	200.00	40.0	45.0	7.00	3.40	
同	5.10	—	201.10	—	—	1.20	—	
同	5.90	—	201.15	—	—	1.50	0.50	
同	4.60	—	201.40	—	—	1.50	—	
シナノキ	0.20	—	201.50	—	—	0.50	—	
同	0.40	—	201.50	—	—	0.45	—	
同	0.55	—	202.00	—	—	0.40	—	
ダケカンバ	5.40	—	202.00	37.0	43.0	—	—	元折
シナノキ	1.50	—	202.30	—	—	0.55	—	
ベニイタヤ	4.00	—	207.90	—	—	2.30	1.00	
ホノノキ	0.50	—	215.20	—	—	0.40	—	
ダケカンバ	1.20	—	220.50	—	—	1.00	—	
同	1.15	—	221.00	—	—	0.70	—	
同	1.15	—	221.30	—	—	0.80	—	
同	1.10	—	221.80	—	—	0.72	—	
同	1.15	—	222.00	—	—	0.65	—	
同	0.90	—	222.30	—	—	0.35	—	
同	1.30	—	222.30	—	—	0.40	—	
同	0.60	—	224.00	—	—	0.70	—	
ミヤマハンノキ	1.50	—	247.00	10.0	12.0	5.50	1.30	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ミヤマハシノキ	1.80		—	247.15			
同	2.55	—	247.20	3.8	3.5	4.00	2.50	
同	2.90	—	247.20	6.0	6.5	4.00	1.20	
同	3.96	—	248.00	7.2	6.8	4.00	1.80	
同	2.50	—	255.00	5.0	4.5	3.00	0.70	
ダケカンバ	0.10	—	258.00	—	—	0.40	—	
同	2.80	—	281.80	47.4	42.0	11.30	2.30	
ミヤマハシノキ	3.50	—	286.00	5.0	4.8	4.30	2.50	
ダケカンバ	4.20	—	297.00	37.0	38.1	10.30	3.20	
同	5.80	—	307.80	23.1	24.2	9.00	4.70	
同	4.90	—	316.00	26.3	29.3	11.00	2.80	
同	1.90	—	322.50	28.2	28.4	10.80	3.10	
同	3.20	—	337.80	18.3	23.6	15.00	3.40	
同	2.80	—	339.40	15.8	15.2	14.80	3.70	
同	5.45	—	340.00	7.8	8.0	15.20	4.20	
同	5.80	—	340.10	13.2	14.3	16.00	3.40	
同	4.40	—	341.20	13.0	13.2	13.40	5.10	
同	4.00	—	341.70	11.0	13.2	13.35	3.20	
同	2.25	—	349.00	24.0	23.2	14.00	2.90	
同	4.00	—	354.60	14.0	12.2	15.30	3.85	
同	4.40	—	356.00	17.3	18.4	15.80	2.90	
同	1.60	—	357.30	14.3	15.0	14.80	9.60	
同	1.50	—	359.50	18.2	15.0	14.70	8.70	
同	4.90	—	359.60	16.0	15.2	13.80	3.20	
同	6.00	—	362.40	16.2	14.8	14.90	6.80	
同	6.00	—	365.60	15.2	14.1	12.45	4.20	
同	4.50	—	365.80	16.1	13.4	16.90	6.80	
同	3.70	—	367.70	22.4	21.0	11.00	2.85	
同	4.60	—	376.00	51.0	55.0	15.00	6.00	
ヒロハノキハダ	2.90	—	376.70	16.1	14.2	11.20	3.20	
ダケカンバ	0.82	—	378.40	6.4	6.6	8.40	3.20	枯損
同	3.40	—	378.40	6.3	6.4	7.00	3.00	枯損
同	1.53	—	381.00	10.5	9.6	12.30	4.00	
同	0.65	—	381.60	20.0	20.0	12.90	4.80	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ダケカンバ	1.95	—	382.30	13.0	12.0	9.00	3.85	枯損
同	4.70	—	383.00	18.3	18.0	12.00	5.00	
同	1.15	—	384.40	14.0	13.2	13.20	2.90	
同	4.50	—	386.20	11.0	11.5	14.70	3.90	
同	6.00	—	386.90	14.0	15.0	13.00	5.00	
同	4.10	—	388.10	23.0	22.0	15.30	4.20	
同	1.70	—	390.30	18.3	17.0	12.30	2.90	
同	4.55	—	390.40	8.0	8.0	13.70	7.80	
同	4.70	—	390.50	8.5	9.0	11.35	7.40	
同	2.40	—	392.00	14.0	13.5	11.10	4.70	
同	5.30	—	392.00	20.0	18.5	14.10	3.20	
タカネザクラ	1.85	—	395.00	7.6	8.0	4.50	1.50	
ダケカンバ	5.50	—	397.00	28.0	25.0	10.30	3.20	
ムシカリ	1.00	—	408.00	—	—	0.60	—	
同	1.00	—	416.00	—	—	0.70	—	
ダケカンバ	2.30	—	447.20	20.6	20.6	8.20	3.15	
同	3.43	—	449.40	17.8	16.0	8.15	3.50	
同	3.15	—	450.00	9.6	10.0	7.10	2.00	
同	3.85	—	450.60	8.0	8.2	4.30	1.50	
シナノキ	6.00	—	483.90	10.6	10.4	5.00	1.80	
同	4.45	—	484.00	8.9	7.8	4.50	2.00	
同	5.83	—	484.50	5.0	4.8	3.50	1.50	
ダケカンバ	1.00	—	485.60	47.0	48.6	6.20	2.30	
エゾイタヤ	1.70	—	491.00	3.0	2.6	1.65	0.32	
シナノキ	4.60	—	494.60	3.8	3.4	3.50	2.00	
同	6.00	—	495.00	2.2	2.4	2.00	0.60	
同	4.65	—	495.10	12.4	11.2	6.00	1.70	
同	6.00	—	496.00	6.8	6.5	3.80	1.90	
タカネザクラ	4.00	—	503.00	4.8	5.1	3.50	1.00	
ダケカンバ	4.00	—	509.50	21.1	19.6	7.50	3.60	
アカエゾマツ	5.00	—	510.40	34.8	33.9	8.70	1.75	
ダケカンバ	2.10	—	511.30	23.3	22.0	6.30	2.45	
同	5.70	—	512.60	26.0	32.0	6.80	2.53	
トドマツ	6.00	—	513.00	31.2	27.0	5.50	1.93	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	トドマツ	3.80		—	521.80			
同	4.40	—	531.00	10.6	10.9	6.50	2.60	
ダケカンバ	4.60	—	531.00	1.2	1.2	1.60	0.85	
同	4.65	—	531.00	1.2	1.0	1.40	0.35	
トドマツ	4.30	—	531.40	9.6	9.0	5.80	2.15	
ヒロハツリバナ	0	—	531.50	2.3	3.0	2.80	1.35	
トドマツ	5.50	—	533.00	0.3	0.2	0.21	0.13	
同	6.00	—	533.00	0.5	0.6	0.25	0.15	
アカエゾマツ	5.50	—	533.20	0.9	0.8	0.56	0.23	
トドマツ	5.70	—	533.20	0.6	0.5	0.20	0.15	
同	5.60	—	533.40	0.7	0.8	0.36	0.25	
同	2.00	—	534.20	1.0	1.0	0.45	0.35	
ムシカリ	4.00	—	534.20	—	—	1.70	1.35	
同	4.10	—	534.20	—	—	1.75	0.75	
トドマツ	2.50	—	534.40	1.0	1.0	0.50	0.30	
同	1.00	—	535.00	0.6	0.6	0.40	0.15	
同	6.00	—	535.50	0.2	0.2	2.00	1.20	
ムシカリ	4.50	—	536.00	—	—	3.15	1.20	
同	4.30	—	536.50	—	—	3.30	1.60	
トドマツ	2.50	—	537.60	0.6	0.6	0.32	0.12	
同	3.90	—	547.60	7.6	7.2	1.75	1.20	
同	3.80	—	547.70	2.6	2.1	1.10	0.92	
アカエゾマツ	3.65	—	548.40	43.9	42.1	12.30	2.70	
トドマツ	3.40	—	549.00	9.0	10.6	6.50	1.45	
タカネザクラ	6.00	—	551.60	2.8	2.5	3.40	1.80	
同	5.20	—	552.50	3.2	3.4	3.40	1.60	
同	5.30	—	554.00	5.2	4.8	3.60	1.20	
同	5.15	—	555.40	2.8	2.8	2.80	1.30	
ダケカンバ	5.50	—	556.00	2.6	2.4	2.80	1.60	
シナノキ	1.40	—	557.00	4.4	4.2	3.00	1.70	
トドマツ	1.30	—	559.00	10.4	10.2	3.00	2.15	先折
ミヅナラ	0.30	—	560.00	12.2	12.0	6.50	2.50	
アカエゾマツ	3.30	—	564.00	32.2	31.8	10.00	1.55	
トドマツ	3.90	—	564.10	2.1	2.1	0.80	0.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
トドマツ	4.15	—	564.20	11.2	11.6	5.00	1.80	
同	5.30	—	574.00	11.4	12.4	6.30	2.00	
アカエゾマツ	4.30	—	574.30	27.0	26.0	11.80	4.60	
ミヤマハシノキ	1.72	—	575.20	5.6	6.2	4.50	1.80	
トドマツ	5.46	—	575.25	6.6	7.2	2.00	1.60	
アカエゾマツ	5.30	—	575.30	33.4	34.6	11.50	2.30	
ミヤマハシノキ	1.40	—	576.40	7.2	6.8	5.80	1.70	
アカエゾマツ	6.00	—	578.00	37.6	36.4	13.30	3.40	
同	3.95	—	580.35	9.8	9.4	5.30	3.10	枯損
イチキ	4.95	—	580.70	1.2	1.3	1.30	0.60	
同	4.20	—	580.80	0.8	0.7	0.75	0.45	
アカエゾマツ	4.45	—	581.60	15.2	15.4	6.50	2.30	
イチキ	3.60	—	583.00	1.9	2.0	1.50	0.60	
トドマツ	3.70	—	583.40	20.8	17.8	7.30	2.40	
イチキ	3.20	—	583.60	1.4	1.3	1.40	0.70	
同	3.25	—	583.65	1.4	1.5	1.40	0.65	
ダケカンバ	4.55	—	588.60	1.8	1.6	2.20	1.60	
ナナカマド	4.50	—	587.60	1.4	1.4	1.80	1.40	
アカエゾマツ	1.60	—	592.00	43.6	45.3	13.20	3.40	
ナナカマド	3.20	—	592.00	6.6	6.4	5.40	1.80	

第三章 方位に依る林相の變化

第一節 方位に依る針葉樹林と潤葉樹林の變化

方位に依る林相の變化は概ね地方的且部分的なる事多し。天鹽第一演習林上音威子府附近に於ては山稜の方向よりも、山腹の方向に意義ありて、西向斜面に針葉樹多し。この興味深き事實を證明せんがため、次節の三澤山附近及嘉平川支流を選定せり。

又参考のため、山稜の四方位變化を播鉢山に求めてこれを記述せり。

I. 三澤山試験地

1¹ 三澤山に於ける方位に依る林相變化の概相

三澤山は標高404.3m、天鹽第一演習林音威子府川の支流上音威子府川の枝澤なる天幕之澤と熊之澤の上流地域に位す。¹⁾(第七圖及第十三圖参照—10頁及36頁)

而して三澤山の北稜を中心として、東斜面と西斜面とは著しく林相を異にし、東斜面は天幕之澤の上流に面し、ダケカンバ、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、オヒヨウ等多く生じ、他にナナカマド、シウリザクラ、エゾヤマザクラ、ミヅキ、エゾノバツコヤナギ、ヤチダモ、ヤマダハ等を混する潤葉樹林なり。

然るに西斜面に於てはトドマツ、エゾマツは三角點(404.3m)より下部頓別坊川斜面に至るに從ひその量を増加し、300m附近よりは針葉樹の多き林となる。²⁾

1² 三澤山に於ける方位に依る林相變化の標準地

此の東斜面の潤葉樹林と、西斜面の針葉樹多き林との方位に依りて林相を異にせるを比較研究せんが爲に天幕之澤林道鞍部(三澤山三角點の北方470米の林道分岐點)の南方80米の林道彎曲部

1) 頂上附近はミヅナラ、シナノキ、ダケカンバ等多く生じ、エゾイタヤ、ナナカマド、エゾヤマザクラ、ヤチダモ等を混す。下層はオクヤマザサ(高さ1.8m)により占められ、灌木にはエゾツノハシバミ、ムシカリ、エゾイホタ、ハナヒリノキ等あり。最下層にはナニハヅ、ツルツゲ、ハヒイヌツゲ、ツルシキミ、シラネウラボ、ナンダ、シウモンジシダ、コタニワクリ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、トゲナシゴエフイチゴ、エゾイチゴ、コキンバイ、ミヤマスマミレ、クルマバサウ、ヨツバヒヨドリバナ、エゾヨモギ、エゾアキノキリンサウ等、又蔓莖類にはツルアゲサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ、エゾサルナシ、ミヤマタタビ、テウセンゴモシ等生ず。

2) 三角點より北方150米の林道彎曲部附近の林相を観察するに、此の附近はNW30°の急斜地にして、ミヅナラ、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等多く、シウリザクラ、ナナカマド、シロザクラ、ミヅキ等を混する潤葉樹の多き林なるも、エゾマツ(胸高直徑35cm; 樹高26m)、トドマツ(胸高直徑30cm; 樹高20m)等混入し、頓別坊川斜面に下るに從ひ、その量を増加す。下層はオクヤマザサにより占めらるるも餘り密生せず。灌木にはエゾツノハシバミ、ムシカリ、ノリノキ、エゾエヅリハ、エゾイホタ、オホバスノキ、ハナヒリノキ等あり。最下層にはナニハヅ、ハヒイヌツゲ、ツルシキミ、シラネウラボ、リヤウメンシダ、シウモンジシダ、サカゲキノテ、コタニワタリ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、トゲナシゴエフイチゴ、ミヤマスマミレ、エゾニウ、ウド、ツルリンドウ、クルマバサウ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、ヨブスマサウ、アザミ類、ゴンゲンズゲ、オホマヒヅルサウ、ギヤウツヤニンニク等、又蔓莖類にはツルアゲサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ等生ず。

を中心として、略々東西に長さ200米、巾6米の帯状標準區劃地を設け、而して其の兩端に各(15m)²の標準區劃地を取れり。

尙便宜上本帯状標準區劃地を、林道を中心として、東斜面の潤葉樹林(A)と西斜面の針葉樹多き林(B)とに二分して、記述せんとす。

A. 東斜面潤葉樹林

[A.] (6×100m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は上述の林道彎曲部より略々東方に取れるものにして、大體平坦地にして、基岩は上部白亞紀頁岩なり。

本面はシナノキ、オヒヨウ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ダケカンバ等を主とする潤葉樹林にして、他にシウリザクラ、ミヅナラ、ヒロハキハダ、エゾバツコヤナギ、ヤマグハ等生じ、稀にトドマツ、エゾマツあり。下層はオクヤマザサ(高さ2—3m)優勢にして、灌木にはエゾツノハシバミ、ムシカリ、サハフタギ、ムラサキツリバナ等あり。最下層にはシラネウラボ、ジウモンジンダ、オホバイラクサ、オクエゾサイシン、オホイタドリ、トゲナシゴエフイチゴ、エゾイチゴ、ハナウド、ウラゲヨブスマサウ、アザミ類、スゲ類、ザゼンサウ、ハウチヤクサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ、コクハ、ミヤママタタビ、イケマ等生ず。

本標準區劃地の中央約30米の間はオクヤマザサ(高さ3m)とオホバイラクサ、オホイタドリ、ハナウド、ウラゲヨブスマサウ等の大型草本とに依り占めらるる所あり。

今、本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第四十五表)

第 四 十 五 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
オ ヒ ヨ ウ	1.25	—	14.30	7.6	8.0	8.00	2.50	
同	1.60	—	15.80	2.6	2.6	2.00	0.80	
同	0.90	—	16.00	9.6	9.8	9.50	2.00	
同	2.10	—	16.00	27.8	28.6	14.00	4.00	
サ ハ フ タ ギ	—	1.60	16.40	3.2	3.1	2.00	1.50	
オ ヒ ヨ ウ	2.20	—	16.50	8.8	8.4	9.50	2.70	
ム シ カ リ	0.80	—	17.00	2.4	2.2	3.00	1.10	
オ ヒ ヨ ウ	1.85	—	17.00	29.2	29.0	15.00	3.00	
同	2.65	—	17.00	10.4	9.8	8.00	3.00	
ム シ カ リ	—	2.00	18.00	2.0	2.0	1.70	0.80	
サ ハ フ タ ギ	3.00	—	20.50	2.2	2.0	2.30	1.00	
エゾツノハシバミ	1.20	—	23.00	2.2	2.4	2.50	1.20	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ヒロハノキハダ	1.15	—	25.30	1.0	1.0	1.60	1.30	
ベニイタヤ	—	0.70	25.50	—	—	1.20	—	
シナノキ	1.85	—	27.30	2.2	2.3	2.50	1.10	
ムシカリ	2.60	—	27.90	1.8	1.8	2.70	1.10	
シウリザクラ	—	0.75	29.00	23.4	22.6	14.00	4.50	
同	0.35	—	36.40	13.0	13.4	4.50	3.50	先枯
オヒヨウ	—	3.00	37.00	84.0	95.0	18.00	4.00	
シウリザクラ	1.45	—	40.00	26.2	26.0	10.00	2.50	
ヤマグハ	—	0.55	46.00	3.8	3.2	4.00	0.80	
ベニイタヤ	1.85	—	73.00	41.6	42.2	15.00	2.50	
トドマツ	0.75	—	73.30	11.0	13.4	12.00	5.00	
ベニイタヤ	0.25	—	75.90	27.0	27.8	15.00	3.00	
エゾツノハシバミ	—	0.60	76.00	2.4	2.8	2.50	1.20	
ムシカリ	—	2.55	78.00	1.8	1.6	2.00	1.20	
ベニイタヤ	—	2.50	79.80	41.6	43.4	14.00	2.00	
ムシカリ	—	0.25	80.50	—	—	1.70	—	
同	—	0.62	82.00	1.4	1.4	2.10	1.00	
ベニイタヤ	0	—	84.30	27.0	29.0	12.00	2.00	
ムシカリ	0.10	—	87.00	2.4	2.6	2.50	1.00	
同	1.95	—	89.00	2.0	1.8	2.50	1.50	
同	0.65	—	90.00	—	—	1.20	—	
同	—	0.75	92.00	1.6	1.6	2.00	1.20	
同	1.12	—	100.00	6.6	6.4	2.50	1.00	

IX. 16, 1933. 調査.

尙本帯狀標準區劃地内始端より38米の處の下層の(1.5m)²小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オクヤマザサ	31	高さ2.5m	ウラゲヨブスマサウ	3
シラネヲラビ	11		ザゼンサウ	1
ツタウルシ	4		ヤマアダウ	1

[A. I.] (15m)²標準區劃地

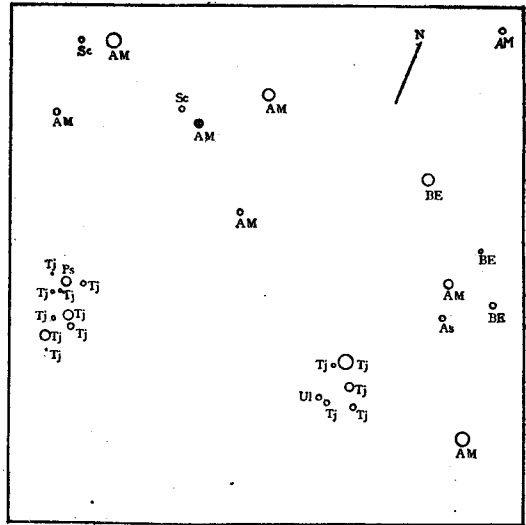
本帯狀標準區劃地は東斜面潤葉樹林帯狀標準區劃地の末端に沿ひ北側に取り。傾斜はNE 12°なり。

此の附近にはシナノキ、ベニイタヤ、ダケカンバ、オヒヨウ等多く生じ、ミヅナラ、ヒロハキハダ、ナナカマド等混す。下層はオクヤマザサ(高さ2.7m)により占めらるるも密ならず、灌木にはエゾツノハシバミ、ムシカリ、ムラサキツリバナ等あり。最下層にはシラネワラビ、ハクマウキノデ、サカゲキノデ、ムカゴイラクサ、オクエゾサイシン、ルキエフシヤウマ、トゲナシゴエフイチゴ、エゾニウ、クルマバサウ、アザミ類、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ、ハウチャクサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ等生す。

今、本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに右掲の如し。(第四十二圖)

更に之を數的に表示せんに第四十六表の如し。

第四十二圖



● 枯損

IX. 17, 1933. 調査.

第四十六表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	
Tilia japonica Simk. (Tj)	シナノキ	6	1	1	1	—	1	3	1	14
Acer Mayri Gr. v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	1	1	1	—	3	1	—	1	8
Betula Ermani Cham. (BE)	ダケカンバ	1	—	—	1	—	—	1	—	3
Sorbus commixta Hedl. (Sc)	ナナカマド	—	1	1	—	—	—	—	—	2
Ulmus laciniata Mayr (Ul)	オヒヨウ	1	—	—	—	—	—	—	—	1
Phellodendron sachalinense Sarg. (Ps)	ヒロハノキハダ	—	—	—	—	—	—	1	—	1
Abies sachalinensis Fr. Schm. (As)	トドマツ	1	—	—	—	—	—	—	—	1
直徑級別合計		10	3	3	2	3	2	5	2	30

尙本標準區劃地内の下層の(1.5m)²小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本數	備考	植物名	本數
シラネワラビ	14		オクエゾサイシン	2
ツタウルシ	7	高さ0.3m	ツルアヂサキ	1
ムシカリ	5		ムラサキツリバナ	1

B. 西斜面針潤混淆林

〔B.〕(6×100m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は前述の林道彎曲部より略々西方に取れり。傾斜 W 12—23° なるも、概ね緩斜地にして、基岩は上部白亞紀頁岩なり。

此の斜面は針葉樹の優れる混淆林にして、トドマツ、エゾマツ等多く生じ、また稀にアカエゾマツ、イチキ等混じ、潤葉樹にはミヅナラの老木(胸高直徑45cm; 樹高17m) シナノキ、エゾイタヤ、ペニイタヤ、ナナカマド、ホホノキ、ダケカンバ、ウダイカンバ、センノキ、ミヅキ、オヒョウ等生ず。下層はオクヤマザサ(高さ2.9m) により多く占めらるるも、所に依りては笹密に生ぜず、笹に代りてエゾヅリハを主としムシカリを伴ふ所あり。灌木には前記の外にエゾツノハシバミ、ノリノキ、ムラサキツリバナ、オホバスノキ、コマユミ、エゾクロウソゴ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、シノブカグマ、ホソバタウゲシバ、オクエゾサイシン、コイチヤクサウ、ツルリンドウ、エゾヨツバムグラ、アザミ類、ゴンゲンスゲ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアデサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ等生ず。

今、本帯状標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに第四十七表の如し。

第 四 十 七 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
ダケカンバ	—	0.90	1.00	38.0	38.0	16.50	5.50	
エゾマツ	—	24.0	1.00	24.8	26.4	11.00	4.00	
同	—	1.80	1.50	58.2	63.4	23.00	5.00	
ムシカリ	—	1.20	3.00	2.0	2.0	1.80	1.00	
ミヅナラ	—	1.40	3.00	2.0	2.0	2.30	0.60	
ムシカリ	—	1.25	3.80	1.4	1.6	1.90	0.80	
ミヅキ	—	0.40	4.00	3.4	3.2	3.00	2.00	
同	—	0.75	4.10	14.2	16.2	11.00	3.00	
同	—	0.30	4.30	18.2	19.2	12.00	6.00	
ムシカリ	2.25	—	6.20	1.4	1.4	1.80	0.60	
同	2.25	—	9.80	3.0	2.5	3.00	0.60	
トドマツ	—	0.10	14.00	49.0	51.8	20.00	4.00	
エゾマツ	—	0.65	15.00	4.4	4.0	4.00	2.50	
エゾツノハシバミ	3.00	—	16.50	1.4	1.4	2.50	1.00	
ムシカリ	—	3.00	18.80	1.5	1.5	2.30	1.60	
ミヅキ	1.30	—	18.90	0.8	0.8	1.50	0.75	
ホホノキ	—	2.50	21.80	17.6	18.6	15.00	8.00	
ペニイタヤ	—	1.00	22.30	1.4	1.8	2.50	1.30	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ナナカマド	1.95	—	21.00	1.4	1.6	3.00	2.50	
同	1.70	—	21.20	1.4	1.4	2.80	2.00	
ホホノキ	—	2.50	22.30	2.4	2.4	3.50	2.00	
同	—	2.80	22.30	3.4	3.4	4.00	2.30	
トドマツ	—	2.55	22.90	43.8	45.2	21.00	5.50	
エゾイタヤ	0	—	24.70	1.2	1.2	1.80	1.00	
エゾマツ	2.00	—	25.10	1.0	1.0	0.70	0.60	倒木上
同	2.65	—	25.20	1.4	1.4	0.70	0.50	倒木上
同	2.35	—	25.30	2.2	2.0	1.10	0.65	倒木上
トドマツ	1.80	—	25.50	2.2	2.6	1.20	1.10	倒木上
エゾマツ	1.50	—	25.80	1.8	2.2	1.10	0.60	倒木上
同	—	1.90	25.80	44.9	48.4	23.00	6.00	倒木上
同	1.25	—	26.10	1.2	1.2	1.00	0.50	倒木上
同	1.10	—	26.40	2.6	2.2	1.20	0.60	倒木上
ノリノキ	1.35	—	27.00	2.9	3.0	1.80	0.80	
トドマツ	—	0.65	27.05	2.0	2.0	1.80	1.60	倒木上
ナナカマド	—	0.45	27.10	2.3	2.4	2.30	1.40	倒木上
エゾマツ	—	0.65	27.10	2.4	2.4	0.75	0.35	倒木上
同	—	1.45	28.00	2.4	2.4	1.80	1.00	倒木上
ナナカマド	—	1.50	28.00	2.4	2.8	3.00	1.50	倒木上
エゾマツ	—	1.80	28.20	2.2	2.4	1.65	1.20	倒木上
同	—	2.25	28.40	2.4	2.2	1.50	1.00	倒木上
ムシカリ	—	1.50	28.90	2.0	2.0	2.00	0.50	
トドマツ	0.60	—	29.50	35.0	37.9	20.00	6.50	
シナノキ	1.50	—	30.30	2.4	2.6	2.20	0.80	
セシノキ	—	1.50	30.30	2.2	2.6	2.50	2.20	
トドマツ	—	1.70	32.90	12.8	14.0	7.50	3.50	
ノリノキ	—	2.40	33.90	2.4	2.4	1.40	0.15	
トドマツ	1.40	—	36.00	29.2	31.8	14.00	8.50	先折レ
同	0.65	—	39.00	52.4	48.4	25.00	4.50	
ウダイカンバ	1.00	—	40.50	53.6	60.0	—	—	元折 根本直徑
ムシカリ	—	1.00	44.20	1.6	1.6	2.20	1.40	
同	—	2.50	45.00	2.0	2.0	2.50	1.00	
トドマツ	—	1.30	47.10	2.0	2.0	1.30	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ホノキ	—		0.85	47.10			
ミヅナ	—	1.10	47.30	—	—	0.60	0.30	
ホノキ	0	—	48.00	16.6	16.2	11.00	4.00	
ノキ	—	1.80	48.30	2.0	2.0	1.50	0.70	
トマツ	—	2.75	48.30	5.6	5.2	2.80	2.00	
同	0.80	—	48.40	2.0	2.2	1.30	1.10	
ホノキ	—	0.70	48.60	13.0	16.0	13.00	7.50	
同	—	0.75	48.75	7.4	8.8	9.00	3.50	
トマツ	1.85	—	49.20	1.2	1.0	0.80	0.30	倒木上
同	0.80	—	51.80	1.0	1.0	0.75	0.35	倒木上
同	—	1.90	54.00	25.0	25.0	18.00	6.00	
ノキ	1.80	—	54.10	2.4	2.2	2.50	1.20	
エダヤ	2.30	—	56.80	2.8	2.6	2.50	1.30	先枯
トマツ	2.75	—	57.70	1.2	1.0	1.20	0.80	
ムシカ	0.10	—	58.10	2.0	1.8	3.30	2.20	
トマツ	—	3.00	58.80	39.8	38.0	22.00	4.00	
ベニヤ	2.65	—	61.00	3.4	3.8	4.00	1.70	
ムシカ	1.20	—	62.30	3.2	3.2	2.70	1.20	
エダヤ	—	0.25	64.10	2.0	2.0	2.50	1.30	
ムシカ	1.20	—	65.30	1.4	2.0	3.00	0.80	
同	—	1.80	69.00	1.4	2.0	2.80	1.50	
同	1.45	—	69.30	1.4	1.4	1.80	0.60	
エダヤ	—	0.30	71.80	2.6	2.8	2.70	0.50	
エダヤ	—	1.00	72.20	52.4	53.2	25.00	3.50	
トマツ	1.00	—	73.50	8.2	8.8	5.50	4.00	
同	1.70	—	74.00	11.4	9.4	—	—	元折
ムシカ	—	1.10	74.00	2.4	2.4	3.40	1.00	
同	0.50	—	74.50	1.8	1.6	2.40	1.20	
同	—	1.80	75.80	1.0	1.0	2.50	0.40	
トマツ	1.90	—	77.00	11.2	10.6	8.00	2.80	
イチキ	2.35	—	78.00	3.8	4.0	3.00	1.40	
ノキ	2.25	—	79.00	2.0	2.0	3.50	1.00	
トマツ	—	1.80	79.00	11.2	10.8	6.50	4.00	
オヒヨウ	—	0.50	79.90	—	—	0.80	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
トドマツ	—	1.15	81.80	3.8	3.2	2.50	1.80	
ムシカリ	2.30	—	82.00	2.0	2.0	2.80	1.40	
トドマツ	—	1.40	82.00	32.2	31.0	19.00	8.00	
ムシカリ	1.20	—	83.00	2.8	2.8	2.30	2.00	
トドマツ	—	2.55	86.00	10.6	11.8	10.00	5.00	
同	0.35	—	87.90	1.8	2.0	1.00	0.70	
ベニイタヤ	0	—	88.00	3.4	3.4	3.50	1.60	
ミヅナ	0.90	—	88.00	42.6	47.0	17.00	7.00	
トドマツ	1.60	—	88.10	13.0	10.2	9.00	4.00	
同	—	1.65	91.90	10.6	10.4	8.00	4.00	
ナナカマド	—	1.45	92.00	6.0	6.0	5.30	1.20	
ベニイタヤ	2.80	—	92.50	2.4	3.0	3.20	1.50	
同	2.30	—	93.00	2.6	2.6	4.80	2.30	
同	2.00	—	93.10	3.4	3.4	4.50	2.40	
エゾマツ	—	1.10	97.10	18.8	19.8	9.50	2.50	
トドマツ	0.10	—	99.10	7.8	8.0	8.00	3.70	
同	—	1.45	99.10	6.0	6.2	4.20	3.50	

IX. 16, 1933. 調査.

尙本帯標準區劃地内林道始端より西方72米の下部に於ける下層の(1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オクヤマザサ	16	高さ2.5m	ツルアザサキ	5
ツルシキミ	16		ツタウルシ	4
エゾユヅリハ	9		ツルツゲ	2
ムシカリ	7		ツルリンドウ	1

〔B. I.〕(15m)² 標準區劃地

本標準區劃地は西斜面針濶混淆林帯標準區劃地の末端に取れり。傾斜SW 23°の急斜地なり。

此の附近はトドマツ多く、エゾマツ混じ、稀にアカエゾマツ生じ、濶葉樹にはミヅナ、ベニイタヤ、センノキ、ナナカマド、コシアブラ、シナノキ等生ず。下層はオクヤマザサ(高さ2.5m)疎生し、エゾユヅリハ多く生じ、ムシカリ、エゾツノハシバミ、ノリノキ、ヤマウルシ、コエウラク、エゾクロウソゴ、オホバソノキ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、ハヒイヌツゲ、シシガシラ、ホソバタウゲシバ、ウチハマンネンズギ、ヒメイチゲ、ミヤマスミレ、ゴゼンクチバナ、ツ

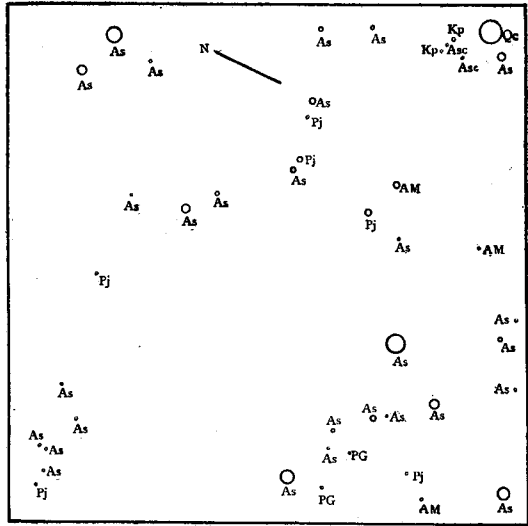
(104)

ルリングウ, エゾヨツバムグラ, ミミカウモリ, アザミ類等, 又蔓莖類にはツルアヂサキ, ツタウルシ等生ず。

今, 本標準區劃地内に於ける主要なる木本を圖示せんに第四十三圖の如し。

更に之を數的に表示せんに第四十八表の如し。

第四十三圖



IX. 17, 1933. 調査.

第四十八表

樹種	直徑級 cm	胸高直徑								合計
		1-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	
<i>Abies sachalinensis</i> Fr. Schm. (As)	トドマツ	16	3	4	2	—	3	—	—	28
<i>Picea jezoensis</i> Carr. (Pj)	エゾマツ	4	2	—	—	—	—	—	—	6
<i>Picea Glehni</i> Mast. (PG)	アカエゾマツ	2	—	—	—	—	—	—	—	2
<i>Quercus crispula</i> Bl. (Qc)	ミヅナラ	—	—	—	—	—	—	—	1	1
<i>Acer Mayri</i> Gr.v. Schw. (AM)	ベニイタヤ	2	1	—	—	—	—	—	—	3
<i>Kalopanax pictum</i> Nakai (Kp)	センノキ	2	—	—	—	—	—	—	—	2
<i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Fr. et Sav. (Asc)	コシアブラ	2	—	—	—	—	—	—	—	2
直徑級別合計		28	6	4	2	—	3	—	1	44

尙本標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて, 下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数	備考
エゾユヅリハ	27	高さ1m	オクヤマザサ	6	高さ2.5m
ハヒイヌツゲ	18		ツルツゲ	5	
ツルシキミ	9		ムシカリ	1	高さ0.8m
ツルアヂサキ	8		シシガシラ	1	

II. 嘉平川試験地

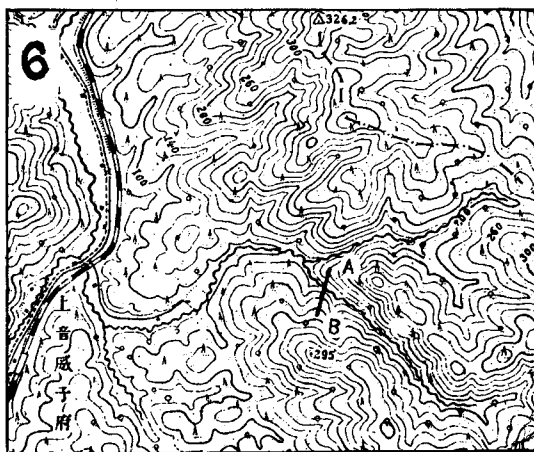
2¹ 嘉平川第二二岐以東本流に沿へる山腹斜面の方位に依る林相の變化

天鹽第一演習林音威子府川支流嘉平川第二二岐（陸地測量部五萬分之一圖幅音威子府の上音威子府の上の字の東北，北見線鐵橋より東方約1400米）以東本流に沿へる山腹嶮阻地（傾斜 35° — 40° ）に於ける兩岸南西斜面及北東斜面の林相は著しく異り，右岸南西斜面はトドマツ多く，エゾマツを混する針葉樹の多き林にして，潤葉樹としてはエゾイタヤ，ベニイタヤ，ミヅナラ，アヅキナシ，オヒヨウ，ケヤマハンノキ，シロザクラ，ナナカマド，ウダイカンバ，ミヅキ等生ず。（第四十四圖參照）

然るに左岸北東斜面にてはオヒヨウ多く，シナノキ，エゾイタヤ，ベニイタヤ，ダケカンバ，ヒロハキハダ，ヤマグハ等を生ずる潤葉樹林なり。

此の針葉樹林と潤葉樹林との方位に依りて，林相を異にせる比較を研究せんが爲に本流をまたぎて長さ230米，巾8米の帶狀標準區劃地を設けたり。

第四十四圖（第三頁第一圖6）



2² 嘉平川に沿へる方位に依る林相變化の標準地

本帶狀標準區劃地の一端は第二二岐を東方に去る距離200米の地點（本流の北東側西方に走れる山稜の160m附近）より始まり，一端は谷を渡りて對岸の標高295mより北方に分走せる小尾根上150mに終る。

尙便宜上本帶狀標準區劃地を二分して記述せり。

A. 南西斜面針葉樹林

($8 \times 80m^2$) 帶狀標準區劃地

本帶狀標準區劃地は，上述の西方に走れる山稜の尾根附近より二岐本流に面せる南西斜面の下部に至る嶮阻地（約 40° ）にして，基岩は輝綠凝灰岩なり。

此の斜面は針葉樹の多き所にして，トドマツ多く，エゾマツ混じ，またイチキ，稀にアカエゾマツを生じ，トドマツの稚樹著し。潤葉樹として混するは前記の如くエゾイタヤ，ベニイタヤ，アヅキナシ，オヒヨウ，シロザクラ，ケヤマハンノキ，ナナカマド，ウダイカンバ，ミヅキ等にして，ミヅナラの老大樹（胸高直徑57.1cm；樹高18m）あり。下層はオクヤマザサ優勢なれども上部は餘り密ならず，下部に至るに従ひ密生す。またムシガリの多き所あり。灌木にはムシカリ，ノリノキ，

オホバスノキ、コエウラク、エゾユヅリハ、エゾクロウスゴ、コマユミ、ハナヒリノキ等あり。又笹類の少き所にはエゾユヅリハ、ツルシキミ等多く生ぜる所あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、リヤウメンシダ、ホソバタウゲシバ、ヒトリシヅカ、エゾヨツバムグラ、アザミ類、スゲ類等、又蔓莖類にはツルアデサキ、ヤマブドウ、ミヤマタタビ等あり。下部に至れば笹類に混じて、サカゲキノデ、オホバイラクサ、コンロンサウ、ミミカウモリ、オホブキ、ウラゲヨブスマサウ、ザゼンサウ、クルマユリ、オホアマドコロ、クルマバツクバネサウ等、又蔓莖類にはヤマブドウ、ツタウルシ等生ず。

本標準區劃地の始端附近尾根筋にはトドマツ多く、エゾマツ混じ、エゾイタヤ、ミヅナラ、シウリザクラ、ナナカマド等生じ、下層はオクヤマザサにより占められ、灌木にはムシカリ、オホバスノキ、エゾユヅリハ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、エゾシヤウマ、アザミ類、スゲ類等、又蔓莖類にはツルアデサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ等生ず。

また下りて流畔にはケヤマハンノキ、エゾイタヤ、アカダモ、シウリザクラ等生じ、澤の平坦地には笹類（オクヤマザサ、ネマガリダケ）生じ、ハナウド、オホブキ、ウラゲヨブスマサウ、マルバヒレアザミ等の大型草本あり。最下層にはジウモンシダ、エゾリウキンクワ等、又蔓莖類にはヤマブドウ、アマチヤヅル等生ず。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第四十九表)

第 四 十 九 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
ト ド マ ツ	1.00	—	0	47.0	47.2	14.00	—	枯 損
同	—	0.10	4.60	—	—	0.20	—	
イ チ キ	1.45	—	4.80	—	—	1.00	0.60	
ト ド マ ツ	—	1.75	4.80	5.8	5.8	4.00	2.00	
同	0.40	—	4.90	—	—	0.20	—	
同	—	1.70	4.90	12.0	13.6	10.00	4.00	
イ チ キ	0.95	—	5.40	—	—	0.80	0.25	
ト ド マ ツ	—	1.60	5.50	—	—	0.80	0.60	
同	15.0	—	5.70	4.2	4.4	3.00	1.50	
同	0.80	—	5.75	8.6	8.6	8.00	4.00	
エ ゾ イ タ ヤ	1.10	—	6.10	27.4	30.8	13.00	4.00	
ト ド マ ツ	2.20	—	7.20	—	—	0.50	—	
同	—	3.20	7.60	19.8	20.0	10.00	6.00	
同	1.65	—	7.80	14.0	15.2	10.00	4.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考			
	+	-		N-S	E-W						
	ト	ド		マ	ツ				1.10	—	7.90
		同		0.60	—	12.10	7.4	8.6	5.00	3.00	
		同		1.10	—	12.30	33.0	34.4	20.00	15.00	枯損
		同		—	1.25	12.40	23.6	23.6	20.00	8.00	
		同		2.20	—	13.40	3.4	3.8	—	—	伐根
エ	ゾ	マ	ツ	—	1.30	13.70	11.2	11.2	6.00	2.00	
		同		—	1.50	13.80	1.6	1.6	2.00	—	枯損
		同		—	1.80	13.80	2.0	2.0	1.60	1.20	
ト	ド	マ	ツ	3.25	—	14.50	12.4	12.0	—	—	伐根
		同		1.10	—	15.65	0.1	0.1	—	—	伐根
		同		0.70	—	15.80	—	—	0.70	0.50	
		同		—	2.30	16.00	32.4	33.6	—	—	伐根
		同		3.30	—	19.90	1.8	1.6	1.60	0.70	
エ	ゾ	イ	タ	ヤ	—	1.10	20.00	—	—	1.00	0.80
ト	ド	マ	ツ	—	1.10	20.20	2.4	1.8	1.30	0.80	
エ	ゾ	イ	タ	ヤ	—	1.10	20.50	—	—	1.20	1.00
イ		チ	キ	—	0.50	21.40	—	—	0.50	0.30	
		同		—	0.50	21.50	—	—	0.40	0.20	
ト	ド	マ	ツ	—	0.50	22.40	—	—	0.40	0.30	
		同		0.70	—	22.70	—	—	0.20	—	
ナ	ナ	カ	マ	ド	0.60	—	23.00	2.4	2.0	3.50	2.00
		同		1.60	—	23.50	3.0	2.8	4.00	2.00	
ト	ド	マ	ツ	—	1.00	23.50	19.4	19.2	13.00	8.00	
ナ	ナ	カ	マ	ド	1.10	—	24.50	1.8	1.4	2.30	1.00
ト	ド	マ	ツ	—	2.75	24.50	1.6	1.4	1.00	0.70	
ミ		ゾ	キ	—	3.70	25.00	—	—	2.30	—	
イ		チ	キ	—	1.70	27.40	1.0	0.8	1.50	0.80	
		同		—	1.40	27.50	1.6	1.8	1.80	1.20	
ト	ド	マ	ツ	2.00	—	27.70	—	—	0.30	—	
		同		1.00	—	27.85	—	—	0.15	—	
		同		0.15	—	28.00	5.0	4.4	—	—	元折
ア	ゾ	キ	ナ	シ	—	3.25	28.00	1.4	1.2	2.40	1.00
ト	ド	マ	ツ	0.85	—	28.10	3.8	3.8	2.00	1.00	
		同		3.10	—	28.20	2.4	2.6	2.00	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	エゾイタヤ	0.90		—	28.30			
トドマツ	—	2.10	28.50	—	—	0.40	—	
同	—	1.40	28.60	—	—	0.75	0.50	
同	1.30	—	27.85	—	—	0.15	—	
同	—	3.25	28.80	16.0	15.6	11.00	4.00	
エゾイタヤ	—	1.00	29.20	1.6	1.6	3.00	1.60	
イチキ	—	1.30	29.25	1.0	1.0	1.40	1.00	
トドマツ	3.15	—	29.60	20.0	20.4	14.50	7.00	
同	0.80	—	29.80	—	—	0.10	—	
ベニイタヤ	0.95	—	30.50	1.8	2.2	2.50	1.00	
同	1.05	—	30.50	5.0	5.0	3.50	1.10	
エゾイタヤ	—	1.00	30.50	2.0	2.0	2.30	1.10	
トドマツ	—	3.30	30.70	2.6	2.6	2.20	1.20	
ナナカマド	—	3.10	30.90	1.2	1.2	2.20	1.00	
トドマツ	0.30	—	32.00	40.6	37.6	23.00	10.00	
同	—	3.50	32.00	24.4	24.2	27.00	8.00	
同	—	3.90	32.00	3.6	3.8	1.60	1.20	
イチキ	0.90	—	32.20	2.0	2.0	2.50	1.00	
同	0.90	—	32.60	1.8	1.6	1.60	0.80	
アカエゾマツ	0.70	—	34.80	10.2	9.6	5.00	1.80	
シロザクラ	0.30	—	35.90	—	—	0.70	—	
トドマツ	0.15	—	36.00	25.6	27.0	—	—	伐根
エゾイタヤ	—	0.30	36.30	10.2	10.2	9.00	5.00	
同	—	0.45	36.30	3.4	3.6	3.50	1.60	
トドマツ	—	2.50	36.35	—	—	0.60	0.40	
同	—	1.20	36.40	—	—	0.30	—	
同	—	1.15	36.55	—	—	0.25	—	
同	—	3.80	36.70	29.0	29.0	26.00	10.00	
同	—	1.45	36.90	—	—	0.30	—	
エゾヤマザクラ	0.85	—	37.00	—	—	0.80	—	
トドマツ	—	1.35	37.20	—	—	0.35	—	
同	—	1.80	37.30	—	—	0.15	—	
エゾイタヤ	—	2.50	37.40	—	—	0.70	0.40	
同	1.35	—	37.70	2.2	2.4	3.00	1.40	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
エゾイタヤ	1.35	—	37.70	—	—	1.50	0.70	
トドマツ	—	1.50	38.00	—	—	0.70	0.50	
エゾマツ	—	2.00	38.00	—	—	0.40	0.20	
トドマツ	—	1.90	38.10	—	—	0.40	0.10	
エゾイタヤ	1.65	—	38.20	1.6	1.4	2.50	1.10	
トドマツ	—	2.30	38.20	—	—	0.70	0.30	
エゾイタヤ	1.65	—	38.30	1.6	1.8	2.30	1.00	
同	1.10	—	38.50	12.0	11.6	9.00	2.00	
トドマツ	0.45	—	38.80	2.2	1.8	1.30	1.00	
同	3.25	—	39.00	2.4	2.2	0.90	0.50	
同	3.35	—	39.00	—	—	0.30	—	
同	—	3.00	39.10	—	—	1.40	0.80	
同	—	3.30	39.10	2.0	1.8	1.20	0.70	
イチキ	1.70	—	39.50	2.4	2.2	1.80	1.10	
同	2.20	—	39.50	3.0	3.0	1.50	0.25	
トドマツ	0.55	—	39.60	—	—	0.80	0.60	
同	2.25	—	39.70	—	—	0.40	—	
同	—	3.60	39.80	13.0	13.1	8.00	3.00	
同	—	3.80	39.80	2.2	2.4	1.00	0.70	
同	—	3.90	39.80	—	—	0.40	0.30	
同	—	3.30	40.00	—	—	0.50	0.30	
エゾマツ	—	3.20	40.20	—	—	0.70	0.50	
ケヤマハシノキ	—	3.90	40.20	20.8	20.0	15.00	10.00	
トドマツ	2.90	—	40.60	4.8	3.2	3.20	2.50	
ケヤマハシノキ	—	3.50	40.60	19.0	19.2	12.00	8.00	
トドマツ	—	0.10	40.80	—	—	0.60	0.50	
同	—	3.20	40.80	—	—	0.35	—	
同	—	0.20	40.90	—	—	1.00	0.80	
イチキ	2.00	—	41.60	—	—	0.90	—	
同	2.10	—	41.60	—	—	0.80	—	
同	1.70	—	41.70	—	—	0.60	—	
トドマツ	1.40	—	41.80	—	—	0.25	—	
イチキ	1.75	—	41.85	—	—	0.60	—	
シロザクラ	2.55	—	41.90	—	—	1.80	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
イチキ	1.70	—	42.00	—	—	0.25	—	
トドマツ	2.20	—	42.00	—	—	0.50	—	
ウダイカンバ	3.85	—	42.00	4.0	4.0	4.00	1.50	
トドマツ	3.80	—	42.80	14.8	14.8	8.00	7.00	
同	4.00	—	43.00	—	—	0.30	—	
エゾイタヤ	2.60	—	43.20	11.6	12.0	10.00	4.00	
トドマツ	—	3.10	44.90	15.0	16.0	8.00	3.00	
イチキ	0.40	—	48.40	—	—	0.50	—	
同	0.50	—	48.70	2.2	2.4	2.00	1.10	
同	0.60	—	48.80	—	—	0.50	—	
同	1.30	—	50.00	—	—	0.25	—	
同	1.40	—	50.50	—	—	0.40	—	
エゾイタヤ	—	3.20	53.00	2.2	2.2	2.50	2.00	
トドマツ	0.80	—	54.40	33.4	37.8	26.00	10.00	
オヒヨウ	—	0.80	54.60	—	—	1.50	—	
同	0.30	—	54.90	2.8	3.0	3.50	1.50	
同	0	—	55.00	3.3	3.4	3.70	1.00	
同	—	1.15	56.20	2.4	2.4	3.00	1.60	
ケヤマハンノキ	1.50	—	57.50	2.2	2.2	2.50	1.60	
同	1.60	—	57.80	2.3	2.4	3.00	1.50	
同	1.45	—	58.20	2.0	2.0	2.00	0.80	
同	1.75	—	58.50	4.4	4.4	4.00	2.00	
ヤマグハ	—	2.50	62.50	2.0	2.0	3.00	1.00	
トドマツ	—	0.05	63.40	—	—	0.40	—	
ヤマグハ	—	2.00	64.00	3.8	3.8	4.00	2.00	
同	—	2.50	64.00	3.8	3.8	4.00	1.50	
ケヤマハンノキ	—	1.30	72.00	6.8	6.8	3.50	2.50	
同	—	1.30	72.10	38.6	41.2	—	—	伐根
同	—	3.20	73.80	22.0	21.2	9.00	3.00	
シナノキ	—	2.45	76.10	2.4	2.6	2.30	1.50	

VII. 21, 1933. 調査.

尙本帯狀標準區劃地内トドマツ多く、笹類の少き所の下層の(1m²小標準區劃地を取りて下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 数	植 物 名	本 数
エゾユヅリハ	14	オホバスノキ	1
オクヤマザサ	4	エゾクロウソゴ	1
ハナヒリノキ	4	コ マ ュ ミ	1
ツルシキミ	4	ス ゲ 類	多数
ムシカリ	1		

B. 北東斜面潤葉樹林

(8×150m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は本流の南西側、標高295mより北方に分走せる小尾根附近(本流より150m)より流畔に至る北東斜面の峻阻地(約35°)にして、基岩は輝緑凝灰岩なり。

此の斜面はオヒヨウ、シナノキ、エゾイタヤ等を主とする潤葉樹林にして、ダケカンバ、ヒロハキハダ、ヤマグハ等を混す。下層はオクヤマザサ、ネマガリダケ等優勢にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾマユミ等あり。最下層にはリヤウメンシダ、ジウモンジシダ、ヲシダ、サカゲキノデ、ハクマウキノデ、イハガネゼンマイ、ヒトリシヅカ、エゾシヤウマ、コンロンサウ、ミヤマスマミレ、ルキエフボタン、サンカエフ、ザゼンサウ、エンレイサウ、エゾウバユリ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブダウ、ツタウルシ、ミヤマタタビ等生じ、稍々鬱閉の破れし所には笹類の間にオニシモツケ、オホイタドリ、ハナウド、エゾニウ、ウラゲヨブスマサウ、ハンゴンサウ、オホブキ等の大型草本混す。尙本標準區劃地内下部(y70m—y100m)にヤマグハの多き所あり。下層は笹類旺盛にしてオニシモツケ、ハナウド、ハンゴンサウ、アザミ類、ヤマブダウ等生す。

本帯状標準區劃地始端より112m(y)にて平坦地(幅31米)となり、斜面の終れる所より幅5米の湿地ありてエゾリウキンクワ、ミツバタネツケバナ、キツリフネ、ミミカウモリ、カサスゲ等生す。此の平坦地にはケヤマハンノキ、オヒヨウ、ヤマグハ等散生し、下層はオクヤマザサ優勢にしてエゾアヂサキ、ジウモンジシダ、ハンゴンサウ、ザゼンサウ、ヤマブダウ、アマチヤヅル等生す。更に此の平坦地が本流水面に接する傾斜面(NE 40°)に生ずる下草は次の如し。

ジウモンジシダ、クジヤクシダ、オホバイラクサ、エゾシヤウマ、ルキエフシヤウマ、ヤマブキシヤウマ、ヒメイチゲ、キツリフネ、ハナウド、ミヤマタウバナ、エゾオホバセンキウ、エゾカラマツ、クルマバサウ、ウラゲヨブスマサウ、オホバタケシマラン、ゴマナ、ヤマブダウ、テウセンゴミン等。

本帯状標準區劃地始端附近の尾根筋は針潤混淆林にして、トドマツ(胸高直徑38cm; 樹高16m)多く、エゾマツ混じ、ダケカンバ、ミヅナラ、エゾイタヤ、シナノキ、エゾナナカマド、シロザクラ、ホホノキ等生す。下層はオクヤマザサ優勢なれど、餘り密ならず。灌木にはムシカリ、コエウラク、コマユミ、オホバスノキ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、エゾシヤウマ、オクエゾサイシン、ヒロハヒメイチゲ、アザミ類等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブダウ、テウセン

(112)

ゴミシ等生す。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(五十表)

第 五 十 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
ト ド マ ツ	—	0.40	0	10.0	10.8	9.00	6.00	
エ ソ マ ツ	—	0.50	0.30	—	—	0.55	—	
エ ソ イ タ ヤ	0	—	0.50	—	—	1.00	—	
ダ ケ カ ン パ	—	1.75	1.10	42.8	47.6	13.50	7.00	
ト ド マ ツ	—	2.00	1.70	8.6	8.6	5.00	—	枯 損
同	0.35	—	1.90	18.6	19.2	8.50	5.50	
同	0.30	—	2.00	—	—	0.80	—	
ホ ホ ノ キ	2.10	—	2.20	10.0	10.0	8.50	5.00	
同	3.00	—	2.20	6.2	7.2	5.50	2.50	
同	1.85	—	2.50	20.0	21.4	10.00	6.00	
イ チ キ	—	0.85	2.80	4.4	4.8	2.20	0.60	先 折
ト ド マ ツ	—	2.15	4.00	10.0	10.2	5.00	2.70	
同	—	3.15	4.10	38.4	34.0	—	—	枯 損
イ チ キ	0.10	—	4.20	8.0	8.6	5.00	2.70	
ト ド マ ツ	3.60	—	5.00	20.0	20.4	8.00	—	枯 損
同	2.40	—	5.60	19.4	21.6	10.00	4.50	
ベ ニ イ タ ヤ	1.30	—	8.30	33.0	33.0	11.50	7.00	
同	1.70	—	8.30	38.0	38.2	11.00	3.20	
ム シ カ リ	—	1.70	9.30	—	—	2.15	—	
同	1.10	—	9.40	—	—	2.20	—	
同	—	1.00	9.80	—	—	2.30	—	
同	1.70	—	10.60	—	—	3.00	—	
同	—	1.20	12.40	—	—	2.30	—	
同	—	1.65	12.40	—	—	2.50	—	
同	—	1.10	12.60	—	—	2.50	—	
同	—	2.40	15.00	—	—	2.50	—	
同	1.25	—	16.40	—	—	2.10	—	
同	1.10	—	16.60	—	—	2.20	—	
ト ド マ ツ	0.10	—	19.40	15.2	15.0	8.50	3.50	
オ ヒ ヨ ヅ	0.10	—	21.00	3.4	3.4	3.00	1.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	オ ヒ ヨ ヲ	—		3.00	20.50			
ト ド マ ツ	0.45	—	21.60	14.0	13.6	8.50	3.50	
ム シ カ リ	1.00	—	22.00	—	—	2.50	—	
同	1.05	—	22.00	—	—	2.50	—	
ト ド マ ツ	—	0.60	25.15	8.4	8.4	6.00	3.00	
オ ヒ ヨ ヲ	3.35	—	26.70	4.0	4.0	3.50	1.60	
同	3.80	—	27.20	3.8	3.8	3.00	1.00	
同	—	2.90	29.60	19.4	20.0	13.00	3.00	
ト ド マ ツ	—	3.35	29.60	14.0	14.6	10.00	3.50	
オ ヒ ヨ ヲ	—	2.55	30.00	—	—	2.70	—	
同	2.75	—	30.10	2.6	2.6	4.00	2.00	
同	1.65	—	30.30	8.2	8.6	6.00	3.20	
同	2.75	—	32.50	2.0	2.0	3.50	2.00	
同	3.25	—	34.50	9.6	9.8	8.50	4.00	
シ ナ ノ キ	4.00	—	41.00	31.0	32.0	15.00	6.00	
同	4.00	—	41.10	31.0	33.0	16.00	10.00	
ベ ニ イ タ ヤ	0.60	—	40.50	16.2	16.0	8.00	2.30	
シ ナ ノ キ	2.95	—	41.40	—	—	2.50	—	
同	3.20	—	41.50	5.0	5.0	4.00	—	
オ ヒ ヨ ヲ	—	1.35	42.30	4.8	4.8	4.00	1.10	
同	—	3.45	44.80	43.0	41.6	16.50	7.50	
ダ ケ カ ン バ	3.30	—	45.50	52.6	44.0	—	—	尤折
同	2.60	—	46.00	80.0	68.0	18.00	7.00	
オ ヒ ヨ ヲ	—	3.55	46.80	23.4	23.0	12.00	5.00	
エ ヅ イ タ ヤ	—	2.15	47.20	—	—	2.50	—	
同	—	2.25	47.20	—	—	2.50	—	
シ ナ ノ キ	—	3.90	49.90	—	—	4.00	1.50	
同	—	3.45	50.00	—	—	2.30	1.00	
ベ ニ イ タ ヤ	2.55	—	55.50	32.2	35.6	14.00	1.80	
同	0.85	—	56.70	5.2	5.2	5.50	3.00	
シ ナ ノ キ	—	3.80	58.10	2.6	2.6	2.50	0.80	
同	—	3.70	58.20	6.4	6.8	3.50	1.50	
ベ ニ イ タ ヤ	0.20	—	58.20	15.0	15.6	10.00	2.50	
同	1.00	—	58.20	3.0	3.0	2.80	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	シナノキ	—		3.80	58.20			
ヤマグハ	3.00	—	63.60	—	—	3.50	1.00	
シナノキ	4.00	—	67.00	—	—	2.40	1.50	
同	4.00	—	67.10	—	—	3.00	2.00	
同	4.00	—	67.60	—	—	2.50	1.50	
ヤマグハ	—	1.85	69.00	—	—	3.80	2.00	
同	—	0.80	73.00	—	—	3.20	2.00	
同	0	—	74.00	6.4	6.4	5.00	2.00	
シウリザクラ	0.10	—	75.80	—	—	3.00	—	
ヤマグハ	—	0.60	80.00	11.0	10.0	6.00	1.50	
同	—	1.85	80.00	1.8	1.8	5.50	3.00	
同	—	2.50	80.30	2.0	2.0	2.50	1.30	
同	—	1.55	86.80	6.0	5.8	6.00	1.00	
同	1.30	—	87.00	4.4	4.4	3.50	1.20	
同	—	2.00	87.00	—	—	4.00	—	
同	—	3.50	87.00	3.4	3.4	3.80	1.40	
同	—	2.70	88.20	5.0	5.0	5.00	1.00	
同	—	1.50	90.50	5.0	4.6	4.50	1.50	
同	—	2.55	91.30	5.8	5.8	4.50	2.00	
エゾイタヤ	1.70	—	93.20	45.0	52.0	15.00	2.00	
ヤマグハ	—	0.80	93.50	4.2	4.2	3.50	1.50	
同	—	3.15	99.60	4.7	4.7	5.00	1.30	
オヒヨウ	—	0.40	100.00	51.8	50.6	20.00	6.00	
同	0.50	—	100.50	41.2	38.0	17.00	7.00	
同	2.00	—	108.00	49.0	71.0	18.00	4.00	
ケヤマハンノキ	0.10	—	127.00	25.6	29.9	14.00	5.00	
同	—	0.10	127.00	18.8	23.0	10.00	4.00	
同	—	1.80	127.00	31.0	34.4	—	5.00	枯折損
トドマツ	—	3.10	144.00	60.2	64.4	9.00	—	枯
エゾイタヤ	—	2.70	146.00	1.2	1.2	2.00	1.20	
オヒヨウ	—	2.90	146.00	40.6	42.2	12.00	7.00	枯損
エゾイタヤ	3.40	—	147.00	5.4	5.4	4.00	1.90	

尙本帯狀標準區劃地内の下層の (1.5m)² 小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植 物 名	本 數	植 物 名	本 數
ム シ カ リ	13	ジウモンジシダ	1
ネ マ ガ リ ダ ケ	11	コ ン ロ ン サ ウ	1
ヒロハヒメイチゲ	10	ヤ マ ア ダ ウ	1
テウセンゴミシ	2	ミヤママタタビ	1

第 二 節 搦鉢山に於ける方位に依る林相の變化

1. 搦鉢山に於ける方位に依る林相變化の概相

搦鉢山は標高482m、天鹽第二演習林間寒別川支流なるスボロマツボロ澤本流の上流々域に位し、東方700mにして、北見、天鹽國境に至る。(第二十二圖参照—56頁)

北方はスボロマツボロ澤本流の上流を隔て知駒岳(標高532m)山塊の針潤混淆林に對し、東方は國境山稜の針葉樹林に連り、南方にてはスボロマツボロ澤支流を隔てて、國境より西方に走れる尾根の針葉樹林に面し、西方はスボロマツボロ澤の二岐の針葉樹多き森林に終る。

2. 搦鉢山に於ける方位に依る林相變化の標準地

方位に依る林相の變化研究の爲、搦鉢山頂に略々東西南北に4個の帶狀標準區劃地を取れり。

A. 東面 (5×300m²) 帶狀標準區劃地

本帶狀標準區劃地は山頂より東方國境山稜に至る尾根に従ひ略々東方に取れり。此の斜面は傾斜15—26°にして、急斜地なれど區劃地の下部に至れば緩斜地となる。基岩は片岩類(神威古潭層)にして、下部緩斜地に至りては蛇紋岩となる。

本面山頂附近はチシマザクラ、タカネナナカマド等多く、アカミノイヌツグ混じ、下層はチシマザサ旺盛にして、灌木にはムシカリ、オホバスノキ、エゾクロウスゴ等生じ、最下層にはツルツグ、ツルシキミ、シラネワラビ、トゲナシゴエフイチゴ、ヒロハヒメイチゲ、エゾヨツバムグラ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。約40m(y)より以下はダケカンバ林となり、ダケカンバ疎生し、ナナカマド、ミヅナラ、ベニイタヤ等の矮生樹生じ、折々シナノキの矮生樹(高さ1—2m)の群團狀に生ぜる所あり。下層はチシマザサ、オクヤマザサ(高さ2.1m)旺盛にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ムラサキツリバナ、オホバスノキ、ハナヒリノキ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルツグ、ツルシキミ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ミヤマワラビ、ジウモンジシダ、トラノヲシダ、オクエゾサイシン、シラオヒハコベ、トゲナシゴエフイチゴ、ヒロハヒメイチゲ、クルマバサウ、エゾヨツバムグラ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、セウゼウスグ、オホマヒヅルサウ、オホバタケシマラン、ギヤウジヤニンニク等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、エゾサルナシ、ミヤママタタビ等生ず。

高度430m以下はシナノキ—ミヅナラ林型となるも、その發達は著しからずしてダケカンバ多

く、ミヅナラ、シナノキ等の他ベニイタヤ、エゾナナカマド等を伴ひ、又ミヤマハンノキの生ぜる所あり。下層は極めて旺盛なるオクヤマザサ(高さ3.1m)により占められ、灌木にはチシマザクラ、ムラサキツリバナ、ヒロハツリバナ、ムシカリ、ノリノキ、オホバスノキ、エゾユヅリハ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ホソバタウゲシバ、オクエゾサイシン、トゲナシゴエフイチゴ、ヒロハヒメイチゲ、アカミノルキエフシヤウマ、タニギキヤウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、ミヤママタタビ等生ず。更に下りて250m(y)附近よりダケカンバ、ナナカマド等にトドマツ混入して針濶混生林となる。(時にエゾバツコヤナギ散生す)下層はオクヤマザサ密生し、長大となりて高さ3.5mに達し、灌木にはムシカリ、コエウラク、オホバスノキ、エゾクロウスゴ、エゾユヅリハ等生じ、最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ホソバタウゲシバ、ザゼンサウ、セウゼウスダ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツタウルシあり。

尙本區劃地より下部は緩斜地にして、エゾマツ、トドマツ、ダケカンバ、シナノキ、ナナカマド等の針濶混生林となり、國境沿の山稜に至る。下層はオクヤマザサ極めて旺盛にして密生し、灌木にはムシカリ、ノリノキ等生じ、最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、オクエゾサイシン、ヒロハヒメイチゲ、セウゼウスダ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第五十一表)

第 五 十 一 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
アカミノイヌツゲ	0	—	0	6.0	6.3	2.80	—	
タカネナナカマド	0	—	0.10	3.8	3.8	2.40	1.30	
同	0.95	—	3.30	6.0	6.0	2.00	0.70	
同	0	—	4.00	4.2	4.2	2.40	0.90	
同	—	1.15	4.30	4.0	4.0	2.20	1.00	
ナナカマド	—	1.70	4.65	17.4	15.0	3.40	1.60	
アカミノイヌツゲ	0.78	—	5.10	4.0	4.2	3.00	1.00	
同	1.00	—	5.20	2.4	2.4	2.40	1.70	
ムシカリ	2.05	—	7.70	—	—	2.70	—	
ミヅナラ	2.00	—	7.85	3.4	3.4	—	—	枯 損
タカネナナカマド	—	1.50	9.00	5.2	5.4	3.70	1.50	
同	0	—	9.40	5.0	5.0	3.50	2.30	
同	—	0.90	9.50	5.2	5.0	2.40	1.70	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	タカネナナカマド	—		1.10	9.90			
チシマザクラ	2.00	—	10.50	5.0	5.0	3.00	1.00	
タカネナナカマド	—	1.00	10.75	4.0	5.0	2.50	1.30	
ミヅナラ	0.85	—	16.60	—	—	1.10	—	
タカネナナカマド	—	2.30	18.90	5.0	5.4	3.30	0.70	
同	—	2.42	19.00	4.0	4.0	1.50	1.20	
同	—	2.25	19.25	3.2	3.8	2.30	—	
ベニイタヤ	—	2.25	19.55	1.4	1.4	1.50	—	
ダケカンバ	0.30	—	19.90	10.2	10.8	7.00	4.00	
同	—	1.73	20.30	17.0	20.0	7.00	3.50	
タカネナナカマド	0	—	21.00	3.4	3.2	3.50	2.00	
チシマザクラ	0	—	26.70	10.0	10.0	4.00	1.50	
同	—	1.00	27.70	12.0	10.4	5.50	0.70	
同	—	1.80	27.90	18.0	18.0	5.00	2.50	
同	1.45	—	31.00	5.0	5.0	4.00	0.80	
タカネナナカマド	0.55	—	39.50	2.0	2.0	1.30	—	
ダケカンバ	0.75	—	40.00	48.0	47.0	10.00	1.80	
エゾナナカマド	0	—	41.50	8.8	9.0	6.00	1.50	
ノリノキ	0.70	—	49.55	—	—	1.00	—	
チシマザクラ	0.90	—	52.00	—	—	1.10	—	
ダケカンバ	—	1.85	54.20	3.0	3.2	2.80	—	
チシマザクラ	0.60	—	55.00	—	—	1.15	—	
シナノキ	—	1.20	56.20	3.6	3.6	2.80	—	
ベニイタヤ	—	0.95	57.05	—	—	1.50	—	
エゾナナカマド	0	—	60.60	18.0	21.4	6.00	1.00	
同	1.25	—	62.00	10.2	10.6	4.50	1.50	
シナノキ	0.55	—	62.70	—	—	1.40	—	
同	0.40	—	63.70	—	—	1.40	—	
同	—	1.20	63.70	1.6	1.6	1.35	—	
同	—	0.40	63.80	3.2	3.3	1.50	—	
同	1.40	—	64.00	3.4	3.2	2.00	—	
ダケカンバ	1.85	—	64.00	16.4	15.5	6.00	2.40	
シナノキ	1.00	—	64.15	2.0	2.0	1.50	—	
同	—	1.30	67.80	2.6	2.4	1.10	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	1.15	—	67.85	4.8	4.7	2.50	1.80	
ダケカンバ	—	1.80	69.00	2.6	3.0	2.30	—	
ベニイタヤ	—	1.70	69.75	1.8	1.8	2.50	—	
チシマザクラ	1.60	—	71.10	—	—	2.30	—	
ミヅナラ	—	0.60	71.10	5.0	5.4	3.30	1.50	
ダケカンバ	1.25	—	73.10	5.8	5.6	2.50	1.90	
ミヅナラ	1.95	—	74.70	3.0	3.2	2.00	—	
ムシカリ	0.70	—	75.40	—	—	1.90	—	
シナノキ	—	0.75	76.70	3.6	3.6	2.15	—	
同	—	1.35	77.40	3.0	2.8	2.25	—	
同	0.65	—	78.00	—	—	1.40	—	
同	—	0.90	78.85	2.7	2.6	2.20	—	
同	—	0.10	79.70	2.8	2.7	2.30	—	
ムシカリ	—	0.90	101.40	—	—	1.90	—	
同	1.25	—	103.60	—	—	1.80	—	
ミヅナラ	—	1.75	110.20	40.0	47.0	8.00	4.50	
同	—	1.70	110.60	50.0	50.5	7.00	2.50	
ダケカンバ	0	—	114.50	4.6	5.0	3.30	2.50	
同	1.70	—	114.60	9.0	8.8	5.20	3.00	
同	0.65	—	116.00	8.0	8.0	6.00	4.00	
同	0	—	129.00	47.0	46.0	10.50	5.50	
ムシカリ	0.70	—	133.30	—	—	1.90	—	
ベニイタヤ	1.00	—	144.30	6.4	7.0	2.50	1.00	
同	1.50	—	144.60	18.2	17.0	6.50	1.60	
ムシカリ	—	1.00	145.50	—	—	2.60	—	
ミヅナラ	—	1.00	147.00	68.2	79.0	11.00	2.30	
エゾナナカマド	2.40	—	147.35	10.0	10.0	3.00	2.50	
ヒロハツリバナ	—	0.35	148.90	3.0	2.8	3.30	—	
ミヅナラ	—	0.40	152.80	4.2	4.4	3.60	1.80	
ナナカマド	1.90	—	153.00	—	—	2.40	—	
ベニイタヤ	2.00	—	153.00	2.8	2.4	2.40	—	
ミヅナラ	—	0.25	153.50	—	—	1.00	—	
エゾナナカマド	—	1.30	154.40	8.0	7.8	5.00	2.00	
ノリノキ	0	—	154.70	—	—	2.00	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ダケカシバ	—		1.50	155.00			
ミヅナラ	1.70	—	155.75	45.0	45.0	—	—	元折
エゾナナカマド	1.40	—	156.10	10.0	10.2	5.50	2.00	
チシマザクラ	—	0.30	159.90	6.0	6.0	4.00	1.70	
ダケカシバ	—	1.00	167.50	75.0	75.0	12.00	4.00	
チシマザクラ	—	0.20	168.00	—	—	2.00	—	
ダケカシバ	0.85	—	178.00	27.4	29.0	12.00	4.30	
同	—	1.75	179.30	36.4	35.3	11.00	3.60	
ベニイタヤ	0.75	—	180.10	—	—	3.00	—	
ダケカシバ	—	2.50	180.20	19.0	17.3	11.00	7.50	
シナノキ	—	2.20	184.50	5.2	4.8	5.00	2.00	
同	—	1.80	185.15	15.0	14.6	9.00	3.70	
同	—	1.75	185.20	34.1	28.2	10.00	2.00	
同	—	2.00	186.80	2.8	2.4	2.50	1.00	
同	—	2.00	187.00	5.3	4.4	3.00	1.80	
同	—	2.25	190.10	17.0	15.0	9.00	2.40	
ムシカリ	—	2.50	195.80	—	—	2.50	—	
ダケカシバ	1.80	—	199.50	54.8	47.0	13.00	2.80	
ミヅナラ	—	1.45	200.30	30.2	27.1	9.00	2.30	
ダケカシバ	—	1.20	209.50	68.0	68.0	13.00	3.80	
シナノキ	—	1.50	215.85	29.4	29.5	10.00	1.20	
同	0.70	—	219.40	7.4	7.4	4.00	2.00	
ダケカシバ	—	1.40	231.80	50.4	44.1	11.00	3.00	
同	1.00	—	232.50	57.0	56.4	—	—	枯損
ミヤマハシノキ	—	1.30	234.60	5.3	5.6	6.00	3.00	
同	2.50	—	236.00	16.0	16.4	7.00	1.50	
ダケカシバ	—	1.60	236.00	52.1	53.0	12.00	4.00	
ナナカマド	—	1.20	237.00	8.0	6.8	4.30	1.96	
トドマツ	—	1.30	252.50	43.6	44.6	—	—	枯損
同	—	2.00	260.80	25.4	24.6	10.00	3.00	
ダケカシバ	1.65	—	270.00	17.3	17.2	12.00	5.00	
同	1.00	—	270.20	27.0	26.0	12.00	5.00	
同	0.70	—	270.30	12.0	12.1	9.00	2.30	
ナナカマド	2.00	—	271.00	26.0	28.0	11.00	2.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ダケカンバ	2.50	—	272.20	46.0	45.0	13.00	4.50	
エゾノバツコヤナギ	1.40	—	280.00	22.5	22.0	7.00	2.00	
ナナカマド	2.00	—	288.80	17.0	17.3	6.00	1.50	
トドマツ	0	—	299.00	42.0	36.0	12.00	3.00	

VIII. 18, 1933. 調査.

尙本帯標準區劃地内、針濶混淆林となれる所の下層の(1.5m)²小標準區劃地を取りて、下草を調査せしに次の如し。

植物名	本数	備考	植物名	本数
オクヤマザサ	38	高さ3m	ツルシキミ	7
ホソバタウゲシバ	20		ツルツゲ	5
シラネワラビ	12		オホバスノキ	3
ムシカリ	8		ザゼンサウ	2
ツルアヂサキ	8		ツタウルシ	2

B. 西面(5×500m)² 帯標準區劃地

本帯標準區劃地は山頂より西方、スボロマツボロ澤上流二岐に至る刈分小逕に従ひ略々西方に取れり。此の斜面は傾斜18°—34°にして、概ね急斜地多く、基岩は片岩類(神威古潭層)にして、下方は蛇紋岩なり。

本面山頂附近はアカミノイヌツグが多く、タカネナナカマド混じ、チシマザクラ、イチキ等あり。また一小部低きシナノキの多き所あり。又ミヅナラの幼樹混す。下層は旺盛なるチシマザサ及オクヤマザサ(最高2.3m)により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ、ハナヒリノキ、オホバスノキ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、ミヤマワラビ、ホソバタウゲシバ、ウチハマンネンズギ、シラオヒハコベ、ヒロハヒメイチゲ、ミミカウモリ、タニギキヤウ、セウゼウスゲ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキあり。頂上より30m(y)にしてアカミノイヌツグ減じ、疎なるダケカンバ林となる。之より以下100m(y)まではダケカンバを主とし、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ等の幼樹が笹類に混生せり。高度440m以下400mまではシナノキ—ミヅナラ林型にして、傾斜は18°—30°を示し、急斜地多く、ダケカンバ、センノキ、エゾイタヤ、ペニイタヤ、ナナカマド等混じ、下層はオクヤマザサ(高さ2.2m)優勢にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロツリバナ等あり。最下層にはツルシキミ、シラネワラビ、ヲシダ、エゾシヤウマ、サンカエフ、トゲナシゴエフイチゴ、エゾニウ、ハナウド、クルマバサウ、アザミ類、スゲ類、オホマヒヅルサウ等、又、蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブドウ、ツタウルシ、テウセンゴミン等生す。更に下りて高度400m近くなれば傾斜約28°となり、シナノキ、エゾ

イタヤ, ダケカンバ, ミヅナラ, エゾナナカマド等生じ, エゾマツ, トドマツ少しく混生し, 下層はオクヤマザサ(高さ2.4m)により占められ, 灌木にはムシカリ, ヒロハツリバナ等あり。最下層にはツルツゲ, ツルシキミ, ハヒイヌツゲ, エゾシヤウマ, トゲナシゴエフイチゴ, エゾヨツバムグラ等, 又蔓莖類にはツルアヂサキ, ヤマブドウ, ツタウルシ等生ず。高度390m以下は針葉樹の多き林となり, 傾斜18°—34°にして, 基岩は蛇紋岩となる。針葉樹にはトドマツ, エゾマツ多く, イチキ混じ, 又闊葉樹にはダケカンバ, シナノキ, ペニイタヤ, ナナカマド等生ず。下層はオクヤマザサ優勢にして, 灌木にはムシカリ, ノリノキ, エゾクロウスゴ, ハナヒリノキ等生じ, 最下層にはツルツゲ, ツルシキミ, シラネワラビ, オホバシヨリマ, ミヤマワラビ, ジウモンジシダ, オクエゾサイシン, エゾシヤウマ, サンカエフ, ヒロハヒメイチゲ, オニシモツケ, トゲナシゴエフイチゴ, タニギキヤウ, ミミカウモリ, スゲ類, オホマヒヅルサウ等, 又蔓莖類にはヤマブドウ, ツタウルシ等生ず。

今, 本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第五十二表)

第 五 十 二 表

樹 種	xm		ym	胸 高 直 徑 cm		樹 高 m	枝 下 m	備 考
	+	-		N-S	E-W			
タカネナナカマド	0	—	0	4.0	3.8	2.30	1.25	
アカミノイヌツゲ	0.50	—	0.28	4.5	4.5	2.10	0.90	
同	0	—	0.37	5.6	5.6	3.10	0.70	
同	—	0.15	0.40	3.8	4.2	2.50	1.50	
タカネナナカマド	2.20	—	0.45	3.4	3.6	2.60	—	
アカミノイヌツゲ	1.53	—	1.60	3.9	3.9	4.40	—	
同	2.30	—	3.50	4.4	4.4	3.50	—	
同	2.20	—	4.50	—	—	3.50	—	
チシマザクラ	0	—	6.00	6.5	6.5	4.50	—	
アカミノイヌツゲ	1.98	—	6.35	5.0	5.0	3.00	—	
同	2.45	—	7.10	5.3	5.3	3.50	—	
同	2.50	—	8.00	5.3	5.3	3.00	—	
同	2.30	—	10.00	—	—	2.50	—	
同	0	—	11.30	5.5	5.5	3.00	—	
同	0	—	11.50	7.0	7.0	3.50	—	
タカネナナカマド	0.85	—	13.00	2.6	2.6	1.50	—	
同	0	—	14.00	5.0	5.0	3.50	—	
チシマザクラ	0.80	—	16.00	8.4	8.4	4.00	—	
イ チ キ	—	0.60	17.30	5.0	5.0	2.50	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
チシマザクラ	2.00	—	17.40	6.9	6.9	3.50	—	
シナノキ	2.30	—	21.30	2.8	2.8	1.20	—	
アカミノイヌツゲ	2.30	—	22.00	4.1	4.6	2.00	—	
同	1.50	—	22.40	5.4	5.3	2.50	—	
シナノキ	2.50	—	23.70	1.7	1.7	1.50	—	
アカミノイヌツゲ	1.12	—	25.00	7.2	7.6	3.00	—	
同	2.15	—	27.30	3.6	3.6	2.50	—	
同	1.93	—	28.00	—	—	1.50	—	
同	2.50	—	29.40	—	—	1.50	—	
同	1.93	—	29.85	4.4	4.4	2.50	—	
同	2.30	—	30.15	3.9	3.9	2.70	—	
ノリノキ	—	1.20	31.00	—	—	1.50	—	
ムシカリ	0	—	32.15	—	—	1.00	—	
アカミノイヌツゲ	0	—	32.60	—	—	1.50	—	
タカネナナカマド	—	1.25	35.00	4.6	5.2	2.60	1.10	
アカミノイヌツゲ	1.50	—	35.50	5.6	5.3	3.00	—	
同	1.00	—	36.55	4.6	4.0	3.20	—	
ミヅナラ	0.25	—	37.90	2.2	1.9	1.80	—	
アカミノイヌツゲ	2.35	—	39.00	6.5	6.3	4.00	—	
ミヅナラ	—	0.85	39.30	—	—	1.30	—	
同	—	0.95	39.40	4.6	4.7	3.00	1.30	
ノリノキ	—	0.78	41.50	—	—	1.00	—	
アカミノイヌツゲ	0.35	—	44.00	3.0	2.9	2.50	—	
ミヅナラ	2.00	—	44.00	1.7	1.6	2.50	—	
アカミノイヌツゲ	2.13	—	44.55	2.5	2.4	3.00	—	
同	0.90	—	45.10	3.6	3.4	2.60	—	
ムシカリ	0.80	—	46.00	—	—	0.80	—	
同	2.50	—	47.00	—	—	2.50	—	
アカミノイヌツゲ	—	0.10	47.10	—	—	1.50	—	
ナナカマド	—	1.45	49.50	3.4	3.0	3.00	—	
ムシカリ	2.00	—	50.70	—	—	1.00	—	
同	—	0.40	53.20	—	—	1.55	—	
同	—	0.35	56.15	—	—	1.00	—	
ミヅナラ	—	0.85	57.60	—	—	1.00	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
チシマザクラ	—	1.65	57.70	—	—	2.50	—	
ムシカリ	1.20	—	60.30	—	—	1.40	—	
同	1.30	—	62.00	—	—	1.50	—	
ベニイタヤ	1.00	—	64.00	—	—	1.70	—	
同	2.13	—	64.10	—	—	2.00	—	
ムシカリ	0.90	—	64.25	—	—	2.00	—	
シナノキ	—	1.80	64.40	3.4	3.5	2.50	1.30	
ミヅナラ	1.08	—	64.55	—	—	1.80	—	
ムシカリ	—	0.70	65.40	—	—	1.75	—	
同	1.30	—	67.00	—	—	2.00	—	
ベニイタヤ	—	2.00	68.45	7.0	6.8	3.00	—	
同	—	1.30	68.60	4.1	3.8	3.30	1.80	
ヒロハツリバナ	1.10	—	69.55	—	—	2.30	—	
ミヅナラ	—	2.00	69.90	41.6	39.8	5.00	1.50	
ムシカリ	—	0.30	71.25	—	—	1.30	—	
ナナカマド	—	0.50	72.40	4.0	3.8	2.50	—	
同	—	1.90	73.35	8.0	8.6	4.00	1.80	
シナノキ	1.50	—	75.70	—	—	2.40	—	
同	2.00	—	76.80	—	—	2.00	—	
チシマザクラ	—	1.98	78.40	3.4	3.6	3.00	1.50	
同	—	1.65	82.30	4.7	4.9	2.50	0.50	
シナノキ	—	0.75	84.85	—	—	2.00	—	
同	0	—	91.10	3.8	3.8	2.60	1.20	
ムシカリ	1.95	—	92.05	—	—	2.50	—	
ミヅナラ	—	1.20	103.50	67.3	64.8	7.00	2.30	
タラノキ	0.60	—	120.35	4.2	4.0	2.00	—	
ミヅナラ	—	0.35	129.50	45.7	45.0	—	—	腐朽木ニ テ根株直 徑
ダケカンバ	—	0.40	147.85	18.6	19.8	7.50	2.80	
ミヅナラ	—	2.50	157.60	59.0	66.0	10.00	2.00	
ナナカマド	2.50	—	162.80	4.2	4.0	3.30	—	
ミヅナラ	—	1.65	176.00	47.00	50.6	7.50	1.80	
同	—	1.78	181.00	51.00	51.4	8.00	2.35	
同	2.18	—	188.40	36.2	38.0	8.00	4.00	
ベニイタヤ	0.90	—	196.85	16.2	18.4	5.50	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ベニイタヤ	—	2.45	206.20	10.0	11.0	7.00	4.00	
同	2.25	—	206.50	36.2	36.0	7.50	1.30	
シナノキ	0.15	—	212.90	23.8	25.8	8.00	2.50	
同	0.40	—	213.20	38.4	38.2	10.00	1.70	
ベニイタヤ	—	1.10	214.70	11.0	10.6	7.50	3.80	
同	0.35	—	218.35	23.0	21.6	7.00	1.40	
ミヅナラ	—	2.22	219.00	38.0	35.2	7.00	2.30	
ダケカンバ	2.50	—	220.50	38.2	34.7	7.00	2.00	
シナノキ	—	2.40	221.25	25.0	21.6	6.00	2.30	
ムシカリ	2.00	—	230.00	—	—	3.00	—	
ミヅナラ	1.15	—	254.45	22.2	23.5	6.50	2.30	
トドマツ	—	2.10	256.40	—	—	2.00	—	
シナノキ	1.70	—	256.50	15.8	16.2	6.50	4.30	
同	—	2.00	256.60	20.0	20.2	7.00	3.50	
ベニイタヤ	—	1.30	256.80	—	—	0.45	—	
シナノキ	—	1.65	256.90	—	—	0.60	—	
同	1.45	—	257.00	11.4	10.6	6.50	2.20	
同	—	1.70	258.40	5.2	5.0	3.60	1.00	
同	1.85	—	263.20	20.0	22.2	8.50	4.50	
同	1.45	—	263.70	5.6	5.8	4.20	2.00	
同	2.20	—	263.80	43.0	40.8	10.00	4.30	
同	1.30	—	263.90	38.0	35.6	11.00	3.00	
同	1.80	—	264.60	8.0	8.6	4.50	1.30	
ベニイタヤ	—	1.85	282.90	32.0	29.8	9.00	5.00	
エゾナナカマド	—	1.00	298.20	14.0	13.6	7.30	2.20	
エゾマツ	1.20	—	298.60	22.0	21.8	8.00	1.50	
ダケカンバ	2.00	—	298.85	19.8	20.0	9.00	6.50	
トドマツ	0.70	—	299.10	35.0	39.0	7.00	2.50	枯損
同	—	2.50	305.12	4.4	4.5	3.50	—	枯損
エゾマツ	—	2.50	307.00	118.0	126.0	17.00	4.50	
トドマツ	—	2.00	307.70	21.2	20.0	7.50	3.50	
ベニイタヤ	0	—	310.25	2.5	2.4	3.38	2.00	
エゾイタヤ	1.15	—	342.00	31.2	21.6	8.50	3.20	
ヒロハノキハダ	1.80	—	344.70	12.0	11.9	6.50	5.50	

y 338mニア
カエヤマツノ
密着胸木横ハ
レリ
(直徑 50cm)

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ダケカシバ	0.30	—	348.20	58.0	51.2	15.00	6.00	
ヒロハノキハダ	—	1.45	351.65	15.6	14.8	9.50	4.00	
同	1.80	—	354.30	20.0	18.4	—	—	枯損折
同	0.95	—	355.25	9.0	8.5	5.50	4.00	
ダケカシバ	—	0.95	360.20	—	—	0.90	—	y 359.5mニ シナノキノ倒 木アリ (直径 50cm)
同	—	1.10	360.20	—	—	0.85	—	
シナノキ	—	2.20	360.60	17.4	16.5	7.50	5.50	
同	—	1.75	360.65	15.0	12.8	8.00	6.00	
同	—	1.20	361.80	3.0	2.9	3.30	0.70	
ナナカマド	—	1.10	362.20	3.8	3.5	2.80	1.70	枯損
同	—	0.40	366.00	4.0	3.6	4.50	2.00	
ベニイタヤ	—	1.90	366.00	22.0	23.0	9.50	4.00	
同	0	—	367.00	25.0	24.0	12.00	4.80	
同	0	—	369.30	23.0	21.8	11.00	4.90	
ダケカシバ	—	0.70	369.30	53.0	51.0	16.0	7.00	
ムシカリ	—	0.60	385.00	—	—	1.50	—	
ベニイタヤ	—	0.80	388.40	25.6	25.8	12.00	5.50	
ナナカマド	—	0.90	388.60	23.2	23.4	—	—	元折
ダケカシバ	—	0.65	389.50	75.0	87.0	18.00	6.00	
シナノキ	0.75	—	396.45	11.2	11.0	—	—	枯損
同	0.55	—	396.90	6.8	6.0	5.50	2.80	
同	1.10	—	396.90	44.0	45.8	14.00	4.50	
ベニイタヤ	—	2.30	397.40	26.4	26.4	14.00	1.80	
ナナカマド	—	2.10	401.80	6.5	6.0	4.50	1.00	
トドマツ	—	2.50	405.00	44.0	41.6	16.0	3.50	
ベニイタヤ	—	0.90	410.10	3.4	4.6	2.80	1.00	
同	0	—	410.50	—	—	2.80	2.00	
ダケカシバ	—	1.40	411.20	45.0	44.0	16.00	6.50	
シナノキ	—	2.15	413.20	32.0	32.8	15.00	5.50	
エゾマツ	1.00	—	414.00	43.3	41.4	12.00	4.00	
トドマツ	2.20	—	416.50	14.0	11.2	4.50	3.30	
同	0.65	—	421.40	34.0	35.0	11.00	4.50	
同	1.20	—	428.00	21.2	22.0	11.00	6.00	
ベニイタヤ	0.60	—	430.00	10.0	10.4	6.00	2.20	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
イチキ	—	0.70	430.30	—	—	0.25	—	
トドマツ	—	0.45	451.00	20.4	18.0	11.00	6.50	
エゾマツ	0.60	—	455.40	120.0	115.0	26.00	7.00	
トドマツ	0.30	—	456.70	25.0	23.6	—	5.00	先折
エゾマツ	—	2.40	458.50	40.0	34.4	16.00	7.50	
トドマツ	—	2.40	458.60	15.0	13.4	6.00	3.00	
シナノキ	—	2.30	459.00	60.0	54.2	18.00	10.00	
同	—	2.40	459.90	51.7	53.0	19.00	6.00	
ムシカリ	—	1.70	460.80	—	—	2.30	—	
同	—	1.40	465.50	—	—	2.20	—	
トドマツ	0	—	482.00	4.0	3.4	2.20	1.40	
ダケカンバ	—	2.30	485.20	15.0	13.2	—	—	枯損
トドマツ	1.45	—	485.50	3.6	3.5	2.30	1.25	y 484mニトドマツノ倒木アリ(直徑 44cm)
同	—	0.60	493.80	67.0	60.0	19.00	9.00	
エゾナナカマド	—	0.30	494.30	7.0	7.0	17.00	8.00	
エゾマツ	—	1.40	496.00	92.0	96.0	17.00	—	枯損
エゾナナカマド	1.80	—	498.00	20.0	18.6	12.00	3.50	

VIII. 15—16, 1933. 調査.

C. 南面 (5×350m²) 帯狀標準區劃地

本帯狀標準區劃地は頂上より南方、スボロマツボロ澤上流に走れる尾根に従ひ、略々南方に取り。此の斜面は傾斜12°—38°にして急斜地多く、下部に至れば9°—15°の緩斜地となる。基岩は片岩類(神居古潭層)なれど、下部は蛇紋岩よりなる。

本面山頂に近き部分(山頂より60mの間)は傾斜18°—26°を示し、概して急斜地にしてアカミノイヌツゲの發達著しく、チシマザクラ、タカネナナカマド等を交へ、矮性のミヅナラ、シナノキ、エゾイタヤ等混じ、尙アカミノイヌツゲ多き所には、イチキ(最高2.5m)良く生ずることあり。下層はチシマザサ及オクヤマザサ(高さ2.2m)により占められ、更に灌木にはムシカリ、ノリノキ、ホザキナナカマド、ムラサキツリバナ、コエウラク、ハナヒリノキ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、カラスシキミ、シラネワラビ、ミヤマワラビ、ジウモンジシダ、ウチハマネンズギ、オクエゾサイシン、エゾシヤウマ、トゲナシゴエフイチゴ、ヒロハヒメイチゲ、クルマバサウ、エゾヨツバムグラ、ミミカウモリ、タニギキヤウ、スゲ類、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ、テウセンゴミシ、ミヤママタタビ等生ず。高度420m以上はダケカンバの疎林にして矮性のシナノキ(多)、エゾイタヤ、ミヅナラ等生じ、又イチキあり。下層

はオクヤマザサ（高さ3m）密生し、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ホザキナナカマド、エゾヘウタンボク、ヒロハツリバナ、エゾスグリ、ハナヒリノキ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、ジウモンジシダ、エゾシヤウマ、エゾニウ、エゾヨツバムグラ、ミミカウモリ、エゾヨモギ、セウゼウスグ等、又蔓莖類にはツタウルシ、テウセンゴミシ、ミヤママタタビ等生ず。

高度約420m以下にてはシナノキ—ミヅナラ林となり、ダケカンバの他にイチキ、エゾイタヤ、シロザクラ等を混するも、本林は餘り發達せず。下層はオクヤマザサ（高さ3m）優勢にして、灌木にはムシカリ、ムラサキツリバナ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、サカゲキノデ、コタニワタリ、トゲナシゴエフイチゴ、ヒロハヒメイチゲ、クルマバサウ、ミミカウモリ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブダウ、ツタウルシ、テウセンゴミシ等生ず。

高度380m附近に近くなれば、傾斜38°の嶮阻地にして、ダケカンバ、シナノキ、ミヅナラ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、ナナカマド等の林にアカエゾマツ、トドマツ等混入し、380m以下に至れば傾斜9°—18°の緩斜地となり、基岩は蛇紋岩にして、エゾマツ、トドマツ等にダケカンバ、シナノキ、ベニイタヤ、エゾイタヤ、ナナカマド、ヒロハキハダ、コシアブラ、エゾバツコヤナギ等の混する針濶混淆林となり、下層はオクヤマザサ（高さ3.2m）により占められ、灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾイボタ、エゾスグリ、ホザキナナカマド、ヒロハツリバナ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、サカゲキノデ、ジウモンジシダ、コタニワタリ、エゾシヤウマ、オクエゾサイシン、トゲナシゴエフイチゴ、ヒメイチゲ、ヒロハヒメイチゲ、レンブクサウ、クルマバサウ、ミミカウモリ、ザゼンサウ、スグ類、オホマヒヅルサウ、オホアマドコロ、エンレイサウ、ヒロハテンナンセウ、クルマユリ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ヤマブダウ、ツタウルシ、エゾサルナンシ、ミヤママタタビ等生ず。

尙本帯狀標準區劃地より下部は、トドマツ、エゾマツ、ダケカンバ等を主とする緩斜地の混淆林にして、下層はオクヤマザサ（高さ2.8m）密生し、灌木にはムシカリ、ノリノキ、ヒロハツリバナ、オホバスノキ等あり。最下層にはシラネワラビ、ミツバワウレン、トゲナシゴエフイチゴ、ミミカウモリ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツタウルシ生ず。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。（第五十三表）

第五十三表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
アカミノイヌツゲ	1.00	—	0	5.2	5.0	3.00	1.70	
タカネナナカマド	—	2.50	0	3.8	3.4	2.00	1.00	
チシマザクラ	—	0.60	1.00	3.0	2.8	3.80	2.30	
アカミノイヌツゲ	—	0.75	2.20	4.2	4.6	3.50	2.20	
ダケカンバ	1.20	—	2.90	11.2	14.4	5.50	2.50	
チシマザクラ	—	0.75	3.70	2.9	3.1	4.00	2.00	
アカミノイヌツゲ	1.70	—	4.00	4.4	4.5	3.50	1.00	
同	2.00	—	6.60	4.0	3.8	3.50	2.50	
ヤマウルシ	1.30	—	6.70	5.0	5.2	3.50	1.20	
アカミノイヌツゲ	—	2.50	7.00	6.4	6.2	4.00	1.30	
同	2.10	—	7.20	5.3	5.4	3.20	1.00	
同	—	1.55	7.20	5.6	5.2	3.00	1.00	
同	1.40	—	7.90	5.2	5.4	3.30	2.00	
同	—	0.60	8.20	5.0	4.8	3.50	2.00	
エゾイタヤ	2.50	—	9.80	6.2	8.0	3.50	1.60	
アカミノイヌツゲ	—	0.70	9.80	5.5	5.5	5.00	3.00	
チシマザクラ	—	2.10	10.00	4.9	4.6	3.10	2.10	
同	2.25	—	10.20	5.2	5.5	3.50	1.50	
同	—	2.25	10.45	7.0	7.4	3.50	1.00	
アカミノイヌツゲ	1.10	—	11.00	7.5	7.2	5.00	2.50	
同	—	2.10	11.40	4.0	3.8	2.30	1.00	
同	—	1.55	11.80	4.6	4.4	3.10	2.20	
同	1.40	—	13.30	9.0	9.2	4.00	1.50	
同	—	2.50	13.80	3.6	4.0	3.60	1.50	
同	—	1.50	13.90	4.8	4.6	3.00	0.50	
同	—	1.20	14.30	4.0	4.2	3.00	2.20	
同	2.15	—	15.00	3.7	3.8	4.00	1.00	
同	—	1.00	16.00	6.4	6.6	4.50	1.00	
同	1.20	—	18.70	4.1	4.0	3.00	1.50	
同	—	1.35	19.20	6.0	6.1	2.50	3.50	
同	—	1.35	19.45	5.5	5.2	3.50	0.80	
アカミノイヌツゲ	0.70	—	22.35	4.5	4.2	4.00	3.00	
イチキ	—	1.70	22.80	—	—	0.80	—	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
イチキ	—	1.25	23.20	—	—	0.60	—	
アカミノイヌツゲ	—	1.50	26.30	6.0	6.1	3.50	1.60	
同	—	1.55	26.65	4.3	5.0	2.50	1.50	
同	1.40	—	29.85	7.8	7.3	4.00	1.50	
イチキ	—	2.28	31.40	2.0	2.1	1.40	—	
アカミノイヌツゲ	—	1.60	32.30	6.1	6.2	3.00	1.00	
イチキ	—	1.78	33.00	—	—	1.00	—	
アカミノイヌツゲ	—	2.00	33.00	3.6	3.4	2.80	2.00	
同	—	2.35	33.00	3.6	3.1	3.00	1.80	
同	—	1.50	35.00	4.0	4.2	2.50	1.10	
同	1.00	—	36.25	5.0	5.2	3.00	1.50	
同	—	1.65	37.90	4.0	4.4	3.20	2.00	
同	0.20	—	39.80	3.8	4.0	3.20	1.00	
同	—	1.25	40.75	4.8	5.0	3.00	1.00	
同	0.50	—	42.00	4.9	4.7	2.80	1.20	
チシマザクラ	—	2.30	42.40	5.8	5.4	3.50	1.80	
アカミノイツヌゲ	—	1.80	43.10	3.4	3.2	2.20	1.00	
ノリノキ	0	—	43.20	—	—	1.20	—	
ダケカンバ	—	0.30	43.30	—	—	1.50	—	
チシマザクラ	—	2.10	43.30	4.5	4.4	2.50	1.00	
タカネナナカマド	—	2.15	44.70	3.7	3.8	2.30	1.10	
アカミノイヌツゲ	1.50	—	45.00	4.5	4.2	2.60	1.10	
同	—	1.10	45.10	3.4	3.3	2.20	1.20	
同	—	2.20	45.70	3.6	3.6	3.50	1.80	
ムシカリ	0	—	46.80	—	—	1.80	—	
ミヅナラ	1.30	—	47.50	2.6	2.1	2.20	1.60	
チシマザクラ	—	1.05	48.40	4.0	3.8	2.60	1.80	
アカミノイヌツゲ	—	0.95	52.45	4.2	3.6	3.50	1.80	
同	—	1.25	53.30	3.2	2.8	2.30	1.50	
同	0.10	—	53.70	3.0	3.6	2.30	1.00	
イチキ	—	1.80	54.00	5.4	5.6	1.00	0.50	
チシマザクラ	—	2.20	54.40	3.8	3.4	1.50	0.60	
アカミノイヌツゲ	—	2.30	55.00	4.2	4.0	2.70	1.50	
同	—	1.30	55.70	2.0	1.9	1.80	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	アカミノイヌツゲ	—		0.50	56.00			
イチキ	—	1.50	60.20	—	—	1.20	—	
同	—	0.50	60.80	—	—	1.00	—	
ミヅナラ	0	—	62.70	—	—	1.00	—	
エゾイタヤ	0.90	—	63.70	—	—	1.20	—	
シナノキ	—	1.80	64.40	—	—	1.50	—	
エゾイタヤ	0	—	65.00	—	—	1.30	—	
シナノキ	—	0.80	65.00	—	—	1.20	—	
同	—	0.85	65.90	—	—	1.10	—	
同	—	1.20	67.75	—	—	1.20	—	
同	0.60	—	68.10	—	—	1.40	—	
同	1.40	—	69.00	—	—	1.80	—	
同	0	—	69.80	—	—	1.50	—	
同	—	1.00	70.00	—	—	1.30	—	
同	0.30	—	70.30	2.4	2.4	1.70	1.00	
同	0.10	—	70.80	—	—	1.50	—	
同	—	0.40	70.80	3.0	3.0	2.10	1.30	
ムシカリ	0.10	—	73.70	—	—	1.20	—	
同	0	—	74.80	—	—	1.70	—	
ミヅナラ	—	0.90	76.00	—	—	1.50	—	
ムシカリ	0	—	78.30	—	—	2.30	—	
ダケカンバ	—	0.90	87.50	50.0	65.0	8.00	2.20	
イチキ	—	1.40	88.00	7.0	8.2	2.30	0.80	
エゾイタヤ	0.20	—	90.40	—	—	2.50	—	
シナノキ	—	1.00	92.30	—	—	1.20	—	
同	—	1.80	93.00	4.2	4.0	2.50	1.20	
同	—	2.50	93.00	3.8	4.0	2.30	0.70	
エゾイタヤ	0	—	93.70	—	—	1.40	—	
シナノキ	—	1.60	94.50	6.2	6.4	4.10	2.70	
同	0	—	95.20	6.6	6.0	4.80	3.30	
ミヅナラ	1.40	—	100.50	3.1	3.2	3.50	2.80	
シナノキ	—	90.0	102.40	—	—	1.80	—	
ダケカンバ	—	2.50	140.00	50.8	60.0	10.00	3.80	
シナノキ	—	2.50	143.00	41.0	46.4	8.00	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
シナノキ	2.50	—	151.00	4.1	5.0	4.50	2.50	
同	1.20	—	154.30	3.0	3.6	2.50	1.20	
同	1.00	—	158.70	7.0	7.0	4.80	1.50	
同	1.20	—	160.20	—	—	2.30	—	
同	0.70	—	161.00	5.2	4.8	6.50	3.00	
ムシカリ	1.00	—	163.00	2.2	2.1	2.30	1.00	
イチキ	—	2.00	165.90	7.0	6.8	3.00	0.60	
同	—	2.00	166.70	7.8	7.8	4.90	0.50	
ミヅナラ	—	2.50	170.20	15.0	16.0	6.50	1.30	
チシマザクラ	1.70	—	174.20	6.0	6.2	3.80	1.30	
ミヅナラ	0	—	191.00	24.2	26.6	9.00	1.30	
ムシカリ	0.20	—	191.70	—	—	2.50	—	
ミヅナラ	2.20	—	195.40	41.3	42.0	8.50	1.50	
エゾイタヤ	1.75	—	197.30	—	—	2.50	—	
ムシカリ	—	20.0	198.30	—	—	1.80	—	
ダケカンバ	1.15	—	199.70	13.0	13.6	6.00	2.00	
同	2.50	—	200.00	21.0	23.2	7.00	1.60	
シロザクラ	0.70	—	200.70	—	—	2.00	—	
シナノキ	1.35	—	202.00	6.3	5.0	3.80	2.00	
同	0.90	—	202.30	—	—	2.80	—	
同	—	0.50	203.00	3.0	2.8	2.80	1.00	
同	1.20	—	204.60	—	—	2.50	—	
同	0	—	206.00	7.0	6.0	3.30	1.20	
同	1.20	—	206.70	4.0	3.4	3.50	2.50	
同	—	0.70	207.00	3.6	3.2	3.80	2.50	
ダケカンバ	1.00	—	210.80	20.2	26.8	8.00	1.90	
エゾイタヤ	0	—	212.00	—	—	1.20	—	
アカエゾマツ	0.80	—	212.00	—	—	1.30	—	
ダケカンバ	—	1.20	212.00	11.0	11.3	7.50	3.50	
トドマツ	0.70	—	212.30	14.3	15.3	6.00	1.80	
ダケカンバ	—	1.00	212.60	9.2	10.5	6.50	4.00	
ノリノキ	0.95	—	213.00	—	—	3.00	—	
ミヅナラ	—	0.20	213.00	42.0	35.9	8.00	3.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ダケカンバ	0.70	—	214.00	33.0	32.0	9.00	1.30	
同	0	—	214.80	26.0	31.0	9.00	1.90	
エゾイタヤ	1.00	—	215.00	—	—	1.50	—	
ムシカリ	—	0.60	215.60	—	—	2.20	—	
アカエゾマツ	2.50	—	217.00	3.6	3.8	2.50	1.00	
ミヅナラ	1.90	—	217.20	7.3	8.5	4.80	2.30	
シナノキ	—	1.80	218.00	3.0	3.1	2.80	1.10	
同	2.40	—	218.10	3.4	3.0	3.00	1.50	
同	—	1.00	219.10	5.3	4.7	3.50	2.20	
同	0	—	221.40	7.9	8.2	5.30	2.80	
エゾイタヤ	2.50	—	226.30	8.4	8.8	6.50	2.00	
同	1.60	—	227.00	4.0	4.1	5.00	2.00	
ベニイタヤ	0	—	229.40	12.6	11.8	7.00	3.00	
ダケカンバ	2.50	—	231.00	26.4	27.5	10.00	4.00	
トドマツ	1.20	—	236.00	39.8	40.7	13.00	2.00	
アカエゾマツ	—	0.70	238.30	—	—	1.00	—	
エゾノバツコヤナギ	0.40	—	238.70	16.0	16.9	8.00	2.80	
ダケカンバ	—	0.50	239.30	3.1	2.5	3.30	2.20	
ナナカマド	0.55	—	239.70	6.8	7.2	4.50	1.40	
ダケカンバ	0.55	—	239.90	10.2	10.4	7.50	3.50	
ナナカマド	1.30	—	240.30	4.6	4.4	4.00	1.30	
ベニイタヤ	0.35	—	240.50	2.2	2.4	3.00	1.80	
ダケカンバ	0.90	—	240.60	3.9	3.8	—	—	枯損
同	1.70	—	241.35	2.7	2.8	3.00	1.80	
ベニイタヤ	0	—	242.20	—	—	1.50	—	
シナノキ	1.90	—	245.20	43.2	54.4	14.00	2.80	
ベニイタヤ	—	0.70	245.80	4.0	4.1	3.50	2.80	
エゾマツ	2.00	—	246.00	76.0	85.0	25.00	5.50	
ナナカマド	1.80	—	248.00	4.4	4.3	5.40	2.90	
ヒロハノキハダ	0	—	249.00	24.8	24.5	8.50	2.50	
ミヅナラ	2.50	—	250.50	17.3	21.1	8.00	1.40	
エゾイタヤ	1.10	—	252.30	5.0	4.8	4.00	2.30	
同	—	0.40	254.00	6.7	7.3	6.00	3.00	
ダケカンバ	2.50	—	255.00	17.4	20.0	10.00	4.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	シナノキ	—		0.70	255.60			
ダケカンバ	0.60	—	256.50	15.9	16.4	11.00	6.00	
エゾイタヤ	—	1.15	258.90	11.6	11.2	8.00	3.00	
ダケカンバ	—	0.30	264.90	56.6	62.0	13.00	6.00	
シナノキ	2.50	—	282.00	40.4	43.0	12.00	5.50	
同	1.30	—	292.20	21.0	21.2	10.00	3.00	
同	2.00	—	293.00	4.4	4.8	4.50	2.50	
同	2.30	—	293.30	5.0	5.1	3.00	2.30	
エゾマツ	2.00	—	295.00	74.0	73.2	20.00	7.00	
エゾナナカマド	0.20	—	296.20	—	—	2.30	—	
エゾマツ	1.30	—	296.70	62.0	63.0	20.00	3.00	
同	1.00	—	316.00	58.9	58.8	—	—	元折
トドマツ	—	2.00	316.10	9.5	9.4	—	—	枯損
同	—	1.45	316.90	4.0	4.5	—	—	枯損
同	—	0.85	317.00	4.0	3.8	2.00	1.30	
ナカカマド	1.90	—	317.40	13.0	13.5	6.50	1.10	
トドマツ	0	—	320.00	14.0	14.8	10.00	6.00	
エゾマツ	—	0.70	321.30	63.0	65.0	—	—	枯損
同	0	—	321.60	—	—	0.80	—	
トドマツ	—	1.20	323.30	12.2	11.8	8.00	6.00	
同	0.10	—	324.00	11.0	11.0	7.00	5.00	
同	0.50	—	324.30	9.0	9.0	—	—	枯損
コシアブラ	0	—	325.80	—	—	1.50	—	
トドマツ	—	1.10	326.80	11.2	11.0	7.00	5.00	
同	0.70	—	327.70	17.0	16.0	9.00	5.00	
同	0.65	—	328.00	3.2	3.0	3.00	1.30	
同	1.40	—	328.30	33.0	32.8	15.00	7.00	
エゾナナカマド	0	—	329.30	18.3	18.2	11.00	3.50	
ダケカンバ	0.50	—	347.30	46.6	44.5	14.00	7.00	
同	1.30	—	347.80	33.0	35.5	13.00	5.50	
同	—	0.30	348.80	28.9	28.0	13.00	4.00	

D. 北面 (5×500m²) 帯状標準區劃地

本帯状標準區劃地は頂上より北方、ヌボロマツボロ澤本流左岐の上流に走れる尾根に沿ひ、略々北方に取れり。此の斜面は上部傾斜21—35°の急斜地にして、下方に至れば緩斜地（傾斜約9°）となる。

本面山頂附近（山頂より18米の間）はタカネナナカマド多く、チシマザクラ、ヒロハツリバナ、アカミノイヌツゲ、イチキ等混じ、下層はチシマザサ及オクヤマザサ（最高2.8m）により占められ、灌木として尙少しくムシカリを交へ、最下層にはツルシキミ、シラネワラビ、ジウモンジンダ、ヒロハヒメイチゲ、レンブクサウ、クルマバサウ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ生ず。18m (y)—60m (y)の間は殆んど樹木なく、笹類と大型草本により占められ、濕地性なり。18m (y)より48m (y)の間はオクヤマザサにより占められ、帯状標準區劃地附近には、少量のダケカンバとミヅナラ、ケヤマハンノキ等あるに過ぎず。殆んど無立木地にして、下層灌木にはムシカリ、ノリノキ、エゾアヂサキ等あり。草本としてオニシモツケ、オホバイラクサ、オホイタドリ、ウド、ヨブスマサウ、ミミカウモリ等の大型草本生じ、最下層にはシラネワラビ、オホバシヨリマ、オホメシダ、ジウモンジンダ、タニギキヤウ等、又蔓莖類にはヤマブダウ、ミヤママタタビ生ず。これより60m (y)まで、12米の間は濕地にして笹類はなく、オニシモツケ（高さ2m）、ウラゲヨブスマサウ（高さ2.5m）、オホイタドリ、ウド、エゾユヅリハ等の大型草本により占められ、下層にはリヤウメンシダ、ジウモンジンダ、ハクマウキノデ、ミヤマスマミレ、ザゼンサウ等生ず。

これより下部62m (y)—84m (y)の間はミヤマハンノキ林出現し、濕地にして、下層はオクヤマザサ（高さ2.1m）により占められ、灌木にはムシカリ、エゾアヂサキ等あり。最下層にはシラネワラビ、ホソキノデ、ハクマウキノデ、ミヤマベニシダ、オホメシダ、コタニワタリ、サンカエフ、エゾニウ、タニギキヤウ、ミミカウモリ、ザゼンサウ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ生ず。

高度380m以上はダケカンバ林にして、その發達著しく、ダケカンバ多く、ナナカマド、エゾイタヤ、シナノキ、オヒヨウ、ヤチダモ等混じ、濕地にはミヤマハンノキ生ず。下層はオクヤマザサ（高さ2.4m）優勢にして、灌木にはムシカリ、エゾアヂサキ、ムラサキツリバナ、エゾイボタ等あり。最下層にはツルシキミ、ハヒイヌツゲ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、ホソキノデ、ミヤマワラビ、ジウモンジンダ、サカガキノデ、ハクマウキノデ、コタニワタリ、オホバイラクサ、ウド、トゲナシゴエフイチゴ、エゾシヤウマ、オニシモツケ、ハナウド、ミミカウモリ、クルマバサウ、エゾニウ、ザゼンサウ、スゲ類、オホマヒヅルサウ、オホバタケシマラン等、又蔓莖類には、ツルアヂサキ、ヤマブダウ、ツタウルシ等生ず。

高度380m以下330mまではダケカンバ、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等を主とする林

となり、オヒヨウ、ミヅナラ、ナナカマド、ヒロハキハダ、センノキ等混するも、下方は笹類と濕性の大型草本により占められ、僅かにエゾイタヤ、ダケカンバ等の生ずる所あり。ダケカンバ、シナノキ、エゾイタヤ、ベニイタヤ等を主とする林の下層はオクヤマザサ優勢にして、灌木にはムシカリ、エゾアヂサキ等あり。最下層にはシラネワラビ、ミヤマワラビ、ジウモンジシダ、エゾシヤウマ、ウラゲヨブスマサウ、ウド、ミミカウモリ、ハナウド、ザゼンサウ、アザミ類、スゲ類等、又蔓莖類にはツルアヂサキ生ず。ミヤマノキシノブ、時に樹幹に着生す。

次に緩斜地には笹類と大型草本優勢にして、笹類はオクヤマザサ(高さ2.8m)により代表せられ、ジウモンジシダ、オホバイラクサ、オホイタドリ、ウラゲヨブスマサウ、オホブキ、ザゼンサウ等を伴ふ。また區劃地を横断せる狭き低濕地小流あり。附近はシナノキ多く、エゾイタヤ、ダケカンバ等あり。又オホバイラクサ、オホイタドリ(高さ3.5m)、ウラゲヨブスマサウ、ハンゴンサウ、アザミ類等の大型草本旺盛にして、ジウモンジシダ、ハクマウキノデ、サンカエフ、アイヌワサビ、ザゼンサウ、エゾカサスゲ等生ず。

高度約330m以下は針潤混淆林となり、此の附近はトドマツ、エゾマツに、ダケカンバ、エゾイタヤ、ベニイタヤ、シナノキ、ナナカマド、ヒロハキハダ、ミヅナラ、ケヤマハンノキ等の潤葉樹を混す。下層はオクヤマザサ(高さ2.5—3.3m)優勢にして、灌木にはムシカリ、ノリノキ、オホバスノキ、エゾクロウスゴ、エゾユヅリハ等あり。最下層にはツルツゲ、ツルシキミ、シラネワラビ、オホバシヨリマ、オクエゾサイシン、ヒメイチゲ、ヒロハヒメイチゲ、トゲナシゴエフイチゴ、ザゼンサウ、セウゼウスゲ、オホマヒヅルサウ等、又蔓莖類にはツルアヂサキ、ツタウルシ等生ず。

尙本帯狀標準區劃地より下部は平坦地となり、トドマツ、エゾマツ、ミヅナラ、ダケカンバ、シナノキ、エゾイタヤ等の針潤混淆林なり。下層はオクヤマザサ、ネマガリダケ(高さ1.8m)等により占められ、灌木にはノリノキ、エゾクロウスゴ、オホバスノキ等あり。最下層にはシラネワラビ、トゲナシゴエフイチゴ、ザゼンサウ、クルマユリ等、又蔓莖類にはツタウルシ生ず。

今、本帯狀標準區劃地内に於ける主要なる木本を表示せんに次の如し。(第五十四表)

第五十四表

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
アカミノイヌツゲ	0.20	—	0.10	3.2	3.1	2.50	1.00	
タカネナナカマド	—	0.60	0.80	4.8	5.0	3.20	0.60	
イチキ	1.30	—	2.00	8.7	8.6	4.00	1.00	
タカネナナカマド	1.35	—	3.10	6.6	7.2	4.60	1.90	
ムシカリ	2.10	—	3.50	3.8	3.3	3.10	—	
タカネナナカマド	0.70	—	5.10	10.6	11.2	4.30	1.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
タカネナナカマド	1.10	—	7.00	5.6	5.4	4.50	2.00	
ムシカリ	2.40	—	13.40	3.8	4.0	2.80	1.20	
ヒロハツリバナ	—	0.70	13.75	—	—	3.45	—	
ナナカマド	1.60	—	17.90	24.8	25.4	4.50	1.00	
チシマザクラ	—	1.50	17.90	—	—	2.00	—	
同	—	1.60	17.90	—	—	3.20	—	
ノリノキ	—	0.80	18.30	—	—	2.20	—	
ダケカンバ	1.80	—	18.40	46.1	41.8	10.00	2.20	
シナノキ	1.05	—	18.90	7.4	7.2	5.00	2.80	
ミヤマハンノキ	0	—	62.00	9.8	10.0	6.80	2.50	
同	—	1.50	62.40	9.2	9.0	4.50	1.50	
同	2.50	—	65.30	10.4	10.5	7.00	1.00	
同	2.25	—	71.50	10.2	10.6	6.50	2.80	
同	2.50	—	74.00	15.0	14.8	10.50	4.20	
同	2.30	—	76.50	13.0	13.8	8.00	2.00	
同	2.35	—	77.00	20.0	18.5	7.80	1.50	
同	1.60	—	78.70	13.4	13.0	8.00	1.30	
同	1.55	—	80.35	20.0	18.0	7.50	1.50	
同	2.20	—	84.10	6.8	5.8	5.00	2.80	
同	0	—	85.20	25.0	25.1	7.80	1.50	
ダケカンバ	—	2.50	109.30	35.8	31.0	11.00	4.00	
同	—	1.70	110.40	32.8	45.1	11.00	1.50	
チシマザクラ	2.00	—	110.50	—	—	2.00	—	
ベニイタヤ	—	0.40	111.30	—	—	2.00	—	
ムシカリ	0.40	—	111.70	—	—	2.30	—	
ナナカマド	0.75	—	113.60	—	—	2.20	—	
エゾナナカマド	—	2.40	118.50	4.5	4.6	3.50	1.00	
ダケカンバ	—	1.90	125.00	6.8	7.4	6.20	1.90	
ミヤマハンノキ	—	2.50	126.00	12.0	11.4	7.30	2.50	
同	—	1.50	128.00	10.2	10.0	7.30	2.50	
ムラサキツリバナ	1.40	—	135.00	4.5	4.4	3.50	1.00	
ミヤマハンノキ	2.10	—	147.50	11.4	11.0	5.50	1.00	
同	1.30	—	153.50	18.4	20.0	7.50	0.50	
同	2.40	—	154.00	8.4	8.4	5.00	1.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
ミヤマハシノキ	0	—	156.50	13.1	12.2	7.50	2.30	
ダケカンバ	2.40	—	167.00	39.6	38.1	10.00	1.00	
エゾイタヤ	—	2.00	171.00	16.2	16.0	7.00	4.00	
同	1.30	—	172.00	24.4	28.0	9.50	4.00	
シナノキ	2.00	—	172.80	6.4	5.4	3.50	1.60	
エゾイタヤ	—	0.50	172.80	16.8	16.5	7.00	2.50	
ダケカンバ	0	—	175.00	40.4	41.0	14.00	5.00	
同	—	0.50	175.30	23.6	24.0	9.00	3.50	
同	—	1.85	177.30	36.0	32.0	11.00	4.60	
同	—	1.80	181.50	37.3	39.8	14.00	4.00	
ベニイタヤ	1.30	—	185.00	17.8	19.3	8.00	1.80	
ダケカンバ	—	2.20	189.20	31.1	32.8	11.00	5.50	
同	1.10	—	190.00	49.0	54.2	13.00	2.50	
ベニイタヤ	0.40	—	190.50	16.0	17.6	9.00	1.10	
ダケカンバ	—	1.80	191.20	15.6	16.1	10.00	7.00	
エゾイタヤ	0	—	192.50	6.2	5.8	4.00	1.50	
ナナカマド	—	1.50	192.50	14.0	14.8	6.50	1.00	
ダケカンバ	—	1.50	195.00	28.4	33.0	12.00	6.30	
ナナカマド	—	1.95	200.40	9.6	9.6	7.50	4.00	
同	—	2.50	201.00	14.4	14.2	6.00	1.50	
ダケカンバ	2.00	—	203.10	51.0	55.0	15.00	3.00	
シナノキ	1.00	—	203.70	—	—	2.00	—	
エゾイタヤ	2.00	—	204.50	13.3	12.8	5.00	2.30	
エゾイタヤ	0.50	—	205.40	—	—	1.50	—	
オヒヨウ	1.45	—	206.90	8.2	8.0	6.00	2.50	
同	1.65	—	207.00	28.4	28.6	10.00	4.20	
シナノキ	—	0.40	218.50	7.0	9.2	4.50	2.00	
同	—	0.65	219.40	6.6	6.4	5.00	2.10	
エゾイタヤ	1.00	—	219.85	6.0	6.4	4.50	1.80	
同	0	—	221.25	3.6	3.4	3.30	1.80	
同	1.00	—	221.75	4.2	4.0	3.10	1.30	
ダケカンバ	2.30	—	222.50	37.3	40.0	13.00	5.00	
エゾイタヤ	1.90	—	225.10	4.6	4.8	3.00	1.00	
ベニイタヤ	1.00	—	229.60	23.4	14.5	7.00	2.00	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	ムシカリ	1.10		—	230.50			
ベニイタヤ	—	0.50	238.40	5.0	4.8	3.50	1.50	
ミヅナラ	—	2.00	241.20	51.0	51.6	11.00	2.50	
ダケカンバ	0.30	—	245.60	40.0	40.4	13.00	6.00	
同	0.75	—	246.90	22.0	24.2	12.00	7.00	
ベニイタヤ	—	1.30	248.00	3.0	3.0	3.00	1.20	
シナノキ	0	—	254.30	26.8	32.1	12.00	7.00	
同	0.60	—	254.30	28.0	25.6	11.00	1.60	
エゾナナカマド	—	0.50	260.50	18.4	20.4	11.00	7.00	
同	—	1.00	260.60	22.4	26.8	12.00	5.50	
シナノキ	—	0.30	261.00	10.8	13.2	8.00	2.70	
同	—	0.30	261.30	30.0	30.9	11.00	1.00	
同	0	—	261.35	10.0	10.2	7.00	2.50	
同	0	—	261.80	57.0	63.0	—	—	枯損
ヒロハキノハダ	—	1.15	262.50	3.0	3.2	—	—	
エゾイタヤ	1.30	—	263.00	—	—	1.90	—	
同	—	1.60	272.00	3.6	3.8	4.00	1.80	
シナノキ	—	1.50	272.20	5.0	4.8	3.80	1.90	
同	—	1.60	272.20	13.0	14.2	10.00	4.00	
同	—	2.00	272.80	46.2	56.0	15.00	1.80	
同	—	2.20	273.60	22.6	21.6	8.00	3.00	
同	—	2.25	274.20	12.2	11.0	8.00	6.00	
ヒロハノキノハダ	—	0.80	275.70	11.8	11.4	7.00	3.50	
ダケカンバ	—	2.50	283.00	27.0	31.4	13.00	7.00	
同	—	0.90	285.20	42.2	50.4	16.00	7.00	
オヒヨウ	—	1.45	285.60	5.6	5.8	6.50	2.50	
エゾイタヤ	—	1.30	285.80	10.4	9.2	6.00	2.50	
ヒロハツリバナ	—	0.70	285.85	8.9	9.6	7.00	3.50	
ミヅナラ	—	1.50	285.90	60.4	58.2	14.00	4.50	
エゾイタヤ	—	0.65	286.30	4.6	4.9	4.00	1.60	
ダケカンバ	1.30	—	290.50	48.6	50.0	14.00	3.90	
エゾイタヤ	—	1.70	307.90	42.8	45.6	10.00	3.00	
ダケカンバ	2.50	—	350.00	30.4	31.8	11.00	2.00	
同	0.80	—	398.00	70.0	72.0	13.00	2.50	

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	トドマツ	0		—	407.50			
同	—	1.80	409.40	21.6	21.4	9.00	3.00	
ダケカンバ	1.10	—	410.90	18.0	17.6	12.00	6.00	
ケヤマハシノキ	—	1.80	410.90	38.8	38.6	14.00	9.00	
ダケカンバ	—	2.15	411.80	4.0	4.2	3.50	—	
同	—	2.50	411.80	12.0	13.4	11.00	6.00	
トドマツ	—	2.50	411.95	16.8	18.4	11.00	4.50	
ダケカンバ	—	1.60	412.30	9.6	9.0	9.00	7.00	
トドマツ	—	2.50	413.05	5.2	5.0	2.20	3.00	
ダケカンバ	—	0.40	414.20	20.0	21.2	12.00	8.00	
トドマツ	1.25	—	415.20	14.0	14.5	9.00	3.50	
同	—	1.50	415.30	2.3	2.3	2.00	—	
エゾナナカマド	—	1.15	415.40	11.2	12.8	7.50	1.80	
エゾマツ	—	1.50	423.30	71.0	80.0	22.00	8.00	
シナノキ	2.50	—	435.70	35.0	40.0	19.00	7.50	
ベニイタヤ	2.50	—	438.80	32.2	33.0	11.00	2.80	
ミヅナラ	—	1.50	439.00	65.0	75.0	17.00	4.50	
トドマツ	—	0.80	448.50	42.6	44.0	16.00	3.00	
同	—	2.50	449.60	21.2	20.2	12.00	4.00	
ベニイタヤ	1.70	—	450.60	36.0	36.8	11.00	4.50	
ミヅナラ	—	2.50	456.30	18.2	18.4	10.00	3.30	
エゾマツ	—	1.00	459.50	70.0	73.0	21.00	7.00	
トドマツ	—	1.80	460.50	23.0	23.8	11.00	3.00	
ダケカンバ	—	2.20	460.70	40.0	48.0	14.00	8.00	
ベニイタヤ	2.50	—	466.00	44.6	43.4	14.00	5.50	
ダケカンバ	0.30	—	467.50	—	—	2.00	—	
ムシカリ	1.55	—	470.30	3.0	2.8	4.00	1.80	
エゾマツ	—	1.90	474.10	63.0	63.0	18.00	6.00	
シナノキ	1.70	—	479.30	11.2	10.7	6.00	1.30	
トドマツ	0.60	—	487.50	32.6	29.4	13.00	4.00	
エゾマツ	—	0.75	489.10	—	—	0.85	—	倒木上
同	1.40	—	489.20	—	—	1.60	—	同
同	—	0.20	489.30	—	—	0.60	—	同
同	—	0.55	489.30	—	—	1.10	—	同

樹種	xm		ym	胸高直徑 cm		樹高 m	枝下 m	備考
	+	-		N-S	E-W			
	エゾマツ	—		0.90	489.30			
トドマツ	—	0.95	489.30	—	—	0.55	—	同
エゾマツ	—	0.80	489.40	—	—	1.00	—	同
ホザキナナカマド	—	1.40	489.45	—	—	1.50	—	同
エゾマツ	—	1.25	489.50	—	—	0.60	—	同
同	0.90	—	489.50	—	—	1.55	—	同
ノリノキ	2.25	—	488.80	—	—	3.00	—	
ダケカンバ	2.50	—	491.00	22.0	21.0	12.00	6.50	
同	2.40	—	494.50	39.6	38.4	13.00	6.00	

VIII. 22—26, 1933. 調査.

以上東面, 西面, 南面及北面各帯狀標準區劃地調査より, 頂上附近にては, 南面はアカミノイヌツグ群落の發達著しく, チシマザクラ, タカネナナカマド等を交へ, またイチキ良く生じ, 西面にてはアカミノイヌツグが多く生じ, チシマザクラ, イチキ等あり。然るに東面にてはチシマザクラ, タカネナナカマド等多く生じ, アカミノイヌツグも混じ, 北面にてはタカネナナカマド多く, チシマザクラ, アカミノイヌツグ, イチキ等混す。

北面にてはダケカンバ林最も良く發達し, また濕地にして大型草本により占められる所あり, 又ミヤマハンノキ林出現す。シナノキーミヅナラ林型は顯著ならずしてミヅナラ少し。南面にてはダケカンバ林は疎生, シナノキーミヅナラ林は發達せざるも, 下部の嶮阻地にはアカエゾマツ混す。西面にてはダケカンバ林は疎林なるもシナノキーミヅナラ林は代表的のものなり。東面に於てはダケカンバ林及シナノキーミヅナラ林は餘り發達せず。ミヤマハンノキの生ずる所あり。

各面之等の林より下部は針潤混濬林又は針葉樹林なり。

参 考 文 献

1. Braun-Blanquet : Pflanzensoziologie. (1928).
2. Braun und Rübél : Flora von Graubünden. (1932).
3. Cajander, A. K. : Wesen und Bedeutung der Waldtypen. (1930).
4. Clements, E. F. : Plant Succession and Indicators. (1928).
5. Clements, E. F. & Weaver, J. E. : Experimental Vegetation. (1924).
6. Clements, E. F., Weaver, J. E. & Hanson, H. C. : Plant Competition. (1929).
7. 大工原銀太郎 : 土壤學 (上卷, 中卷). (1930, 1933).
8. 藤島信太郎 : 更新論的造林學. (増訂版). (1932).
9. 林 常 夫 : 林木の風衛生態其他. (1932).

10. 本多 静六：日本森林植物帯論。(1916).
11. 本多 静六：造林上樹種と立地との關係。(1917).
12. 石原 供三：天然林に於けるトドマツ稚樹の消長と森林土壌との關係に對する研究。(北海道林業試験場報告. 第十二號). (1933).
13. 鏑木 徳二：森林立地學。(1930).
14. 鏑木 徳二：森林の生理。(1930).
15. 兼次 忠藏：南部赤松の根系。(林學會雜誌. 第十五卷, 第九號). (1933).
16. 河田 杰：北海道の環境と森林の取扱に就いて。(北海道林業會報. 第三百二十七號). (1930).
17. 河田 杰：森林生態學講義。(1932).
18. 吉川 宥恭：樺太に於けるトドマツ, エゾマツ天然林の林型に關する調査(樺太廳中央研究所報告. 第二類. 第一號). (1932).
19. 木村武松, 村井三郎：岩手縣地方の植生。(林學會雜誌. 第十三卷, 第十一號). (1931).
20. 小久保壽：海岸林の林型に就いて。(林學會雜誌. 第十五卷, 第七號). (1933).
21. 京大禪太演習林植物調査報告。(京大演習林報告. 第二號). (1930).
22. Kudo, Y. : Vegetation of Yezo. (1925).
23. 工藤 祐舜：日本有用樹木分類學。(改訂版). (1933).
24. 牧野富太郎, 根本莞爾：日本植物總覽。(改訂版). (1931).
25. Mc Dougall, W. B. : Plant Ecology. (1927).
26. 森川 均一：杉林の生態と土壤條件との關係に就いて。(九大農學部. 學藝雜誌. 第四卷, 第四號). (1931).
27. Miyabe, K. & Kudo, Y. : Flora of Hokkaido & Saghalien, I.-IV. (1930-34).
28. 中村賢太郎：育林學原論。(1935).
29. 中野 治房：植物生理及生態實驗法。(1933).
30. 中野 治房：植物群落とその遷移。(岩波生物學). (1930).
31. Raunkier, C. : The Life forms of Plants and Statistical Plant Geography. (1934).
32. Rübél, E. : Pflanzengesellschaften der Erde. (1930).
33. Schoenichen, W. : Deutsche Waldbäume und Waldtypen. (1933).
34. Tansley, A. G. : Practical Plant Ecology. (1926).
35. 館 脇 操：千島列島に於ける森林群落生態と樹種の分布に就いて。(札幌農林學會報. 第四百號). (1931).
36. 館 脇 操：北見山脈の植物。(蝦夷往來. 第五號). (1931).
37. 館 脇 操：天鹽演習林植物目錄。(第一報, 第二報). (北大演習林研究報告. 第五卷, 第七卷). (1928. 1931).
38. 館脇操, 松江賢修：北海道廳林業試験場野幌國有林植物調査書。(1934).
39. 館脇操, 森本傳男：アカエゾマツ林の群落生態學的調査。(北大演習林研究報告. 第八卷). (1933).
40. 館脇操, 岩間龜三郎：北大天鹽演習林に於ける山火跡地の群落生態學的調査。(北大演習林研究報告. 第九卷, 第一號). (1934).
41. 館脇操, 萬濃健一郎：北大天鹽演習林内アカエゾマツ林の生態要素。(北海道林業會報. 第三十二卷). (1934).
42. 寺崎 渡：本邦天然生林の森林調査法に就いて。(林學會雜誌. 第三十二號). (1925).
43. Toumey, J. W. & Kienholz, R. : Tranched Plants under Forest canopies. (1931).

(142)

44. 上田弘一郎：植生型ヨリ見タル樺太天然林ノ研究。(京大演習林報告. 第六號). (1933).
45. 植村恒三郎：樺太演習林に於ける植物生態調査。(九大演習林報告. 第一號). (1931).
46. 植村恒三郎：邦領樺太北部原生林に於けるエゾマツ, トドマツの更新及び根系に關する研究。(九大演習林報告. 第二號). (1932).
47. 若宮敬二郎：朝鮮北部森林の造成上に關する生態的研究。(林學會雜誌. 第十五卷, 第六號). (1933).
48. Weaver, J. E. : The Ecological Relation of Roots. (1919).
49. 山崎次男：ぐひまつノ天然分布ト群叢ノ類別ニ就イテ。(京大演習林報告. 第七號). (1934).
50. 吉井義次：植物と環境。(岩波生物學). (1931).

**The Forest Associations in the Teshio
Experimental Forest, Hokkaido
By
Misao Tatewaki and Akira Uchida**

In the Teshio Experimental Forest of the Hokkaido Imperial University, the primaeval forest condition is still well preserved in its greater portion. The vegetation of the primary forest is composed of different communities. This is partly due to the diversity in its topographical and geological features. The present study mainly deals with the descriptive work in which the composition and distribution of the various types of the forest vegetation as influenced by the physiographic factors are chiefly dwelt. This paper consists of the following parts :—

Part I. Synecological Study on the Forest Associations.

Part II. Zonal Changes of the Forest.

Part III. Local Variations of the Forest Physiognomy by the Direction of the Slope.

Part I. Synecological Study on the Forest Associations.

Section 1. Forest Associations.

The woodland vegetation of the Teshio Experimental Forest of the Hokkaido Imperial University belongs to the deciduous, the coniferous and the mixed forest. The deciduous forest often comprises associations having various species as dominants, the distribution of which depends chiefly upon the edaphic causes.

1. *Salix*-forest.

The *Salix*-forest dominated by *Salix sachalinensis* and *Salix yezoensis* is associated with *Salix jessoensis* and *Salix triandra*, var. *nipponica*, and mixed with *Populus Maximowiczii*, *Fraxinus mandshurica*, *Alnus hirsuta*, etc. It forms the characteristic fringes of trees that mark the course of streams, reaching its greatest development along the River Teshio. The ground layer is often occupied by *Phragmites vulgaris* and *Calamagrostis Langsdorffii*, and on rich soil frequently occur *Senecio palmatus* and *Artemisia gigantea*.

2. *Alnus*-forest.

The *Alnus*-forest dominated by *Alnus japonica* var. *arguta*, is commonly found in the swampy place of the low land. It forms an edaphic climax of the swamp and marks a stage in the succession which normally progresses towards the drier habitat condition. The representative of the ground layer

is *Phragmites vulgaris*, while *Calamagrostis Langsdorffii* is frequently a prominent species.

3. *Ulmus-Fraxinus-Alnus*-forest.

The *Ulmus-Fraxinus-Alnus*-forest is codominated by *Ulmus-propinqua*, *Fraxinus mandshurica* and *Alnus hirsuta*, and associated with *Acer mono* var., *Quercus crispula*, *Salix sachalinensis*, *Ulmus laciniata*, *Cornus controversa*, etc. The ground layer is often characterized by the poor development of *Sasa* and preponderance of the tall herbs such as *Filipendula kamschatica*, *Senecio palmatus*, *Urtica*, etc. It is developed on the flat land along the lower valley and considered to be a special forest association in the mixed forest, influenced by the topographical feature.

4. *Quercus*-forest.

The *Quercus*-forest dominated by *Quercus crispula* occurs very locally on the dry soils in the hilly locality. *Sasa* is exclusively dominant in the ground layer.

5. *Tilia-Ulmus-Acer*-forest.

The deciduous forest is also represented by the *Tilia-Ulmus-Acer*-association, codominated by *Tilia japonica*, *Ulmus laciniata* and *Acer mono* var. It is developed along the valley of the needle and the upper mixed forest, and is associated with *Betula Ermani*, *Quercus crispula*, *Magnolia obovata*, *Prunus ssiori*, *Phellodendron sachalinense*, *Acer Mayri*, *Kalopanax pictum*, *Cornus controversa*, *Fraxinus mandshurica*, etc. In the under layer *Sasa* is often conspicuous.

6. *Abies-Picea*-forest.

The *Abies-Picea*-forest is dominated by *Abies sachalinensis* and mixed with *Picea Glehni* and *Picea jezoensis*. Considerable stretches of the vegetation of the pure needle forest are locally distributed. The ground stratum is usually represented by *Sasa kurilensis*, var. *cernua*, but it is sometimes codominated by *Daphniphyllum humile* and *Viburnum furcatum*.

6'. *Picea Glehni*-forest.

Over the greater part of the serpentine district in the Teshio Experimental Forest, the Glehn's spruce appears to be as the edaphic climax, of which synecological survey was published in 1933 by M. Tatewaki and T. Morimoto.

7. Mixed forest.

Between the lower needle forest and the lower deciduous forest or between the upper deciduous forest and the upper needle forest occurs a transition type of the forest, showing a mixture of the elements of each forest respectively. The components are *Abies sachalinensis*, *Picea jezoensis*, *Picea Glehni*, *Taxus cuspidata*, *Quercus crispula*, *Betula Ermani*, *Acer mono* var., *Acer Mayri*, *Tilia japonica*, etc.

8. *Tilia-Quercus*-forest.

The *Tilia-Quercus*-forest dominated by *Tilia japonica* and *Quercus crispula* forms the characteristic vegetation in the upper area. The ground layer is occupied by *Sasa*.

9. *Betula Ermani*-forest.

This birch wood is of frequent occurrence in low land situation, but it, for the most part, will be found between the *Tilia-Quercus*-forest or the needle forest and the *Pinus pumila*-thickets. The commonest species of the ground layer is *Sasa kurilensis*.

10. *Pinus pumila*-forest.

Thickets of *Pinus pumila* are mostly distributed in the highest part. The ground flora is very poor, and contains number of xerophytic elements.

Section 2. Hydrogen Ion Concentration related to the Forest Associations.

The hydrogen ion concentration related to the forest associations is shown in the table XLI.

Section 3. Breadth of the Annual Rings and Tree-age.

The breadth of the annual rings and the tree-age are shown in the table XLII.—XLIII.

Section 4. Root-system.

The root-system of *Salix yezoensis*, belonging to the *Salix*-forest, *Ulmus propinqua*, to the *Ulmus-Fraxinus-Alnus*-forest, *Abies sachalinensis*, to the *Abies-Picea*-forest, *Tilia japonica*, to the *Tilia-Ulmus-Acer*-forest, *Quercus-crispula*, to the *Tilia-Quercus*-forest, and *Betula Ermani*, to the *Betula*-forest were examined.

Part II. Zonal Changes of the forest.

The zonal changes in the vegetation of the forest association correspond closely with the changes in the edaphic conditions as well as the climatic factors which accompany with an increase of altitude above the sea level.

In the lowest zone are found the *Salix sachalinensis*-, the *Alnus japonica* var. *arguta*- and the *Ulmus propinqua-Fraxinus mandshurica-Alnus hirsuta*-forest. The *Abies sachalinensis-Picea jezoensis*-, the *Picea Glehnii*- and the mixed forest clothe the mountain side from 100m. up to an altitude of about 400m. or sometimes 500m. The *Tilia japonica-Ulmus laciniata-Acer mono*-forest is developed along the valley between 100m. and 300m. of the altitude. As we pass farther up to 400m. high, the needle trees tend to disappear and the *Tilia japonica-Quercus crispula*-forest appear which shows a characteristic feature of the Kitami Ranges. In the upland region from which *Tilia japonica-Quercus crispula*-forest or the needle forest is absent, the *Betula Ermani*-forest commonly takes their place. It is to be found extending up mountain-sides to an altitude of about 500m., sometimes 600m. Up to 500m. the trees

flourish and grow to a moderate size, but above this level they gradually become more and more stunted with increased altitude. Above the *Betula Ermani*-forest the vegetation is usually dominated by *Pinus-pumila*. But the *Pinus pumila*-thicket is rather sparsely scattered on the mountain ridge in the district under consideration.

Part III. Local Variations of the Forest Physiognomy by the Direction of the Slope.

The difference of the forest physiognomy according to the direction of the slope is, sometimes, very noticeable. In the vicinity of Kamiotoineppu of the Teshio First Experimental Forest, the compositions of the forest communities on the western side were examined and compared with those on the eastern side. For an example, as one passes the northern ridge of Mt. Misawa, on the western side the woods are dominated by the needle trees, while on the eastern the forest is represented by the deciduous trees. Another example was selected along the River Kahei. The vegetation of the southwestern slope is characterized by a greater abundance of the needle trees and that of the northeastern is dominated by the deciduous trees.

カセンサウの學名

Inula Kitamura Tatewaki, nom. nov.

Inula involucrata Miq. in Ann. Mus. Bot. Lugd. Bat. II. (1866), 171, (non Kalenic in 1845).

Inula salicina L. var. *genuina* Fr. et Sav. Enum. Pl. Jap. II. (1879), 401.

Inula salicina L. var. *asiatica* Kitamura, in Acta Phytotax. et Geobot. II. (1933), 44.

Nom. Jap. *Kasenso*.

Hab. Japonia et Korea.

圖 版 説 明

第 一 圖 版

第 一 圖 針 葉 樹 林

(三澤山北部〔VI. B.〕標準地—37頁)

(1933年9月21日撮影)

第 二 圖 針 葉 樹 林 下 の エ ヅ ヲ ツ リ ハ

(三澤山北部〔VI. C.〕標準地—38頁)

(1933年9月21日撮影)

第 三 圖 ミ ヅ ナ ラ 林

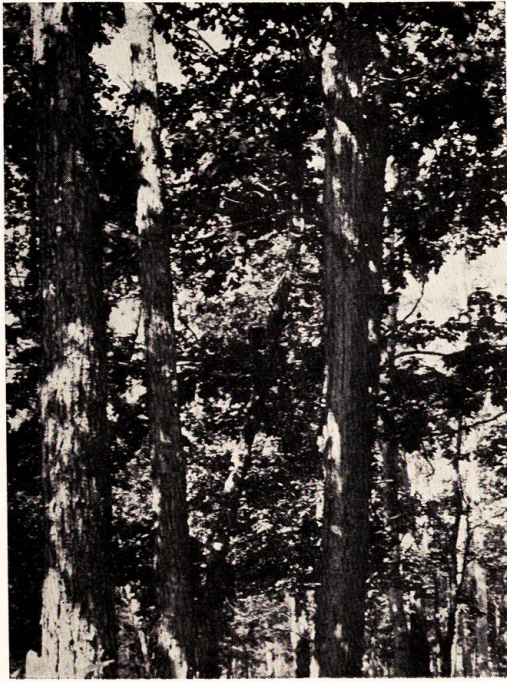
(間寒別川東岸〔IV. A.〕標準地—15頁)

(1933年9月16日撮影)

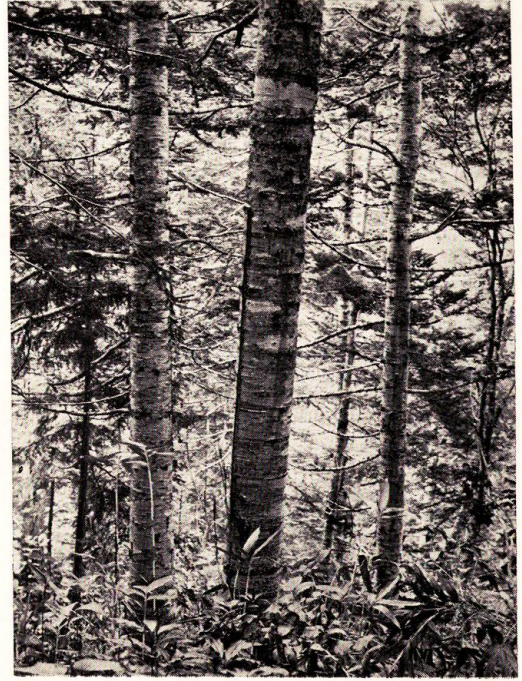
第 四 圖 シ ナ ノ キ ー オ ヒ ヨ ウ ー イ タ ヤ 林

(天幕澤〔V. a—b.〕標準地附近—17頁)

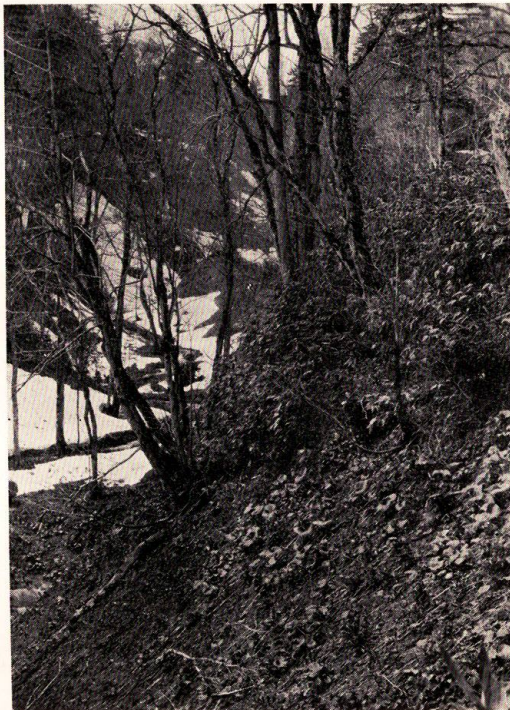
(1933年5月17日撮影)



第三圖



第一圖



第一圖版



第二圖

第四圖

第二圖版

第五圖 ヤナギ林

(神路標準地附近—4頁)

(1933年5月18日撮影)

第六圖 ヤチハンノキ林

(間寒別川標準地附近—7頁)

(1933年9月17日撮影)

第七圖 アカダモ—ヤチダモ—ケヤマハンノキ林

(天幕之澤 [Ⅲ. B.] 標準地—12頁)

(1933年5月17日撮影)

第八圖 ハヒマツ林とダケカンバ林

(パンケ山—84頁) (1933年8月撮影)

第六圖



第五圖



第八圖



第七圖



第二圖版

第三圖版

第九圖 針潤混淆林

(幌熊林道標準地附近—43頁) (1933年5月19日撮影)

第十圖 針潤混淆林

(西八線之澤標準地附近—46頁) (1933年9月15日撮影)

第十一圖 シナノキ—ミヅナラ林

(三澤山 [VII. a.] 標準地—61頁)

(1933年9月21日撮影)

第十二圖 ダケカンバ林

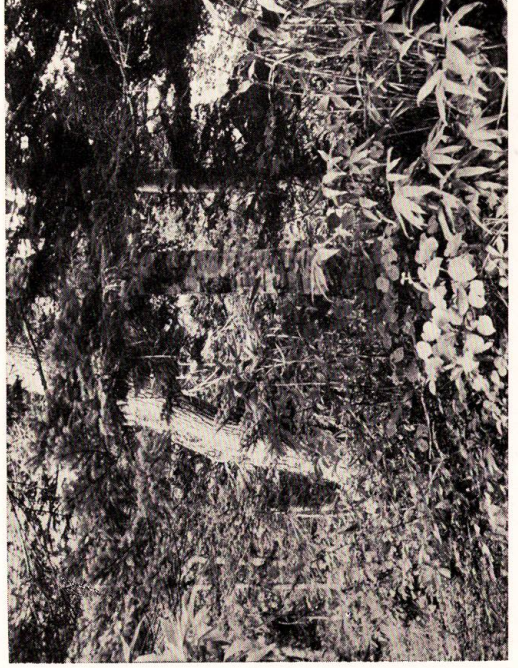
(パンケ山 [IX. c.] 標準地—68頁)

(1933年8月撮影)

第九圖



第十圖



第十一圖



第十二圖



第三圖版